

注3

大学番号：私199

[平成31年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

藤田医科大学 保健衛生学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人藤田学園  
令和2年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局学務部学務課

職名・氏名 カチョフ 課長 コガ 古賀 ナオキ 尚樹

電話番号 0562-93-9420

（夜間） 0562-93-9420

FAX 0562-93-4595

e-mail hs-kyomu@fujita-hu.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 保健衛生学部

＜看護学科、リハビリテーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
看護学科	2
リハビリテーション学科 理学療法専攻	5
リハビリテーション学科 作業療法専攻	8
2. 授業科目の概要	
看護学科	11
リハビリテーション学科	18
リハビリテーション学科 理学療法専攻（参考）	26
リハビリテーション学科 作業療法専攻（参考）	32
3. 施設・設備の整備状況、経費	39
4. 既設大学等の状況	40
5. 教員組織の状況	
看護学科	41
リハビリテーション学科	67
リハビリテーション学科 理学療法専攻（参考）	83
リハビリテーション学科 作業療法専攻（参考）	99
6. 附帯事項等に対する履行状況等	121
7. その他全般的事項	122

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設 置 者

学校法人藤田学園

## (2) 大 学 名

藤田医科大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	( オノ ユウイチロウ ) 小 野 雄一郎 (平成23年4月)	( ホシナガ キヨタカ ) 星 長 清 隆 (平成30年10月)	任期満了に伴う変更 平成30年10月2日 (元)
学 長	( ホシナガ キヨタカ ) 星 長 清 隆 (平成26年4月)	( サイトウ エイイチ ) 才 藤 栄 一 (平成31年4月)	辞任に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学 部 長	—	( カナダ ヨシキヨ ) 金 田 嘉 清 (平成31年4月)	医療科学部長より、 保健衛生学部長へ変更 平成31年4月1日 (元)
看護学科長	—	( ミヨシ ユミコ ) 三 吉 友 美 子 (平成31年4月)	医療科学部看護学科長より、 保健衛生学部看護学科長へ変更 平成31年4月1日 (元)
リハビリテーション 学科長	—	( サクライ ヒロアキ ) 櫻 井 宏 明 (平成31年4月)	医療科学部リハビリテーション学科 長より、保健衛生学部リハビリテー ション学科長へ変更 平成31年4月1日 (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等（看護学科）

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等（看護学科）

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健衛生学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4 年	135 人	— 年次 人	540 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況（看護学科）

対象年度 区 分	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和　　年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	人 135 (-) [0]	人	人 135 (-) [0]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	1.01倍	倍	
志願者数	1344 (-) [3]	( ) [ ]	1380 (-) [7]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	1338 (-) [3]	( ) [ ]	1373 (-) [7]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	544 (-) [3]	( ) [ ]	675 (-) [7]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B　入学者数	135 (-) [3]	( ) [ ]	140 (-) [7]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B／A	1.00		1.03										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。



(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況（看護学科）

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	135 [ 3 ] ( - )	[ - ] ( - )	142 [ 7 ] ( 2 )	[ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2 年次			127 [ 1 ] ( - )	[ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3 年次					[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4 年次							[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	135 [ 3 ] ( - )		269 [ 8 ] ( 2 )		[ ] ( )		[ ] ( )		[ ] ( )		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況（看護学科）

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	135 人	6 人	令和元年度	6 人	2 人	他教育機関への入学・転学(2人)就職(1人)除籍(1人) 一身上の都合[2人]
令和2年度	269 人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		6 人		6 人	2 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                  ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合（看護学科）

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{135} = \boxed{4.44} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{269} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等（リハビリテーション学科 理学療法専攻）

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等（リハビリテーション学科 理学療法専攻）

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健衛生学部 リハビリテーション学科 学士（理学療法学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	4年	70人	— 年次人	280人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況（リハビリテーション学科 理学療法専攻）

対象年度 区 分	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和　年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	人 70 (-) [0]	人	人 70 (-) [0]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	1.00倍	倍	
志願者数	544 (-) [0]	( ) [ ]	527 (5) [4]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	542 (-) [0]	( ) [ ]	527 (5) [4]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	155 (-) [0]	( ) [ ]	183 (5) [4]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B　入学者数	70 (-) [0]	( ) [ ]	70 (5) [3]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B／A	1.00		1.00										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( ) 書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況（リハビリテーション学科 理学療法専攻）

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	70 [ — ] ( — )		72 [ 3 ] ( 2 )								2年次 R2年度春季入学 編入学生5人
2 年次			72 [ 5 ] ( — )								
3 年次											
4 年次											
計	70 [ — ] ( — )		144 [ 8 ] ( 2 )								

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況 (リハビリテーション学科 理学療法専攻)

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	70 人	1 人	令和元年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
令和2年度	144 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		1 人		6 人	2 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例) ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合 (リハビリテーション学科 理学療法専攻)

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{70} = 1.42\%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{144} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等（リハビリテーション学科 作業療法専攻）

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等（リハビリテーション学科 作業療法専攻）

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健衛生学部 リハビリテーション学科 学士（作業療法学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	4年	45人	—年次人	180人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況（リハビリテーション学科 作業療法専攻）

対象年度 区 分	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和　年度		平均入学定 員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	人 45 (-) [0]	人	人 45 (-) [0]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	1.05倍	倍	
志願者数	301 (-) [0]	( ) [ ]	251 (-) [0]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	301 (-) [0]	( ) [ ]	250 (-) [0]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	151 (-) [0]	( ) [ ]	136 (-) [0]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B　入学者数	45 (-) [0]	( ) [ ]	50 (-) [0]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B／A	1.00		1.11										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況（リハビリテーション学科 作業療法専攻）

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	45 [ ー ] ( ー )	[ ] ( )	54 [ ー ] ( 4 )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2 年次			40 [ ー ] ( ー )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3 年次					[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4 年次					[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		
計					45 [ ー ] ( ー )	[ ー ] ( 4 )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況（リハビリテーション学科 作業療法専攻）

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	45 人	1 人	令和元年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
令和2年度	94 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		1 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合（リハビリテーション学科 作業療法専攻）

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{45} = \boxed{2.22} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{94} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## 2 授業科目の概要

＜保健衛生学部 看護学科＞

(1) ー① 授業科目表 (看護学科)

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 科目	人間の 理解	生命倫理学	4前	2									1
		心理学	1前	2					1				
		教育学	1後	2									1
		文学	1前		1								1
		哲学	1前		1								1
		倫理学	1前		1								1
		自然科学	1前		1								1
		生命科学	1前		2								1
		人間行動科学	4前		2				1				
		手話	2前		2								
		英語	1前	2									2
		看護英語Ⅰ	2後	2				1					1
		看護英語Ⅱ	3前		2			1					
		ドイツ語	2前		2								1
		中国語	3前		2								1
		英会話	2前		2								2
		ポルトガル語	2後		2								1
	小計(17科目)	－	12	18	0	0	2	1	0	0		13	
	環境の 理解	社会学	2前		1								1
		文化人類学	1後		2								1
		数学	1前		2								1
		物理学	1後		2								1
		化学	1前		2								1
		日本国憲法	1後		2			1					
		経済学	4前		1								1
		基礎ゼミ	1通	2			7	8	11	12	4		
		小計(8科目)	－	2	12	0	7	8	11	12	4		6
	合計(25科目)	－	14	30	0	7	8	12	12	4		19	
専門 基礎 科目	人間の 理解	人体形態学	1前	2									2
		人体機能学	1前	2									1
		小計(2科目)	－	4	0	0	0	1	0	0	0		3
	環境の 理解	医療関係法規	2後	1				1					
		社会福祉論	2前	1									2
		社会保障論	2後	1									2
		保健医療福祉行政論Ⅰ	2前		1								1
		保健医療福祉行政論Ⅱ	2前		2								1
		情報機器の操作	1後		2								1
		保健統計学	1後	1									1
		保健統計学演習	3前		1								1
		疫学	2後		2								1
		音楽療法	4後		1								1
		環境科学論	4前		1		1						
		公衆衛生学	2前	1									1
		生活環境方法論	3前		1			1					
		小計(13科目)	－	5	11	0	1	2	0	0	0		10
		健康の 理解	スポーツ・健康科学	1通	2								
	微生物学		1前	1									1
	免疫学		1後	1									1
	生化学		1後	1									1
	栄養学		1後	1									1
	薬理学		1後	1									1
	病理学		1後	1									1
	看護のための病態生理		1後	1				1					
	成人期疾病論Ⅰ		2前	1			1						
	成人期疾病論Ⅱ		2後	1			1						
	成人期疾病論Ⅲ		2前	1					1				
小児期疾病論	2後		1									2	
精神疾病論	3前		1									1	
診断のための検査学	2後			1				1					
放射線医学	3前		1									1	
医用機器管理論	4前		1								1		
医療論	1前		1		1								
コンプライアンス・セミナー	2後		1		1								
小計(18科目)	－	15	4	0	3	1	2	0	0		13		
合計(33科目)	－	24	15	0	4	3	2	0	0		23		

【令和2年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 礎 科 目	人 間 の 理 解	生命倫理学	4前	2									1
		心理学	1前	2				1	0				
		教育学	1後	2									1
		文学	1前		1								1
		哲学	1前		1								1
		倫理学	1前		1								1
		自然科学	1前		1				0				1
		生命科学	1前		2								2
		人間行動科学	4前		2			1	0				
		手話	2前		2								
		英語	1前	2				0	0				2
		看護英語Ⅰ	2後	2				0					2
		看護英語Ⅱ	3前		2			1					
		ドイツ語	2前		2								1
		中国語	3前		2								
		英会話	2前		2								2
		ポルトガル語	2後		2								
	小計(17科目)	－	12	18	0	0	2	0	0	0		15	
	環 境 の 理 解	社会学	2前		1								1
		文化人類学	1後		2								1
		数学	1前		2								1
		物理学	1後		2								1
		化学	1前		2								2
		日本国憲法	1後		2			1					
		経済学	4前		1								1
		基礎ゼミ	1通	2			7	9	9	12	1		
	小計(8科目)	－	2	12	0	7	9	9	12	1	7		
	合計(25科目)	－	14	30	0	7	9	11	12	1	22		
専 門 基 礎 科 目	人 間 の 理 解	人体形態学	1前	2									2
		人体機能学	1前	2									1
	小計(2科目)	－	4	0	0	0	1	0	0	0		2	
	環 境 の 理 解	医療関係法規	2後	1				2					
		社会福祉論	2前	1									2
		社会保障論	2後	1									3
		保健医療福祉行政論Ⅰ	2前		1								1
		保健医療福祉行政論Ⅱ	2前		2								1
		情報機器の操作	1後		2								1
		保健統計学	1後	1									1
		保健統計学演習	3前		1								1
		疫学	2後		2		1						2
		音楽療法	4後		1								1
		環境科学論	4前		1		1						
		公衆衛生学	2前	1			1						0
		生活環境方法論	3前		1			1					
		小計(13科目)	－	5	11	0	2	3	0	0	0		12
	健 康 の 理 解	スポーツ・健康科学	1通	2									2
		微生物学	1前		1								1
		免疫学	1後		1								1
		生化学	1後		1								1
		栄養学	1後		1								1
		薬理学	1後		1								1
		病理学	1後		1								1
		看護のための病態生理	1後		1			0					1
		成人期疾病論Ⅰ	2前		1			1					
		成人期疾病論Ⅱ	2後		1			1					
		成人期疾病論Ⅲ	2前		1			1	0				6
小児期疾病論		2後		1								11	
精神疾病論		3前		1								3	
診断のための検査学		2後		1				1					
放射線医学		3前		1								1	
医用機器管理論		4前		1								1	
医療論		1前		1		1							
コンプライアンス・セラピー		2後		1		1		1				1	
小計(23科目)	－	15	4	0	2	1	1	0	0		32		
合計(33科目)	－	24	15	0	4	3	3	0	0		44		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
専門科目	基礎看護学系	看護学概論	1前	1			1					
		対人コミュニケーション	1前	1			1					
		基本看護技術Ⅰ	1前	2			1	1	2	1		
		基本看護技術Ⅱ	1後	2			1	1	2	1		
		看護過程展開論Ⅰ	1後	1			1	1	2	1		
		看護過程展開論Ⅱ	2前	2			1	1	2	1	1	
		看護と安全	4前	1								1
		基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			3	2	8	11	4	
		基礎看護学実習Ⅱ	2前	2			2	3	6	11	4	
		小計(9科目)	-	13	0	0	3	3	8	11	4	2
	成人看護学系	成人看護学概論	1後	1			1					
		成人ケアの基礎・専門看護方法論	2前	1						1		
		成人セルフケア方法論	2前	1						1		
		成人がん・難病・認知症看護方法論	2前	1			1					
		成人看護学演習	3前	2			1	1	1	4		
		成人看護学実習(ケア・臨床・専門研修)	3後	3			1		1	4		
	成人看護学実習(セルフケア)	3後	3			1	1	1	3			
	小計(7科目)	-	12	0	0	1	1	1	4	0		
	小児看護学系	小児看護学概論	2前	1			1					
		成長発達保健論	2後	1			1	1	1			
		小児実践看護Ⅰ	3前	1				1				
		小児実践看護Ⅱ	3前	1			1	1	1			
		小児看護学実習	3後	2			1	1	1			
	小計(5科目)	-	6	0	0	0	1	1	1	0		
	母性看護学系	母性セルフケア看護Ⅰ	2前	1			1					
		母性セルフケア看護Ⅱ	2後	2			1					
		母性セルフケア看護Ⅲ	3前	1			2			1		
		母性看護学実習	3後	2			2			1		
		小計(4科目)	-	6	0	0	2	0	0	1	0	
	精神看護学系	精神看護学概論	1後	1			1					
		精神保健看護論	2前	1			1					
		精神看護学方法論	3前	2				1	1			
		精神看護学実習	3後	2			1	1	1			
		小計(4科目)	-	6	0	0	0	1	1	1	0	
	老年看護学系	老年看護学概論	1後	1						2		
		老年看護学援助論	2後	2						2		
		老年看護実践方法論	3前	1						2		
		老年看護学実習Ⅰ	3後	1						2	1	
		老年看護学実習Ⅱ	4前	3						2	1	
	小計(5科目)	-	8	0	0	0	0	0	2	1		
	在宅看護学系	在宅看護学概論	2前	1			1					
		在宅看護学方法論	2後	2			1	1				
		在宅看護学演習	3前	1			1	2			2	
		在宅看護学実習	3後	2			1	2			2	
		小計(4科目)	-	6	0	0	0	1	2	0	2	
	公衆衛生看護学系	公衆衛生看護学概論Ⅰ	1後	1			1					
		公衆衛生看護学概論Ⅱ	2前	1			1					
		地域診断論	3前	1			1					
		学校保健・産業保健	2後	1			1					
		地域ケアシステム論	3後	1				1				
		公衆衛生看護援助方法論	3前	2		1		3				
		公衆衛生看護実践論Ⅰ	2前	2				1				
		公衆衛生看護実践論Ⅱ	2後	2				1				
		健康教育論	3後	2		1	1	2				
		公衆衛生看護管理論	4前	1		1		2				
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前	4		1		2				
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	1		1		2				
		小計(12科目)	-	1	18	0	1	1	3	0	0	
統合看護		家族と看護	2前		1		1	1		3		
	災害看護	4後	1					1				
	国際看護	3前	1					1				
	リハビリテーション看護	3前	1						1			
	看護研究方法論	3前	1		1	1						
	卒業研究	4通	2		7	7	11	12	4			
	看護管理学	4前	1		1							
	統合実習	4前	2		3	2	9	11	4			
	小計(8科目)	-	9	1	0	7	7	11	12	4		
合計(58科目)	-	67	19	0	7	8	11	12	4	2		
自由科目	国際医学概論	1前			2						1	
	異文化看護概論	1・2・3・4前			2			1				
	インターシップ	1・2・3・4前			2						1	
	小計(3科目)	-	0	0	6	0	0	1	0	0	2	
合計(119科目)		-	105	64	6	9	8	12	12	4	48	
卒業要件及び履修方法												
卒業要件は必修科目105単位、選択科目19単位以上を修得し、124単位以上を修得したうえで卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))												

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	基礎看護学系	看護学概論	1前	1			1		1			3
		対人コミュニケーション	1前	1			2	4	4	4	0	4
		基本看護技術Ⅰ	1前	2				2	1	3	0	14
		基本看護技術Ⅱ	1後	2				2	1	3	0	12
		看護過程展開論Ⅰ	1後	1				2	1	3	0	
		看護過程展開論Ⅱ	2前	2				2	1	3	0	15
		看護と安全	4前	1								1
		基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			2	3	6	11	1	
		基礎看護学実習Ⅱ	2前	2			2	3	9	11	1	
		小計(9科目)	-	13	0	0	4	4	9	11	1	33
	成人看護学系	成人看護学概論	1後	1			1					
		成人ケアの基礎・専門看護方法論	2前	1					1	1		3
		成人セルフケア方法論	2前	1					1	1		4
		成人がん・難病・在宅看護方法論	2前	1				1	2	3		3
		成人看護学演習	3前	2			1	0	2	3		
		成人看護学実習(がん・難病・在宅看護)	3後	3			1		2	3		
		成人看護学実習(セルフケア)	3後	3			1	0	2	3		
	小計(7科目)	-	12	0	0	1	1	2	3	0	10	
	小児看護学系	小児看護学概論	2前	1				1				
		成長発達保健論	2後	1				1	1	1		
		小児実践看護Ⅰ	3前	1					1			
		小児実践看護Ⅱ	3前	1				1	1	1		
		小児看護学実習	3後	2				1	1	1		
	小計(5科目)	-	6	0	0	0	1	1	1	0		
	母性看護学系	母性セルフケア看護Ⅰ	2前	1			1					
		母性セルフケア看護Ⅱ	2後	2					1			
		母性セルフケア看護Ⅲ	3前	1			2		1	0		
		母性看護学実習	3後	2			2		1	0		
		小計(4科目)	-	6	0	0	2	0	1	0	0	
	精神看護学系	精神看護学概論	1後	1				1				
		精神保健看護論	2前	1				1				1
		精神看護学方法論	3前	2					1	1		
		精神看護学実習	3後	2				1	1	1		
		小計(4科目)	-	6	0	0	0	2	1	1	0	1
	老年看護学系	老年看護学概論	1後	1			1			3		
		老年看護学援助論	2後	2			1			3		12
		老年看護実践方法論	3前	1					2			
		老年看護学実習Ⅰ	3後	1					3	0		
		老年看護学実習Ⅱ	4前	3					3	0		
	小計(5科目)	-	8	0	0	1	0	0	3	0	12	
	在宅看護学系	在宅看護学概論	2前	1				1				1
		在宅看護学方法論	2後	2				2	2	1		4
		在宅看護学演習	3前	1				1	2	1	1	
		在宅看護学実習	3後	2				1	2	1	1	
		小計(4科目)	-	6	0	0	0	2	2	1	1	5
	公衆衛生看護学系	公衆衛生看護学概論Ⅰ	1後	1			1					
		公衆衛生看護学概論Ⅱ	2前		1		1					
		地域診断論	3前		1		1					
		学校保健・産業保健	2後	1			1			1		
		地域ケアシステム論	3後	1				1	0			
		公衆衛生看護援助方法論	3前	2		1		1	2			
		公衆衛生看護実践論Ⅰ	2前	2				1	0	1		
		公衆衛生看護実践論Ⅱ	2後	2			1	2	0			1
		健康教育論	3後	2		1	1	0				
		公衆衛生看護管理論	4前	1		1	1	0				
公衆衛生看護学実習Ⅰ		4前	4		1	1	0	1				
公衆衛生看護学実習Ⅱ		4後	1		1	1	0	1				
小計(12科目)		-	1	18	0	1	2	2	1	0	1	
統合看護	家族と看護	2前		1		1	0	2	1			
	災害看護	4後	1					1				
	国際看護	3前	1					1				
	リハビリテーション看護	3前	1						1			
	看護研究方法論	3前	1		1	0						
	卒業研究	4通	2		7	6	11	12	4			
	看護管理学	4前	1		1							
	統合実習	4前	2		3	2	9	11	4			
	小計(8科目)	-	9	1	0	7	6	11	12	4		
	合計(58科目)	-	67	19	0	7	8	11	12	4	11	
自由科目	国際医学概論	1・2・3・4前			2	1	1	1			16	
	異文化看護概論	1・2・3・4前			2		1	0				
	インターシップ	1・2・3・4前			2						1	
	小計(3科目)	-	0	0	6	1	2	1	0	0	17	
合計(119科目)		-	105	64	6	10	11	11	12	4		
卒業要件及び履修方法												
卒業要件は必修科目105単位、選択科目19単位以上を修得し、124単位以上を修得したうえで卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))												

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 礎 科 目	生命倫理学	4前	2					1			1
	心理学	1前	2								
	教育学	1後	2								1
	文学	1前		1							1
	哲学	1前		1							1
	倫理学	1前		1							1
	自然科学	1前		1				1			0
	生命科学	1前		2							2
	人間行動科学	4前		2				1			
	手話	2前		2							1
	英語	1前	2				1				1
	看護英語Ⅰ	2後	2				1				1
	看護英語Ⅱ	3前		2			1				
	ドイツ語	2前		2							1
	中国語	3前		2							1
	英会話	2前	2								2
	ポルトガル語	2後		2							1
	小計(17科目)	-	12	18	0	0	2	2	0	0	14
	社会学	2前		1							1
	文化人類学	1後		2							1
	数学	1前		2							1
	物理学	1後		2							1
	化学	1前		2							1
	日本国憲法	1後		2			1				
	経済学	4前		1							1
	基礎ゼミ	1通	2			7	7	10	15	4	
	小計(8科目)	-	2	12	0	7	7	10	15	4	6
	合計(25科目)	-	14	30	0	7	7	10	15	4	21
専 門 基 礎 科 目	人体形態学	1前	2								1
	人体機能学	1前	2								1
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	1	0	0	0	2
	医療関係法規	2後	1				1				
	社会福祉論	2前	1								2
	社会保障論	2後	1								2
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2前		1							1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	2前		2							1
	情報機器の操作	1後		2							1
	保健統計学	1後	1								1
	保健統計学演習	3前		1							1
	疫学	2後		2							1
	音楽療法	4後		1							1
	環境科学論	4前		1		1					
	公衆衛生学	2前	1								1
	生活環境方法論	3前		1			1				
	小計(13科目)	-	5	11	0	1	2	0	0	0	10
	スポーツ・健康科学	1通	2								2
	微生物学	1前	1								1
	免疫学	1後	1								1
	生化学	1後	1								1
	栄養学	1後	1								1
	薬理学	1後	1								1
	病理学	1後	1								1
	看護のための病態生理	1後	1				0	1			1
	成人期疾病論Ⅰ	2前	1			1					
	成人期疾病論Ⅱ	2後	1			1					
	成人期疾病論Ⅲ	2前	1					1			
	小児期疾病論	2後	1								2
	精神疾病論	3前	1								1
	診断のための検査学	2後		1				1			
	放射線医学	3前	1								1
	医用機器管理論	4前		1							1
	医療論	1前		1		1					
	コンプライアンス・セラー	2後		1		1					
	小計(23科目)	-	15	4	0	3	0	3	0	0	14
	合計(33科目)	-	24	15	0	4	3	3	0	0	23

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎看護学系	看護学概論	1前	1			1						3
	対人コミュニケーション	1前	1			3	1	3	3	1		4
	基本看護技術Ⅰ	1前	2				2	1	3	2		11
	基本看護技術Ⅱ	1後	2				2	1	3	1		10
	看護過程展開Ⅰ	1後	1				2	1	3	1		
	看護過程展開Ⅱ	2前	2				1	1	2	1		
	看護と安全	4前	1									1
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			2	2	7	13	2		2
	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2			2	3	6	12	3		
	小計(9科目)	—	13	0	0	3	3	7	13	3		11
成人看護学系	成人看護学概論	1後	1			1						
	成人リハビリ・周手術期看護方法論	2前	1						1			
	成人セルフケア方法論	2前	1					1	0			
	成人がん・難病・ターミナル看護方法論	2前	1				0	1				
	成人看護学演習	3前	2			1	0	2	3			
	成人看護学実習(リハビリ・周手術期)	3後	3			1		2	3			
	成人看護学実習(セルフケア)	3後	3			1	0	2	3			
小計(7科目)	—	12	0	0	1	0	2	4	0			
小児看護学系	小児看護学概論	2前	1				1					
	成長発達保健論	2後	1				1	1	1			
	小児実践看護Ⅰ	3前	1					1				
	小児実践看護Ⅱ	3前	1				1	1	1			
	小児看護学実習	3後	2				1	1	1			
小計(5科目)	—	6	0	0	0	1	1	1	0			
母性看護学系	母性セルフケア看護Ⅰ	2前	1			1						
	母性セルフケア看護Ⅱ	2後	2			1						
	母性セルフケア看護Ⅲ	3前	1			2			1			
	母性看護学実習	3後	2			2			1			
	小計(4科目)	—	6	0	0	2	0	0	1	0		
精神看護学系	精神看護学概論	1後	1				1					
	精神保健看護論	2前	1				1					
	精神看護学方法論	3前	2					1	1			
	精神看護学実習	3後	2				1	1	1			
	小計(4科目)	—	6	0	0	0	1	1	1	0		
老年看護学系	老年看護学概論	1後	1						2			
	老年看護学援助論	2後	2						2			
	老年看護実践方法論	3前	1						2			
	老年看護学実習Ⅰ	3後	1						3	0		
	老年看護学実習Ⅱ	4前	3						3	0		
	小計(5科目)	—	8	0	0	0	0	0	3	0		
在宅看護学系	在宅看護学概論	2前	1				1					
	在宅看護学方法論	2後	2				1	1				
	在宅看護学演習	3前	1				1	2		2		
	在宅看護学実習	3後	2				1	2		2		
	小計(4科目)	—	6	0	0	0	1	2	0	2		
公衆衛生看護学系	公衆衛生看護学概論Ⅰ	1後	1			1						
	公衆衛生看護学概論Ⅱ	2前		1		1						
	地域診断論	3前		1		1						
	学校保健・産業保健	2後		1		1						
	地域ケアシステム論	3後		1			1	0				
	公衆衛生看護援助方法論	3前		2		1	1	2				
	公衆衛生看護実践論Ⅰ	2前		2			1	0				
	公衆衛生看護実践論Ⅱ	2後		2				1				
	健康教育論	3後		2		1	2	1				
	公衆衛生看護管理論	4前		1		1	1	1				
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		4		1	1	1				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1	1	1				
	小計(12科目)	—	1	18	0	1	2	2	0	0		
統合看護	家族と看護	2前		1		1	1		3			
	災害看護	4後	1					1				
	国際看護	3前		1				1				
	リハビリテーション看護	3前	1						1			
	看護研究方法論	3前	1			1	0					
	卒業研究	4通	2			7	6	11	12	4		
	看護管理学	4前	1			1						
	統合実習	4前	2			3	2	9	11	4		
	小計(8科目)	—	9	1	0	7	6	11	12	4		
	合計(58科目)	—	67	19	0	7	8	11	12	4		11
自由科目	国際医学概論				2							1
	異文化看護概論	1・2・3・4前			2			1				
	インターシップ	1・2・3・4前			2							1
	小計(3科目)	—	0	0	6	0	0	1	0	0		2
合計(119科目)		—	105	64	6	10	8	13	16	4		65
卒業要件及び履修方法												
卒業要件は必修科目105単位、選択科目19単位以上を修得し、124単位以上を修得したうえで卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容（看護学科）

【令和元年度】

- ・授業の充実を図るため、「自然科学」を「兼任・兼任1」から専任教員「講師1」に変更。
- ・授業の充実を図るため、「生命科学」を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。「英語・授業の充実を図るため、「英語」を「兼任・兼任2」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員の職位変更、就任辞退、新規採用により、「基礎ゼミ」の専任教員の配置を「教授7、准教授8、講師11、助教12、助手4」から「教授7、准教授7、講師10、助教15、助手4」に変更。
- ・専門性の高い授業の充実を図るため、「人体形態学」を「兼任・兼任2」を兼任教員の「兼任・兼任1」に変更。
- ・就任辞退、授業の充実を図るために、「看護のための病態生理」を「准教授1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るため、「看護学概論」の教員配置を「教授1」から「教授1、兼任・兼任3」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るため、「対人コミュニケーション」の配置を「准教授1」から「教授3、准教授1、講師3、助教3、助手1、兼任・兼任4」に変更。
- ・専任教員の採用、実務経験者による専門性の深化を図るために、「基本看護技術Ⅰ」の教員配置を「准教授1、講師1、助教2、助手1」から「准教授2、講師1、助教3、助手2、兼任・兼任11」に変更。
- ・専任教員の採用、実務経験者による専門性の深化を図るために、「基本看護技術Ⅱ」の教員配置を「准教授1、講師1、助教2、助手1」から「准教授2、講師1、助教3、助手1、兼任・兼任10」に変更。
- ・専任教員の採用、専門性の深化及び授業の充実を図るために、「看護過程展開Ⅰ」の教員配置を「准教授1、講師1、助教2、助手1」から「准教授2、講師1、助教3、助手1」に変更。
- ・専門性のより高い教員配置を図るために、「基礎看護学実習Ⅰ」の教員配置を「教授3、准教授2、講師8、助教11、助手4」から「教授2、准教授2、講師7、助教13、助手2、兼任・兼任2」に変更。
- ・教員の昇任により「成人セルフケア方法論」を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により「成人がん・難病・ターミナル看護方法論」を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「成人看護学実習」を「教授1、准教授1、講師1、助教4」から「教授1、講師2、助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「成人看護学実習（リハビリ・周手術期）」を「教授1、講師1、助教4」から「教授1、講師2、助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「成人看護学実習（セルフケア）」を「教授1、准教授1、講師1、助教3」から「教授1、講師2、助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「老年看護学実習Ⅰ」を「助教2、助手1」から「助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「地域ケアシステム論」「公衆衛生実践論Ⅰ」を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「公衆衛生看護援助方法論」を「教授1、講師3」から「教授1、准教授1、講師2」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「公衆衛生看護実践Ⅰ」を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「健康教育論」を「教授1、准教授1、講師2」から「教授1、准教授2、講師1」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習Ⅰ」「公衆衛生看護学実習Ⅱ」を「教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により「看護研究方法論」を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により「卒業研究」を「教授7、准教授7、講師11、助教12、助手4」から「教授7、准教授6、講師11、助教12、助手4」に変更。

【令和2年度】

- ・退職に伴い、「自然科学」を専任教員「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・授業の充実及び教員負担軽減を顧慮し、「スポーツ健康科学」を「兼任2」から「兼任2」に変更。
- ・退職に伴い、実務経験者の専門性の深化及び授業の充実を図るため、「看護のための病態生理」を専任教員「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・教育の充実及び教員負担軽減を顧慮し、「化学」を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「英語」を「兼任2」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・退職、職位変更、新規採用により、「基礎ゼミ」の専任教員の配置を「教授7、准教授7、講師10、助教15、助手4」から「教授7、准教授9、講師9、助教12、助手1」に変更。
- ・教育の充実を図るため、「人体形態学」を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るため、「看護学概論」を「教授1、兼任3」から「教授1、講師1、兼任3」に変更。
- ・実務経験者による専門性の高い深化及び授業の充実を図るため、「対人コミュニケーション」を「教授3、准教授1、講師3、助教3、助手1、兼任4」から「教授2、准教授4、講師4、助教4、兼任4」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るため、「基本看護技術Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授2、講師1、助教3、助手2、兼任11」から「准教授2、講師1、助教3、兼任14」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「基本看護技術Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授2、講師1、助教3、助手1、兼任・兼任10」から、「准教授2、講師1、助教3、兼任12」に変更。
- ・新規採用、教育の充実を図るため、「看護過程展開Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授2、講師1、助教3、助手1」から「准教授2、講師1、助教3」に変更。
- ・教育の充実を図るため、「老年看護学概論」の専任教員の配置を「助教2」から「教授1、助教3」に変更。
- ・退職、新規採用、実務経験者による専門性の深化及び授業の充実のため、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2、准教授2、講師7、助教13、助手2、兼任2」から「教授2、准教授2、講師5、助教11、助手1」に変更。
- ・退職に伴い、「異文化看護概論」を「講師1」から専任教員の「准教授1」に変更。
- ・教育の充実及び教員負担軽減を顧慮し、「国際医学概論」「兼任1」を専任教員の「教授1、准教授1、講師1」、「兼任・兼任16」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「ホルタル語」を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「社会保障論」を「兼任2」から「兼任2、兼任1」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「社会福祉論」を「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「公衆衛生学」を「兼任1」から専任教員「教授1」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「疫学」を「兼任1」から専任教員「教授1」、「兼任2」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「コンプリメンタリーセラピー」を「教授1」から専任教員「教授1、講師1」、「兼任1」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「家族と看護」を「教授1」から「教授1、講師2、助教1」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化と教育の充実を図るため、「老年看護学援助論」を「助教2」から「教授1、助教3、兼任12」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るため、「在宅看護学概論」を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・退職、専任教員職位変更、実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るため、「在宅看護学方法論」を「准教授1、講師1」から専任教員「准教授2、講師2、助教1」、「兼任4」に変更。
- ・退職に伴い、「成人がん・難病・ターミナル看護方法論」を「准教授1」から専任教員「准教授1、講師2、助教3」、「兼任3」に変更。
- ・退職に伴い、「成人セルフケア方法論」を「講師1」から専任教員「講師1、助教1」、「兼任5」に変更。
- ・専任教員の職位変更、授業の充実を図るため、「母性セルフケア看護Ⅱ」を「教授1」から専任教員「教授、講師1」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るため、「看護過程展開Ⅱ」を「准教授1、講師1、助教1、専任1」から専任教員「准教授2、講師1、助教3」、「兼任15」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「成人期疾病論Ⅲ」を「兼任1」から専任教員「准教授1」兼任6」に変更。
- ・定年退職、実務経験者による専門性の深化及び教育の充実のため、「小児期疾病論」を「兼任1」から「兼任12」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るため、「精神保健看護論」を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・退職、新規採用、職位変更により、「基礎看護学実習Ⅱ」を「教授2、准教授3、講師6、助教12、助手3」から「教授2、准教授3、講師9、助教11、助手1」に変更。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実践Ⅱ」を「講師1」から専任教員「教授1、准教授2」、「兼任1」に変更。
- ・新規採用、専門性の深化及び教育の充実を図るため、「学校保健・産業保健」を「教授1」から専任教員「教授1、助教1」に変更。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の「講師1」を削除し、専任教員「助教1」を追加。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の「講師1」を削除し、専任教員「助教1」を追加。

(注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数 (看護学科)

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
74 科目	42 科目	3 科目	119 科目	74 科目	42 科目	3 科目	119 科目	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目（看護学科）

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目（看護学科）

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」（看護学科）

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合（看護学科）

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{119} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

## 2 授業科目の概要

<保健衛生学部 リハビリテーション学科>

(1) ー① 授業科目表 (リハビリテーション学科)

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎分野	科学的 思考の 基盤  人間と 生活	生物学	1前	1				1					
		統計学	1前	1				1					
		物理学	1前	1									1
		化学	1前		1					1			
		数学	1前		1								1
		心理学	1前	1									1
		生命倫理学	1後		1								1
		文化人類学	1後		1								1
		教育学	1前		1								1
		スポーツ・健康科学	3通	2									1
		英語1	1通	2									1
		英語2	1通	2									2
		中国語	1後		1								1
		ポルトガル語	1後		1		1						
医学英語	2前	1						1					
小計(15科目)			-	11	7	0	1	2	2	0	0	11	
専門 基礎 分野	人体の 構造と 機能及 び心身 の発達	解剖学1	1通	2			1	1					
		解剖学2	1通	2			1		1				
		解剖学実習	2前	1			1	1	1		1		
		機能解剖学	1通	2				1					
		機能解剖学演習	1後	1				1					
		生理学1	1前	1			1						
		生理学2	1後	1			1						
		生理学実習	1後	1			1	1			2		
		運動学1	1後	1			1						
		運動学2	2前	1			1						1
		運動学3	2後	1									1
		運動学実習	2後	1			1		1	1	4	1	
		人間発達学	1後	1					1				
		病理学	1後	1									1
	小計(14科目)			-	17	0	0	3	1	3	1	4	4
	疾病と 障害の 成り立 ち及び 回復過 程の促 進	臨床心理学	1後	1									1
		一般臨床医学	2前	1						1			3
		内科学	2前	1						1			4
		整形外科1	2前	1						1			4
		整形外科2	2後	1						1			2
		神経内科学1	2前	1									1
		神経内科学2	2後	1									1
		精神医学1	2前	1									3
		精神医学2	2後	1									1
		小児科学	2後	1									4
		老年学	2後	1									1
		公衆衛生学	2後	1									1
		救急医学	2前	1									2
		スポーツ医学	2前		1								1
		リハビリテーション工学	2後	1					2				
		基礎情報処理学	1前	1					1				
		医用情報処理学	3後	1					1				
		コンピュータープログラミング	3前	1					1		1		
		医療経営学	1後		1		1				2		
		言語機能学	3前	1			1						
		言語療法学	3後		1		1						
		言語病理学	3後		1		1						
		小計(22科目)			-	18	4	0	2	2	1	3	0
リハビ リテー ション 学		リハビリテーション医学概論	1前	1									1
	リハビリテーション評価概論	2前	1						1			4	
	小計(2科目)			-	2	0	0	0	0	1	0	5	
合計(53科目)			-	48	11	0	4	7	5	3	4	35	

【令和2年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	科学的思考の基盤 人間と生活	生物学	1前	1				1					
		統計学	1前	1				0					1
		物理学	1前	1									1
		化学	1前		1				1				
		数学	1前		1			0					1
		心理学	1前	1									1
		生命倫理学	1後		1								1
		文化人類学	1後		1								
		教育学	1前		1								
		スポーツ・健康科学	3通	2						1			1
		英語1	1通	2									4
		英語2	1通	2					1				2
		中国語	1後		1								1
		ポルトガル語	1後		1		0						1
医学英語	2前	1						1					
小計(15科目)			-	11	7	0	0	1	3	1	0	14	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学1	1通	2			1	1					
		解剖学2	1通	2			1		0	1			
		解剖学実習	2前	1			1	1	0	1	0		
		機能解剖学	1通	2				1					
		機能解剖学演習	1後	1			1	1		1			
		生理学1	1前	1			1						
		生理学2	1後	1			1						
		生理学実習	1後	1			1	1		1	0		
		運動学1	1後	1			1						1
		運動学2	2前	1			1						
		運動学3	2後	1									3
		運動学実習	2後	1			2		3	3	0		1
		人間発達学	1後	1				1	0				
		病理学	1後	1									1
	小計(14科目)			-	17	0	0	4	2	3	3	2	8
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学	1後	1				1					0
		一般臨床医学	2前	1			1	1	0				2
		内科学	2前	1				1	0				6
		整形外科1	2前	1				1	0				4
		整形外科2	2後	1				1	0				5
		神経内科学1	2前	1									1
		神経内科学2	2後	1									1
		精神医学1	2前	1									4
		精神医学2	2後	1									4
		小児科学	2後	1									6
		老年学	2後	1			1						0
		公衆衛生学	2後	1									2
		救急医学	2前	1									3
		スポーツ医学	2前		1								1
		リハビリテーション工学	2後	1				2					
		基礎情報処理学	1前	1				2	1				
		医用情報処理学	3後	1				2					
		コンピュータープログラミング	3前	1				1	2	0			
		医療経営学	1後		1		1			0			1
		言語機能学	3前	1			1			1			
		言語療法学	3後		1		1						
		言語病理学	3後		1		1		2	1			
		小計(22科目)			-	18	4	0	3	4	3	1	0
リハビリテーション学		リハビリテーション医学概論	1前	1									1
	リハビリテーション評価概論	2前	1				1	0				4	
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	1	0	0	0	5		
合計(53科目)		-	48	11	0	7	6	6	4	0	5	59	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
専門分野	理学療法概論	1前	1			1					1
	作業療法概論	1前		1		1					1
	義肢学	2前	1								
	社会福祉学	1前	1					1	1		1
	社会保障制度論	1後		1							1
	レクリエーション・セラピー	1後	1					1			
	客観的臨床能力演習1	2後	1			4	3	10			
	客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	10			2
	客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	10			2
	臨床研究	3後-4前	2			5	2	10			
	小計(10科目)	-	9	2	0	5	3	10	1	0	6
	基礎理学療法学	理学療法教育・管理学概論	1後		1						
	理学療法研究概論	3前		1			1				
	臨床運動学	3前	1						1		
	病態運動学	3後	1				1				
	表面解剖学(理)	3前	1					1			1
	小計(5科目)	-	3	2	0	0	1	2	1	0	1
	基礎作業療法学	作業療法理論	1後	1				1			
	作業療法教育・管理学概論	1後		1		1					1
	作業療法研究概論	3前		1		1					
	運動学習理論	1後		1				1			
	表面解剖学(作)	3前	1					1		1	
	基礎作業学	1後	1						1		
	小計(6科目)	-	3	3	0	2	0	3	1	1	1
	理学療法評価学	検査・測定論1(理)	1後			1			1		
	検査・測定論実習1(理)	2前	1			1			1		
	検査・測定論2(理)	1後	1					1			
	検査・測定論実習2(理)	2後	1						1		
	理学療法評価演習	2後	1					1			
	動作分析論	2前	1			1					
	小計(6科目)	-	6	0	0	1	1	2	1	1	0
	作業療法評価学	検査・測定論1(作)	2前	1				1			
	検査・測定論実習1(作)	2後	1						1	1	
	検査・測定論2(作)	1後	1					1			
	検査・測定論実習2(作)	2後	1						1	1	
	検査・測定論3	2前	1			1					
	作業療法評価演習	2後	1						1		
	小計(6科目)	-	6	0	0	1	0	1	2	1	0
	理学療法治療学	装具学	2前	1				1			
	義肢・装具学実習	2後	1					1		1	
	日常生活活動学(理)	2前	1					1			
	日常生活活動学実習(理)	2後	1					1		1	1
	運動療法学	2前	1					1	1		
	運動療法学実習	3前	1					1		1	
	理学療法治療学1-中級1	2後	1			1					
	理学療法治療学2-中級2	3後	1					1			
	理学療法治療学3-中級3	2前	1			1					
	理学療法治療学4-整形1	1後	1					1			
	理学療法治療学5-整形2	2後	1					1			
	理学療法治療学6-徒手療法	3後	1					1			
	理学療法治療学7-スポーツ	3後	1								1
	理学療法治療学8-呼吸	3前	1					1			
	理学療法治療学9-内部障害	2後	1					1			
	理学療法治療学10-小児	3前	1			1					
	物理療法学	1後	1					1			
	物理療法学実習	2前	1					1		1	
	小計(18科目)	-	18	0	0	2	0	6	1	2	2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
専門分野	理学療法概論	1前	1				1				1
	作業療法概論	1前		1							0
	義肢学	2前	1			1					3
	社会福祉学	1前	1					0	0		1
	社会保障制度論	1後		1							1
	レクリエーション・セラピー	1後	1					1		1	1
	客観的臨床能力演習1	2後	1			5	2	8			1
	客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	8			3
	客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	8			4
	臨床研究	3後-4前	0			0	0	0			
	小計(9科目)	-	7	2	0	6	2	8	0	1	11
	基礎理学療法学	理学療法教育・管理学概論	1後		1				1		
	理学療法研究概論	3前		1			1	1			
	臨床運動学	3前	1					1	0		
	病態運動学	3後	1				1				
	表面解剖学(理)	3前	1					0	1		1
	小計(5科目)	-	3	2	0	0	1	3	1	0	1
	基礎作業療法学	作業療法理論	1後	1				1			
	作業療法教育・管理学概論	1後		1		1					1
	作業療法研究概論	3前		1		1			1		
	運動学習理論	1後		1				0			1
	表面解剖学(作)	3前	1					0	1	0	
	基礎作業学	1後	1						1		
	小計(6科目)	-	3	3	0	2	0	2	2	0	2
	理学療法評価学	検査・測定論1(理)	1後			1			0	0	1
	検査・測定論実習1(理)	2前	1			1			0	0	1
	検査・測定論2(理)	1後	1					1			2
	検査・測定論実習2(理)	2後	1					2		0	
	理学療法評価演習	2後	1					1			
	動作分析論	2前	1				1				
	小計(6科目)	-	6	0	0	1	1	3	0	1	2
	作業療法評価学	検査・測定論1(作)	2前	1				1	1		
	検査・測定論実習1(作)	2後	1						2	0	
	検査・測定論2(作)	1後	1						1		
	検査・測定論実習2(作)	2後	1						1	1	
	検査・測定論3	2前	1			1					
	作業療法評価演習	2後	1						1		
	小計(6科目)	-	6	0	0	1	0	1	4	1	0
	理学療法治療学	装具学	2前	1				1			
	義肢・装具学実習	2後	1					1		1	1
	日常生活活動学(理)	2前	1					0			
	日常生活活動学実習(理)	2後	1					1		1	1
	運動療法学	2前	1					1	0		
	運動療法学実習	3前	1					1	1	0	
	理学療法治療学1-中級1	2後	1			1			1		
	理学療法治療学2-中級2	3後	1					1			
	理学療法治療学3-中級3	2前	1			1					
	理学療法治療学4-整形1	1後	1					1			
	理学療法治療学5-整形2	2後	1					1			
	理学療法治療学6-徒手療法	3後	1					1	0		1
	理学療法治療学7-スポーツ	3後	1								2
	理学療法治療学8-呼吸	3前	1					1			
	理学療法治療学9-内部障害	2後	1					1			
	理学療法治療学10-小児	3前	1			1		1			2
	物理療法学	1後	1					1			
	物理療法学実習	2前	1					1	1	0	
	小計(18科目)	-	18	0	0	2	1	6	1	1	7

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
専門 分野	作業療法 学	スプリント	2前	1					1			
		スプリント製作実習	2後	1							1	
		日常生活活動学(作)	2前	1								1
		日常生活活動学実習(作)	2後	1						1	1	1
		作業療法治療学1-中核1	2前	1						1		
		作業療法治療学2-中核2	2前	1					1			
		作業療法治療学3-中核3	2後	1						1		
		作業療法治療学4-中核4	2後	1			1					
		作業療法治療学5-整形1	2前	1					1			
		作業療法治療学6-整形2	2前	1					1			
		作業療法治療学7-内部障害	3後	1						1		
		作業療法治療学8-精神障害	3前	1						1		
		作業療法治療学9-老年期	2後	1					1			
		作業療法治療学10-小児	3後	1						1		
		作業療法治療学演習1-中核	3前	1						1		
		作業療法治療学演習2-精神障害	3後	1						1		
		作業学1-革細工・藤細工	3前		1					1		
		作業学2-木工・陶芸	3後		1				1			
	小計(18科目)	－	16	2	0	1	0	3	4	2	2	
	地域リハ ビテーション 学	地域リハビリテーション学(理)	3後	1					1			
		地域リハビリテーション学実習(理)	4前	1					1			
		小計(2科目)	－	2	0	0	0	0	1	0	0	0
		地域リハビリテーション学(作)	3後	1					1			
		地域リハビリテーション学実習(作)	4前	1					1			
		職業関連活動学	3後	1						1		
		小計(3科目)	－	3	0	0	0	0	1	1	0	0
		理学療法学特論	4後	1			1					
		小計(1科目)	－	1	0	0	1	0	0	0	0	0
作業療法学特論		4後	1			1						
小計(1科目)	－	1	0	0	1	0	0	0	0	0		
臨床実習	基礎臨床見学実習	1通	1			5	2	10				
	初期体験実習	2後	3			5	2	10				
	臨床実習	3通	18			5	2	10				
	応用臨床実習	4前	12			5	2	10				
	小計(4科目)	－	34	0	0	5	2	10	0	0	0	
	臨床研究	3後-4後	2			5	2	10				
	小計(1科目)	－	2	0	0	5	2	10	0	0	0	
合計(80科目)	－	102	9	0	5	3	10	5	4	11		
自由 科目	国際医学概論	1前			2						1	
	異文化看護概論	1・2・3・4期			2						1	
	インターンシップ	1・2・3・4期			2	1						
	小計(3科目)	－	0	0	6	1	0	0	0	0	2	
総合計(137科目)			－	150	20	10	8	6	13	7	4	50
卒業要件及び履修方法												
リハビリテーション学科 ＜理学療法専攻＞ 卒業要件は必修科目121単位、選択科目6単位以上を修得し、合計127単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 ＜作業療法専攻＞ 卒業要件は必修科目120単位、選択科目8単位以上を修得し、合計128単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位（年間）)												

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門分野	作業療法治療学	スプリント	2前	1					1			
		スプリント製作実習	2後	1					1		0	
		日常生活活動学(作)	2前	1						1		0
		日常生活活動学実習(作)	2後	1						2	0	1
		作業療法治療学1-中核1	2前	1					1			
		作業療法治療学2-中核2	2前	1					1			
		作業療法治療学3-中核3	2後	1			1			1		
		作業療法治療学4-中核4	2後	1			1					
		作業療法治療学5-整形1	2前	1					1			
		作業療法治療学6-整形2	2前	1					0			1
		作業療法治療学7-内部障害	3後	1			1			0	1	
		作業療法治療学8-精神障害	3前	1						1		
		作業療法治療学9-老年期	2後	1					1			
		作業療法治療学10-小児	3後	1						1		
		作業療法治療学演習1-中核	3前	1						1		
		作業療法治療学演習2-精神障害	3後	1						1		
		作業学1-革細工・藤細工	3前		1					2		
		作業学2-木工・陶芸	3後		1		1		0		1	
	小計(18科目)	-	16	2	0	2	0	2	6	1	2	
	地域福祉学	地域リハビリテーション学(理)	3後	1					1			2
		地域リハビリテーション学実習(理)	4前	1					1		1	
		小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	2	0	1	2
		地域リハビリテーション学(作)	3後	1					1			
		地域リハビリテーション学実習(作)	4前	1					1			
		職業関連活動学	3後	1						1		
	地域作業学	小計(3科目)	-	3	0	0	0	0	1	1	0	0
		理学療法特論	4後	1			1					
小計(1科目)		-	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
作業療法特論		4後	1			1						
小計(1科目)		-	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
基礎臨床見学実習		1通	1			5	2	8				
臨床実習	初期体験実習	2後	3			5	2	8				
	臨床実習	3通	18			5	2	8				
	応用臨床実習	4前	12			5	2	8				
	小計(4科目)	-	34	0	0	5	2	8	0	0	0	
	臨床研究	3後～4後	2			5	2	8				
	小計(1科目)	-	2	0	0	5	2	8	0	0	0	
	合計(80科目)	-	102	9	0	6	2	9	8	3	23	
	自由科目	国際医学概論	1前			2	1	1	2			15
異文化看護概論		1・2・3・4期			2						1	
インターンシップ		1・2・3・4期			2	1						
小計(3科目)		-	0	0	6	2	1	2	0	0	15	
総合計(136科目)			-	150	20	10	9	7	12	10	3	96
卒業要件及び履修方法												
リハビリテーション学科 <理学療法専攻> 卒業要件は必修科目121単位、選択科目6単位以上を修得し、合計127単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 <作業療法専攻> 卒業要件は必修科目120単位、選択科目8単位以上を修得し、合計128単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))												

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 礎 科 目	生物学	1前	1				1				
	統計学	1前	1				0				1
	物理学	1前	1								1
	化学	1前		1				1			
	数学	1前		1		1					0
	心理学	1前	1								1
	生命倫理学	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	教育学	1前		1							1
	スポーツ・健康科学	3通	2						1		1
	英語1	1通	2								1
	英語2	1通	2								2
	中国語	1後		1							1
	ポルトガル語	1後		1		0					1
	医学英語	2前	1					1			
	小計(15科目)	-	11	7	0	0	2	2	1	0	12
専 門 基 礎 分 野	解剖学1	1通	2			1	1				
	解剖学2	1通	2			1		1			
	解剖学実習	2前	1			1	1	1	1	0	
	機能解剖学	1通	2				1				
	機能解剖学演習	1後	1				1				
	生理学1	1前	1			1					
	生理学2	1後	1			1					
	生理学実習	1後	1			1	1		1	1	
	運動学1	1後	1			1					
	運動学2	2前	1			1					1
	運動学3	2後	1								1
	運動学実習	2後	1			1		2	1	2	1
	人間発達学	1後	1					1			
	病理学	1後	1								1
	小計(14科目)	-	17	0	0	3	1	4	1	2	4
	臨床心理学	1後	1								1
	一般臨床医学	2前	1					1			3
	内科学	2前	1					1			4
	整形外科1	2前	1					1			4
	整形外科2	2後	1					1			2
	神経内科学1	2前	1								1
	神経内科学2	2後	1								1
	精神医学1	2前	1								3
	精神医学2	2後	1								1
	小児科学	2後	1								4
	老年学	2後	1								1
	公衆衛生学	2後	1								1
	救急医学	2前	1								2
	スポーツ医学	2前		1							1
	リハビリテーション工学	2後	1				2				
	基礎情報処理学	1前	1				1				
	医用情報処理学	3後	1				1				
	コンピュータープログラミング	3前	1				1	1	0		
	医療経営学	1後		1		1			0		2
	言語機能学	3前	1			1					
	言語療法学	3後		1		1					
	言語病理学	3後		1		1					
	小計(22科目)	-	18	4	0	2	2	2	0	0	27
	リハビリテーション医学概論	1前	1								1
	リハビリテーション評価概論	2前	1					1			4
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	1	0	0	5
	合計(53科目)	-	48	11	0	5	4	6	2	2	37

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門分野	理学療法概論	1前	1			1					
	作業療法概論	1前		1		1					1
	義肢学	2前	1								1
	社会福祉学	1前	1					1	1		1
	社会保障制度論	1後		1							1
	レクリエーション・セラピー	1後	1					1			
	客観的臨床能力演習1	2後	1			5	2	11			
	客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	11			2
	客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	11			2
	臨床研究	1後	0			0	0	0			
	小計(9科目)	-	7	2	0	5	2	11	1	0	6
	理学療法教育・管理学概論	1後		1				1			
	理学療法研究概論	3前		1			1				
	臨床運動学	3前	1					1	0		
	病態運動学	3後	1				1				
	表面解剖学(理)	3前	1					1			1
	小計(5科目)	-	3	2	0	0	1	3	0	0	1
	作業療法理論	1後	1					1			
	作業療法教育・管理学概論	1後		1		1					1
	作業療法研究概論	3前		1		1					
	運動学習理論	1後		1				1			
	表面解剖学(作)	3前	1					1	1	0	
	基礎作業学	1後						1			
	小計(6科目)	-	3	3	0	2	0	3	2	0	1
	検査・測定論1(理)	1後	1			1		1	0		
	検査・測定論実習1(理)	2前	1			1		1	0		
	検査・測定論2(理)	1後	1					1			
	検査・測定論実習2(理)	2後	1					1		1	
	理学療法評価演習	2後	1					1			
	動作分析論	2前	1			1					
	小計(6科目)	-	6	0	0	1	1	3	0	1	0
	検査・測定論1(作)	2前	1					1			
	検査・測定論実習1(作)	2後	1						1	1	
	検査・測定論2(作)	1後	1						1		
	検査・測定論実習2(作)	2後	1						1	1	
	検査・測定論3	2前	1			1					
	作業療法評価演習	2後	1						1		
	小計(6科目)	-	6	0	0	1	0	1	2	1	0
	装具学	2前	1					1			
	義肢・装具学実習	2後	1							1	
	日常生活活動学(理)	2前	1					1			
	日常生活活動学実習(理)	2後	1					1		1	1
	運動療法学	2前	1					2	0		
	運動療法学実習	3前	1					1		0	
	理学療法治療学1-中枢1	2後	1			1					
	理学療法治療学2-中枢2	3後	1					1			
	理学療法治療学3-中枢3	2前	1			1					
	理学療法治療学4-整形1	1後	1					1			
	理学療法治療学5-整形2	2後	1					1			
	理学療法治療学6-徒手療法	3後	1					1			
	理学療法治療学7-スポーツ	3後	1								1
	理学療法治療学8-呼吸	3前	1					1			
	理学療法治療学9-内部障害	2後	1					1			
	理学療法治療学10-小児	3前	1			1					
	物理療法学	1後	1								
	物理療法学実習	2前	1					1	0		
	小計(18科目)	-	18	0	0	2	0	7	0	1	2

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 分 野	作業療 法 学	スプリント	2前	1					1				
		スプリント製作実習	2後	1					1		1		
		日常生活活動学(作)	2前	1								1	
		日常生活活動学実習(作)	2後	1						2	0	1	
		作業療法治療学1-中枢1	2前	1						1			
		作業療法治療学2-中枢2	2前	1					1				
		作業療法治療学3-中枢3	2後	1						1			
		作業療法治療学4-中枢4	2後	1			1						
		作業療法治療学5-整形1	2前	1					1				
		作業療法治療学6-整形2	2前	1					1				
		作業療法治療学7-内部障害	3後	1						1			
		作業療法治療学8-精神障害	3前	1						1			
		作業療法治療学9-老年期	2後	1					1				
		作業療法治療学10-小児	3後	1						1			
		作業療法治療学演習1-中枢	3前	1						1			
		作業療法治療学演習2-精神障害	3後	1						1			
		作業学1-革細工・藤細工	3前		1						1		
		作業学2-木工・陶芸	3後		1				1				
	小計(18科目)	—	16	2	0	1	0	3	5	1	2		
	地域 法 学	地域リハビリテーション学(理)	3後	1					1				
		地域リハビリテーション学実習(理)	4前	1					1				
		小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	1	0	0	0	
		地域リハビリテーション学(作)	3後	1					1				
		地域リハビリテーション学実習(作)	4前	1					1				
		職業関連活動学	3後	1						1			
		小計(3科目)	—	3	0	0	0	0	1	1	0	0	
		特 論	理学療法学特論	4後	1			1					
			小計(1科目)	—	1	0	0	1	0	0	0	0	0
			作業療法学特論	4後	1			1					
	小計(1科目)		—	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
	臨 床 実 習	基礎臨床見学実習	1通	1			5	2	11				
		初期体験実習	2後	3			5	2	11				
		臨床実習	3通	18			5	2	11				
		応用臨床実習	4前	12			5	2	11				
		小計(4科目)	—	34	0	0	5	2	11	0	0	0	
		臨床研究	1後-4前	2			5	2	11				
		小計(1科目)	—	2	0	0	5	2	11	0	0	0	
	合計(80科目)	—	102	9	0	5	2	11	5	2	11		
自 由 科 目	国際医学概論	1前			2								
	異文化看護概論	1・2・3・4前			2						1		
	インターンシップ	1・2・3・4前			2	1							
	小計(3科目)	—	0	0	6	1	0	0	0	0	2		
総合計(136科目)			—	150	20	10	8	5	14	7	2	54	
卒業要件及び履修方法													
リハビリテーション学科 ＜理学療法専攻＞ 卒業要件は必修科目121単位、選択科目6単位以上を修得し、合計127単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アゼンブリ)へ参加すること。 ＜作業療法専攻＞ 卒業要件は必修科目120単位、選択科目8単位以上を修得し、合計128単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アゼンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容（リハビリテーション学科）

【令和元年度】

- ・申請時記載誤りの修正により、「統計学」の教員配置を「准教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・科目担当者の変更により、「数学」の教員配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・専門性の深化のため、「スポーツ・健康科学」の教員配置を「兼任1」から「助教1、兼任1」に変更。
- ・専門性の高い教員配置を図るため、「ポルトガル語」の教員配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「解剖学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、講師1、助手1」から「教授1、准教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「生理学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、助手2」から「教授1、准教授1、助教1、助手1」に変更。
- ・担当教員の職位変更、および留学による不在のため、「運動学実習」の教員配置を「教授1、講師1、助教1、助手4、兼任1」から「教授1、講師2、助教1、助手2、兼任1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「コンピュータプログラミング」の教員配置を「准教授1、助教1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・申請時記載誤りの修正により、「医療経営学」の教員配置を「教授1、助教2」から「教授1、兼任2」に変更。
- ・担当教員の職位変更および申請時記載誤りの修正により、「客観的臨床能力演習1」の教員配置を「教授4、准教授3、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習2」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習3」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・申請時記載誤りの修正により、理学療法・作業療法共通科目の「臨床研究」を削除。
- ・担当教員の職位変更により、「臨床運動学」の教員配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「表面解剖学（作）」の教員配置を「講師1、助手1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「検査・測定論1（理学）」の教員配置を「教授1、助教1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「検査・測定論実習1（理学）」の教員配置を「教授1、助教1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「運動療法学」の教員配置を「講師1、助教1」から「講師2」に変更。
- ・担当教員の留学による不在により、「運動療法学実習」の教員配置を「講師1、助手1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の留学による不在により、「物理療法学実習」の教員配置を「講師1、助手1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「日常生活活動学実習（作）」の教員配置を「助教1、助手1、兼任1」から「助教2、兼任1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「基礎臨床見学実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「初期体験実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「臨床実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「応用臨床実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「臨床研究」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。

【令和２年度】

記載の誤りにより、「数学」の教員配置を「准教授１」から「兼任１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「英語１」の教員配置を「兼任１」から「兼任２、兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「英語２」の教員配置を「兼任１、兼任１」から「講師１、兼任１、兼任２」に変更。
・担当教員の退職により、「解剖学２」の教員配置を「教授１、講師１」から「教授１、助教１」に変更。
・担当教員の退職および専門性の深化を図るため、「解剖学実習」の教員配置を「教授１、准教授１、講師１、助手１」から「教授１、准教授１、助教１、兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「機能解剖学演習」の教員配置を「准教授１」から「教授１、准教授１、助教１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「生理学実習」の教員配置を「教授１、准教授１、助手１」から「教授１、准教授１、助教１」に変更。
・運動学３」の教員配置を「兼任１」から「兼任３」に変更。
・専門性の深化を図るため、「運動学実習」の教員配置を「教授１、講師２、助教１、助手２、兼任１」から「教授２、講師３、助教３、兼任１」に変更。
・担当教員の職位変更により、「人間発達学」の教員配置を「講師１」から「准教授１」へ変更。
・担当教員の職位変更、配置転換により、「一般臨床医学」の教員配置を「講師１、兼任３」から「教授１、准教授１、兼任２」に変更。
・担当教員の職位変更、専門性の深化を図るため、「内科学」の教員配置を「講師１、兼任４」から「准教授１、兼任６」へ変更。
・担当教員の職位変更により、「整形外科１」の教員配置を「講師１、兼任４」から「准教授１、兼任４」へ変更。
・担当教員の職位変更、専門性の深化を図るため、「整形外科２」の教員配置を「講師１、兼任２」から「准教授１、兼任５」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「精神医学１」の教員配置を「兼任３」から「兼任４」に変更。
・専門性の深化を図るため、「精神医学２」の教員配置を「兼任１」から「兼任４」に変更。
・専門性の深化を図るため、「小児科学」の教員配置を「兼任４」から「兼任６」に変更。
・担当教員の配置転換により、「老年学」の教員配置を「兼任１」から「教授１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「公衆衛生学」の教員配置を「兼任１」から「兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「救急医学」の教員配置を「兼任１、兼任１」から「兼任１、兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「基礎情報処理学」の教員配置を「准教授１」から「准教授２、講師１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「医用処理学」の教員配置を「准教授１」から「准教授２」に変更。
・担当教員の職位変更により、「コンピュータープログラミング」の教員配置を「准教授１、講師１」から「准教授１、講師２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「医療経営学」の教員配置を「教授１、兼任２」から「教授１、兼任１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「言語機能学」の教員配置を「教授１」から「教授１、助教１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「言語病理学」の教員配置を「教授１」から「教授１、講師１、助教１」に変更。
・担当教員の退職により、「リハビリテーション評価概論」の教員配置を「講師１、兼任４」から「准教授１、兼任４」に変更。
・担当教員の退職により、「社会福祉学」の教員配置を「講師１、助教１」から「兼任３」に変更。
・担当教員の配置転換により、「義肢学」の教員配置を「兼任１」から「教授１」に変更。
・担当教員の退職により、「レクリエーションセラピー」の教員配置を「講師１」から「講師１、助手１、兼任１」に変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「客観的臨床能力演習１」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８、兼任１」へ変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「客観的臨床能力演習２」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８、兼任３」へ変更。
・担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習３」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８、兼任４」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「理学療法研究概論」の教員配置を「准教授１」から「准教授１、講師１」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「表面解剖学（理）」の教員配置を「講師１、兼任１」から「助教１、兼任１」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「作業療法研究概論」の教員配置を「教授１」から「教授１、講師１」へ変更。
・担当教員の退職により、「運動学習理論」の教員配置を「講師１」から「兼任１」へ変更。
・記載の誤りの修正のため、「表面解剖学（作）」の教員配置を「講師１、助教１」から「助教１」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「検査・測定論１（理）」の教員配置を「教授１、講師１」から「教授１、助手１、兼任２」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習１（理）」の教員配置を「教授１、講師１」から「教授１、助手１、兼任２」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習２（理）」の教員配置を「講師１、助手１」から「講師２、助手１」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「検査・測定論１（作）」の教員配置を「講師１」から「講師１、助教１」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習１（作）」の教員配置を「助教１、助手１」から「助教２」へ変更。
・担当教員の出席による不在、専門性の深化を図るため、「検査・測定論２（作）」の教員配置を「助教１」から「助教２」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「義肢・装具学実習」の教員配置を「講師１、助手１」から「講師１、助手１、兼任１」へ変更。
・担当教員の退職により、「日常生活活動学（理）」の教員配置を「講師１」から「兼任１」へ変更。
・担当教員の留學により、「運動療法学」の教員配置を「講師２」から「講師１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「運動療法学実習」の教員配置を「講師１」から「講師１、助教１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学１-中枢１」の教員配置を「教授１」から「教授１、助教１」に変更。
・担当教員の留學により、「理学療法治療学６-徒手療法」の教員配置を「講師１」から「准教授１、助手１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学７-スポーツ」の教員配置を「兼任１」から「兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学１０-小児」の教員配置を「教授１」から「教授１、講師１、兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「物理療法実習」の教員配置を「講師１」から「講師１、助教１」に変更。
・記載の誤りの修正のため、「スプリント製作実習」の教員配置を「講師１、助手１」から「講師１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「日常生活活動学（作）」の教員配置を「兼任１」から「助教１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「作業療法治療学３-中枢３」の教員配置を「教授１」から「教授１、助教１」に変更。
・担当教員の退職により、「作業療法治療学６-整形２」の教員配置を「講師１」から「兼任１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「作業療法治療学７-内部障害」の教員配置を「助教１」から「教授１、助手１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「作業学１-革細工・縫細工」の教員配置を「助教１」から「助教２」に変更。
・担当教員の退職により、「作業学２-木工・陶芸」の教員配置を「講師１」から「教授１、助手１」に変更。
・担当教員の退職により、「地域リハビリテーション学（理）」の教員配置を「講師１」から「講師１、兼任２」に変更。
・担当教員の退職により、「地域リハビリテーション学実習（理）」の教員配置を「講師１」から「講師１、助手１」に変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「基礎臨床見学実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「初期体験実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「臨床実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「応用臨床実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・担当教員の退職、留学により、「臨床研究」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「国際医学概論」の教員配置を「兼任１」から「教授１、准教授１、講師２、兼任１５」へ変更。

- (注) ・ ２(１)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成３０年度開設であれば平成２９年度)の表は適宜削除してください。

(２) 授業科目数(リハビリテーション学科)

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
113 科目	20 科目	3 科目	136 科目	113 科目	20 科目	3 科目	136 科目	
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：１科目減の場合：△１)

## 2 授業科目の概要

&lt;保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻&gt;

(1) ー① 授業科目表 (リハビリテーション学科 理学療法専攻)

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 分野	科学的 思考の 基盤  人間と 生活	生物学	1前	1				1					
		統計学	1前	1				1					
		物理学	1前	1									1
		化学	1前		1					1			
		数学	1前		1								1
		心理学	1前	1									1
		生命倫理学	1後		1								1
		文化人類学	1後		1								1
		教育学	1前		1								1
		スポーツ・健康科学	3通	2									1
		英語1	1通	2									1
		英語2	1通	2									2
		中国語	1後		1								1
		ポルトガル語	1後		1		1						
		医学英語	2前	1						1			
小計(15科目)			-	11	7	0	1	2	2	0	0	11	
専門 基礎 分野	人体の 構造と 機能及 び心身 の発達	解剖学1	1通	2			1	1					
		解剖学2	1通	2			1		1				
		解剖学実習	2前	1			1	1	1		1		
		機能解剖学	1通	2				1					
		機能解剖学演習	1後	1				1					
		生理学1	1前	1			1						
		生理学2	1後	1			1						
		生理学実習	1後	1			1	1			2		
		運動学1	1後	1			1						
		運動学2	2前	1			1						1
		運動学3	2後	1									1
		運動学実習	2後	1			1		1	1	4	1	
		人間発達学	1後	1					1				
		病理学	1後	1									1
	小計(14科目)			-	17	0	0	3	1	3	1	4	4
	疾病と 障害の 成り立 ち及び 回復過 程の促 進	臨床心理学	1後	1									1
		一般臨床医学	2前	1						1			3
		内科学	2前	1						1			4
		整形外科1	2前	1						1			4
		整形外科2	2後	1						1			2
		神経内科学1	2前	1									1
		神経内科学2	2後	1									1
		精神医学1	2前	1									3
		精神医学2	2後	1									1
		小児科学	2後	1									4
		老年学	2後	1									1
		公衆衛生学	2後	1									1
		救急医学	2前	1									2
		スポーツ医学	2前		1								1
		リハビリテーション工学	2後	1					2				
		基礎情報処理学	1前	1					1				
		医用情報処理学	3後	1					1				
		コンピュータープログラミング	3前	1					1		1		
		医療経営学	1後		1		1				2		
		言語機能学	3前	1			1						
		言語療法学	3後		1		1						
		言語病理学	3後		1		1						
		小計(22科目)			-	18	4	0	2	2	1	3	0
リハビ リテー ション 工学 ・ 言語 学 ・ 認知 科学 ・ 健康 科学		リハビリテーション医学概論	1前	1									1
	リハビリテーション評価概論	2前	1						1			4	
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	1	0	0	5		
合計(53科目)			-	48	11	0	4	7	5	3	4	35	

【令和2年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎分野	科学的 思考の 基盤  人間と 生活	生物学	1前	1				1					
		統計学	1前	1				0					1
		物理学	1前	1									1
		化学	1前		1				1				
		数学	1前		1			0					1
		心理学	1前	1									1
		生命倫理学	1後		1								1
		文化人類学	1後		1								1
		教育学	1前		1								1
		スポーツ・健康科学	3通	2						1			1
		英語1	1通	2									4
		英語2	1通	2					1				2
		中国語	1後		1								1
		ポルトガル語	1後		1			0					1
		医学英語	2前	1						1			
小計(15科目)			-	11	7	0	0	1	3	1	0	14	
専門 基礎 分野	人体の 構造と 機能及 び心身 の発達	解剖学1	1通	2			1	1					
		解剖学2	1通	2			1		0	1			
		解剖学実習	2前	1			1	1	0	1	0		
		機能解剖学	1通	2				1					
		機能解剖学演習	1後	1			1	1		1			
		生理学1	1前	1			1						
		生理学2	1後	1			1						
		生理学実習	1後	1			1	1		1	0		
		運動学1	1後	1			1						1
		運動学2	2前	1			1						
		運動学3	2後	1									3
		運動学実習	2後	1			2		3	3	0		1
		人間発達学	1後	1				1	0				
		病理学	1後	1									1
	小計(14科目)			-	17	0	0	4	2	3	3	2	8
	疾病と 障害の 成り立 ち及び 回復過 程の促 進	臨床心理学	1後	1				1					0
		一般臨床医学	2前	1				1	1	0			2
		内科学	2前	1					1	0			6
		整形外科1	2前	1					1	0			4
		整形外科2	2後	1					1	0			5
		神経内科学1	2前	1									1
		神経内科学2	2後	1									1
		精神医学1	2前	1									4
		精神医学2	2後	1									4
		小児科学	2後	1									6
		老年学	2後	1			1						0
		公衆衛生学	2後	1									2
		救急医学	2前	1									3
		スポーツ医学	2前		1								1
		リハビリテーション工学	2後	1					2				
		基礎情報処理学	1前	1					2	1			
		医用情報処理学	3後	1					2				
		コンピュータープログラミング	3前	1					1	2	0		
		医療経営学	1後		1		1				0		1
言語機能学		3前	1			1				1			
言語療法学	3後		1		1								
言語病理学	3後		1		1		2	1					
小計(22科目)			-	18	4	0	3	4	3	1	0	34	
システム 工学の 基礎と 応用	リハビリテーション医学概論	1前	1									1	
	リハビリテーション評価概論	2前	1				1	0				4	
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	1	0	0	0	5		
合計(53科目)			-	48	11	0	7	6	6	4	0	59	



科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
				必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
基礎理学療法学	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1				1							
		作業療法概論	1前		1			1					1		
		理学療法教育・管理学概論	1後		1				1						
		理学療法研究概論	3前		1			1							
		臨床運動学	3前	1							1				
		病態運動学	3後	1				1							
		表面解剖学(理)	3前	1					1				1		
		小計(7科目)	-	4	3	0	1	1	2	1	0	2			
		理学療法評価学	検査・測定論1(理)	1後	1				1			1			
			検査・測定論実習1(理)	2前	1				1			1			
			検査・測定論2(理)	1後	1						1				
			検査・測定論実習2(理)	2後	1						1		1		
			理学療法評価演習	2後	1						1				
			動作分析論	2後	1					1					
			客観的臨床能力演習1	2前	1				4	3	10				
			小計(7科目)	-	7	0	0	4	3	10	1	1	0		
		理学療法治療学	理学療法治療学	義肢学	2前	1									1
				装具学	2前	1						1			
				義肢・装具学実習	2後	1								1	
日常生活活動学(理)	2前			1						1					
日常生活活動学実習(理)	2後			1						1		1			
運動療法学	2前			1						1	1				
運動療法学実習	3前			1						1		1			
理学療法治療学1-中級1	2後			1				1							
理学療法治療学2-中級2	3後			1						1					
理学療法治療学3-中級3	2前			1				1							
理学療法治療学4-整形外科1	1後			1						1					
理学療法治療学5-整形外科2	2後			1						1					
理学療法治療学6-徒手療法	3後			1						1					
理学療法治療学7-スポーツ	3後			1									1		
理学療法治療学8-呼吸	3前			1						1					
理学療法治療学9-内部障害	2後			1						1					
理学療法治療学10-小児	3前			1				1							
物理療法学	1後			1						1					
物理療法学実習	2前			1						1		1			
客観的臨床能力演習2	3後			1				4	3	10			2		
客観的臨床能力演習3	4前			1				4	3	10			2		
小計(21科目)	-			21	0	0	4	3	10	1	2	4			
地域理学療法学	地域理学療法学	社会福祉学	1前	1						1	1		1		
		社会保障制度論	1後		1								1		
		レクリエーション・セラピー	1後	1						1					
		地域リハビリテーション学(理)	3後	1						1					
		地域リハビリテーション学実習(理)	4前	1						1					
小計(5科目)	-	4	1	0	0	0	2	1	0	2					
臨床実習	臨床実習	基礎臨床見学実習	1通	1				4	3	10					
		初期体験実習	2後	3				4	3	10					
		臨床実習	3通	18				4	3	10					
		応用臨床実習	4前	12				4	3	10					
		小計(4科目)	-	34	0	0	4	3	10	0	0	0			
特論	特論	理学療法学特論	4後	1				1							
		小計(1科目)	-	1	0	0	1	0	0	0	0	0			
		臨床研究	3後-4前	2				4	3	10					
		小計(1科目)	-	2	0	0	4	3	10	0	0	0			
合計(46科目)	-	73	4	0	4	3	10	2	2	8					
自由科目	自由科目	国際医学概論	1前			2							1		
		異文化看護概論	1・2・3・4前				2								
		インターンシップ	1・2・3・4前			2	1								
		小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	0	2			
総合計(102科目)		-	121	15	6	8	6	13	7	4	47				
卒業要件及び履修方法															
卒業要件は必修科目121単位、選択科目6単位以上を修得し、合計127単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))															

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			1						
		作業療法概論	1前		1		1					1	
		理学療法教育・管理学概論	1後		1			1					
		理学療法研究概論	3前		1		1	1					
		臨床運動学	3前	1				1	0				
		病態運動学	3後	1			1						
		表面解剖学(理)	3前	1				0	1			1	
	小計(7科目)		-	4	3	0	1	1	3	1	0	2	
	理学療法評価学	検査・測定論1(理)	1後	1			1		0	0	1	2	
		検査・測定論実習1(理)	2前	1			1		0	0	1	2	
		検査・測定論2(理)	1後	1				1					
		検査・測定論実習2(理)	2後	1				2			0		
		理学療法評価演習	2後	1				1					
		動作分析論	2後	1			1						
		客観的臨床能力演習1	2前	1			5	2	8			1	
	小計(7科目)		-	7	0	0	5	2	8	0	1	3	
	理学療法治療学	義肢学	2前	1			1					0	
		装具学	2前	1				1					
		義肢・装具学実習	2後	1				1			1	1	
		日常生活活動学(理)	2前	1				0			1	1	
		日常生活活動学実習(理)	2後	1				1			1	1	
		運動療法学	2前	1				1	0				
		運動療法学実習	3前	1				1	1	0			
		理学療法治療学1-中級1	2後	1			1		1				
		理学療法治療学2-中級2	3後	1				1					
		理学療法治療学3-中級3	2前	1			1						
		理学療法治療学4-整形外科1	1後	1				1					
		理学療法治療学5-整形外科2	2後	1				1					
		理学療法治療学6-徒手療法	3後	1				1	0		1		
		理学療法治療学7-スポーツ	3後	1								2	
		理学療法治療学8-呼吸	3前	1				1					
		理学療法治療学9-内部障害	2後	1				1					
		理学療法治療学10-小児	3前	1			1		1			2	
		物理療法学	1後	1				1					
		物理療法学実習	2前	1				1	1	0			
		客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	8			3	
		客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	8			4	
		小計(21科目)		-	21	0	0	6	2	8	1	1	11
	地域理学療法学	社会福祉学	1前	1					0	0		3	
		社会保障制度論	1後		1							1	
		レクリエーション・セラピー	1後	1				1			1	1	
		地域リハビリテーション学(理)	3後	1				1				2	
		地域リハビリテーション学実習(理)	4前	1				1			1		
	小計(5科目)		-	4	1	0	0	0	3	0	2	7	
	臨床実習	基礎臨床見学実習	1通	1			5	2	8				
		初期体験実習	2後	3			5	2	8				
		臨床実習	3通	18			5	2	8				
		応用臨床実習	4前	12			5	2	8				
		小計(4科目)		-	34	0	0	5	2	8	0	0	0
	特論	理学療法学特論	4後	1			1						
		小計(1科目)		-	1	0	0	1	0	0	0	0	
		臨床研究	3後-4前	2			5	2	8				
		小計(1科目)		-	2	0	0	5	2	8	0	0	0
		合計(46科目)		-	73	4	0	6	2	9	2	3	21
	自由科目	国際医学概論	1前			2	1	1	2			15	
		異文化看護概論	1・2・3・4前			2						1	
		インターンシップ	1・2・3・4前			2	1						
		小計(3科目)		-	0	0	6	2	1	2	0	0	15
	総合計(102科目)				-	121	15	6	9	7	12	4	3
卒業要件及び履修方法													
卒業要件は必修科目121単位、選択科目6単位以上を修得し、合計127単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))													

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎分野	生物学	1前	1				1				
	統計学	1前	1				0				1
	物理学	1前	1								1
	化学	1前		1				1			
	数学	1前		1		1					0
	心理学	1前	1								1
	生命倫理学	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	教育学	1前		1							1
	スポーツ・健康科学	3通	2						1		1
	英語1	1通	2								1
	英語2	1通	2								2
	中国語	1後		1							1
	ポルトガル語	1後		1		0					1
	医学英語	2前	1					1			
	小計(15科目)	-	11	7	0	0	2	2	1	0	12
専門基礎分野	解剖学1	1通	2			1	1				
	解剖学2	1通	2			1		1			
	解剖学実習	2前	1			1	1	1	1	0	
	機能解剖学	1通	2				1				
	機能解剖学演習	1後	1				1				
	生理学1	1前	1			1					
	生理学2	1後	1			1					
	生理学実習	1後	1			1	1		1	1	
	運動学1	1後	1			1					
	運動学2	2前	1			1					1
	運動学3	2後	1								1
	運動学実習	2後	1			1		2	1	2	1
	人間発達学	1後	1					1			
	病理学	1後	1								1
	小計(14科目)	-	17	0	0	3	1	4	1	2	4
	臨床心理学	1後	1								1
	一般臨床医学	2前	1					1			3
	内科学	2前	1					1			4
	整形外科1	2前	1					1			4
	整形外科2	2後	1					1			2
	神経内科学1	2前	1								1
	神経内科学2	2後	1								1
	精神医学1	2前	1								3
	精神医学2	2後	1								1
	小児科学	2後	1								4
	老年学	2後	1								1
	公衆衛生学	2後	1								1
	救急医学	2前	1								2
	スポーツ医学	2前		1							1
	リハビリテーション工学	2後	1				2				
	基礎情報処理学	1前	1				1				
	医用情報処理学	3後	1				1				
	コンピュータープログラミング	3前	1				1	1	0		
	医療経営学	1後		1		1			0		2
	言語機能学	3前	1			1	0				
	言語療法学	3後		1		1	0				
	言語病理学	3後		1		1	0				
	小計(22科目)	-	18	4	0	2	2	2	0	0	27
	リハビリテーション医学概論	1前	1								1
	リハビリテーション評価概論	2前	1					1			4
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	1	0	0	5
	合計(53科目)	-	48	11	0	5	4	6	2	2	37

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎理学療法学	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			1	1							
		作業療法概論	1前		1		1						1		
		理学療法教育・管理概論	1後		1				1						
		理学療法研究概論	3前		1			1							
		臨床運動学	3前	1					1	0					
		病態運動学	3後	1				1							
		表面解剖学(理)	3前	1					1				1		
		小計(7科目)	-	4	3	0	1	1	3	0	0	2			
		理学療法評価学	理学療法評価学	検査・測定論1(理)	1後	1			1		1	0			
				検査・測定論実習1(理)	2前	1			1		1	0			
検査・測定論2(理)	1後			1					1						
検査・測定論実習2(理)	2後			1					1		1				
理学療法評価演習	2後			1					1						
動作分析論	2前			1				1							
客観的臨床能力演習1	2後			1			5	2	11						
小計(7科目)	-			7	0	0	5	2	11	0	1	0			
専門分野	理学療法治療学			義肢学	2前	1									1
				装具学	2前	1					1				
		義肢・装具学実習	2後	1					1		1				
		日常生活活動学(理)	2前	1					1						
		日常生活活動学実習(理)	2後	1					1		1	1			
		運動療法学	2前	1					2	0					
		運動療法学実習	3前	1					1		0				
		理学療法治療学1-中級1	2後	1			1								
		理学療法治療学2-中級2	3後	1					1						
		理学療法治療学3-中級3	2前	1			1								
		理学療法治療学4-整形外科	1後	1					1						
		理学療法治療学5-整形外科	2後	1					1						
		理学療法治療学6-徒手療法	3後	1					1						
		理学療法治療学7-スポーツ	3後	1									1		
		理学療法治療学8-呼吸	3前	1					1						
		理学療法治療学9-内部障害	2後	1					1						
		理学療法治療学10-小児	3前	1			1								
		物理療法学	1後	1					1						
		物理療法学実習	2前	1					1		0				
		客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	11				2		
		客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	11				2		
		小計(21科目)	-	21	0	0	5	2	11	0	2	5			
		地域理学療法学	地域理学療法学	社会福祉学	1前	1					1	1			1
				社会保障制度論	1後		1								1
				レクリエーション・セラピー	1後	1					1				
				地域リハビリテーション学(理)	3後	1					1				
地域リハビリテーション学実習(理)	4前			1					1						
小計(5科目)	-			4	1	0	0	0	2	1	0	2			
臨床実習	臨床実習			基礎臨床見学実習	1通	1			5	2	11				
				初期体験実習	2後	3			5	2	11				
				臨床実習	3通	18			5	2	11				
				応用臨床実習	4前	12			5	2	11				
		小計(4科目)	-	34	0	0	5	2	11	0	0	0			
特論	特論	理学療法学特論	4後	1			1								
		小計(1科目)	-	1	0	0	1	0	0	0	0	0			
		臨床研究	1後~4前	2			5	2	11						
		小計(1科目)	-	2	0	0	5	2	11	0	0	0			
		合計(46科目)	-	73	4	0	5	2	11	1	2	9			
自由科目	自由科目	国際医学概論	1前			2							1		
		異文化看護概論	1・2・3・4前			2							1		
		インターンシップ	1・2・3・4前			2	1								
		小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	0	2			
総合計(102科目)			-	121	15	6	8	5	14	6	2	52			
卒業要件及び履修方法															
卒業要件は必修科目121単位、選択科目6単位以上を修得し、合計127単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アゼンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))															

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容(リハビリテーション学科 理学療法専攻)

【令和元年度】

- ・ 申請時記載誤りの修正により、「統計学」の教員配置を「准教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・ 科目担当者の変更により、「数学」の教員配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・ 専門性の深化のため、「スポーツ・健康科学」の教員配置を「兼任1」から「助教1、兼任1」に変更。
- ・ 専門性の高い教員配置を図るため、「ポルトガル語」の教員配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「解剖学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、講師1、助手1」から「教授1、准教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「生理学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、助手2」から「教授1、准教授1、助教1、助手1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更、および留学による不在のため、「運動学実習」の教員配置を「教授1、講師1、助教1、助手4、兼任1」から「教授1、講師2、助教1、助手2、兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「コンピュータプログラミング」の教員配置を「准教授1、助教1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・ 申請時記載誤りの修正により、「医療経営学」の教員配置を「教授1、助教2」から「教授1、兼任2」へ変更。
- ・ 申請時記載誤りの修正により、「言語機能学」「言語療法学」「言語病理学」の教員配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「臨床運動学」の教員配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「検査・測定論1(理学)」の教員配置を「教授1、助教1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「検査・測定論実習1(理学)」の教員配置を「教授1、助教1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更および申請時記載誤りの修正により、「客観的臨床能力演習1」の教員配置を「教授4、准教授3、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「運動療法学」の教員配置を「助教1」から「講師2」に変更。
- ・ 担当教員の留学による不在により、「運動療法学実習」の教員配置を「講師1、助手1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の留学による不在により、「物理療法学実習」の教員配置を「講師1、助手1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習2」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習3」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「基礎臨床見学実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「初期体験実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「臨床実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「応用臨地実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更および申請時記載誤りの修正により、「臨床研究」の教員配置を「教授4、准教授3、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。

【令和２年度】

記載の誤りにより、「数学」の教員配置を「准教授１」から「兼任１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「英語１」の教員配置を「兼任１」から「兼任２、兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「英語２」の教員配置を「兼任１、兼任１」から「講師１、兼任１、兼任２」に変更。
・担当教員の退職により、「解剖学２」の教員配置を「教授１、講師１」から「教授１、助教１」に変更。
・担当教員の退職および専門性の深化を図るため、「解剖学実習」の教員配置を「教授１、准教授１、講師１、助手１」から「教授１、准教授１、助教１、兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「機能解剖学演習」の教員配置を「准教授１」から「教授１、准教授１、助教１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「生理学実習」の教員配置を「教授１、准教授１、助手１」から「教授１、准教授１、助教１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「運動学３」の教員配置を「兼任１」から「兼任３」に変更。
・専門性の深化を図るため、「運動学実習」の教員配置を「教授１、講師２、助教１、助手２、兼任１」から「教授２、講師３、助教３、兼任１」に変更。
・担当教員の職位変更により、「人間発達学」の教員配置を「講師１」から「准教授１」へ変更。
・担当教員の職位変更、配置転換により、「一般臨床医学」の教員配置を「講師１、兼任３」から「教授１、准教授１、兼任２」に変更。
・担当教員の職位変更、専門性の深化を図るため、「内科学」の教員配置を「講師１、兼任４」から「准教授１、兼任６」へ変更。
・担当教員の職位変更により、「整形外科１」の教員配置を「講師１、兼任４」から「准教授１、兼任４」へ変更。
・担当教員の職位変更、専門性の深化を図るため、「整形外科２」の教員配置を「講師１、兼任２」から「准教授１、兼任５」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「精神医学１」の教員配置を「兼任３」から「兼任４」に変更。
・専門性の深化を図るため、「精神医学２」の教員配置を「兼任１」から「兼任４」に変更。
・専門性の深化を図るため、「小児科学」の教員配置を「兼任４」から「兼任６」に変更。
・担当教員の配置転換により、「老年学」の教員配置を「兼任１」から「教授１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「公衆衛生学」の教員配置を「兼任１」から「兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「救急医学」の教員配置を「兼任１、兼任１」から「兼任１、兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「基礎情報処理学」の教員配置を「准教授１」から「准教授２、講師１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「医用処理学」の教員配置を「准教授１」から「准教授２」に変更。
・担当教員の職位変更により、「コンピュータープログラミング」の教員配置を「准教授１、講師１」から「准教授１、講師２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「医療経営学」の教員配置を「教授１、兼任２」から「教授１、兼任１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「言語機能学」の教員配置を「教授１」から「教授１、助教１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「言語病理学」の教員配置を「教授１」から「教授１、講師１、助教１」に変更。
・担当教員の職位変更により、「リハビリテーション評価概論」の教員配置を「講師１、兼任４」から「准教授１、兼任４」に変更。
・専門性の深化を図るため、「理学療法研究概論」の教員配置を「准教授１」から「准教授１、講師１」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「表面解剖学（理）」の教員配置を「講師１、兼任１」から「助教１、兼任１」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「検査・測定論１（理）」の教員配置を「教授１、講師１」から「教授１、助手１、兼任２」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習１（理）」の教員配置を「教授１、講師１」から「教授１、助手１、兼任２」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習２（理）」の教員配置を「講師１、助手１」から「講師２、助手１」へ変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「客観的臨床能力演習１」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８、兼任１」へ変更。
・担当教員の配置転換により、「義肢学」の教員配置を「兼任１」から「教授１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「義肢・装具学実習」の教員配置を「講師１、助手１」から「講師１、助手１、兼任１」へ変更。
・担当教員の退職により、「日常生活活動学（理）」の教員配置を「講師１」から「兼任１」へ変更。
・担当教員の留学により、「運動療法学」の教員配置を「講師２」から「講師１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「運動療法学実習」の教員配置を「講師１」から「講師１、助教１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学１-中級」の教員配置を「教授１」から「教授１、助教１」に変更。
・担当教員の退職により、「理学療法治療学６-徒手療法」の教員配置を「講師１」から「准教授１、助手１」に変更。
・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学７-スポーツ」の教員配置を「兼任１」から「兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学１０-小児」の教員配置を「教授１」から「教授１、講師１、兼任２」に変更。
・専門性の深化を図るため、「物理療法学実習」の教員配置を「講師１」から「講師１、助教１」に変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「客観的臨床能力演習２」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８、兼任３」へ変更。
・担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習３」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８、兼任４」へ変更。
・担当教員の退職により、「社会福祉学」の教員配置を「講師１、助教１」から「兼任３」に変更。
・担当教員の退職により、「レクリエーションセラピー」の教員配置を「講師１」から「講師１、助手１、兼任１」に変更。
担当教員の退職により、「地域リハビリテーション学（理）」の教員配置を「講師１」から「講師１、兼任２」に変更。
・担当教員の退職により、「地域リハビリテーション学実習（理）」の教員配置を「講師１」から「講師１、助手１」に変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「基礎臨床見学実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「初期体験実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「臨床実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「応用臨床実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・担当教員の退職、留学により、「臨床研究」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
・専門性の深化を図るため、「国際医学概論」の教員配置を「兼任１」から「教授１、准教授１、講師２、兼任１５」へ変更。

- (注) ・ ２（１）① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(２) 授業科目数（リハビリテーション学科 理学療法専攻）

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
84 科目	15 科目	3 科目	102 科目	84 科目 [ ]	15 科目 [ ]	3 科目 [ ]	102 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

## 2 授業科目の概要

&lt;保健衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻&gt;

(1) ー① 授業科目表 (リハビリテーション学科 作業療法専攻)

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎分野	科学的 思考の 基礎  人間と 生活	生物学	1前	1				1					
		統計学	1前	1				1					
		物理学	1前	1									1
		化学	1前		1				1				
		数学	1前		1								1
		心理学	1前	1									1
		生命倫理学	1後		1								1
		文化人類学	1後		1								1
		教育学	1前		1								1
		スポーツ・健康科学	3通	2									1
		英語1	1通	2									1
		英語2	1通	2									2
		中国語	1後		1								1
		ポルトガル語	1後		1		1						
医学英語	2前	1						1					
小計(15科目)			-	11	7	0	1	2	2	0	0	11	
専門 基礎 分野	人体の 構造と 機能及 び心身 の発達	解剖学1	1通	2			1	1					
		解剖学2	1通	2			1		1				
		解剖学実習	2前	1			1	1	1		1		
		機能解剖学	1通	2				1					
		機能解剖学演習	1後	1				1					
		生理学1	1前	1			1						
		生理学2	1後	1			1						
		生理学実習	1後	1			1	1			2		
		運動学1	1後	1			1						
		運動学2	2前	1									1
		運動学3	2後	1									1
		運動学実習	2後	1			1		1	1	4		1
		人間発達学	1後	1					1				
		病理学	1後	1									1
	小計(14科目)			-	17	0	0	3	1	3	1	4	4
	疾病と障 害の成 り立ち 及び回 復過程 の促進	臨床心理学	1後	1									1
		一般臨床医学	2前	1						1			3
		内科学	2前	1						1			4
		整形外科1	2前	1						1			4
		整形外科2	2後	1						1			2
		神経内科学1	2前	1									1
		神経内科学2	2後	1									1
		精神医学1	2前	1									3
精神医学2		2後	1									1	
小児科学		2後	1									4	
老年学		2後	1									1	
公衆衛生学		2後	1									1	
救急医学		2前	1									2	
スポーツ医学		2前		1								1	
リハビリテーション工学		2後	1					2					
基礎情報処理学		1前	1					1					
医用情報処理学		3後	1					1					
コンピュータプログラミング		3前	1					1		1			
医療経営学		1後		1		1				2			
言語機能学	3前	1			1								
言語療法学	3後		1		1								
言語病理学	3後		1		1								
小計(22科目)			-	18	4	0	2	2	1	3	0	20	
シラバス 作成の 留意事項	リハビリテーション医学概論	1前	1									1	
	リハビリテーション評価概論	2前	1						1			4	
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	1	0	0	5		
合計(53科目)			-	48	11	0	4	7	5	3	4	35	

【令和2年度】

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	生物学	1前	1				1					
		統計学	1前	1				0					1
		物理学	1前	1									1
		化学	1前		1				1				
		数学	1前		1			0					1
		心理学	1前	1									1
		生命倫理学	1後		1								1
		文化人類学	1後		1								
		教育学	1前		1								
		スポーツ・健康科学	3通	2						1			1
		英語1	1通	2									4
		英語2	1通	2					1				2
		中国語	1後		1								1
		ポルトガル語	1後		1		0						1
		医学英語	2前	1						1			
小計(15科目)			-	11	7	0	0	1	3	1	0	14	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学1	1通	2			1	1					
		解剖学2	1通	2			1		0	1			
		解剖学実習	2前	1			1	1	0	1	0		
		機能解剖学	1通	2				1					
		機能解剖学演習	1後	1			1	1		1			
		生理学1	1前	1			1						
		生理学2	1後	1			1						
		生理学実習	1後	1			1	1		1	0		
		運動学1	1後	1			1						1
		運動学2	2前	1			1						
		運動学3	2後	1									3
		運動学実習	2後	1			2		3	3	0	1	
		人間発達学	1後	1				1	0				
		病理学	1後	1									1
	小計(14科目)			-	17	0	0	4	2	3	3	2	8
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学	1後	1				1					0
		一般臨床医学	2前	1			1	1	0				2
		内科学	2前	1				1	0				6
		整形外科1	2前	1				1	0				4
		整形外科2	2後	1				1	0				5
		神経内科学1	2前	1									1
		神経内科学2	2後	1									1
		精神医学1	2前	1									4
		精神医学2	2後	1									4
		小児科学	2後	1									6
		老年学	2後	1			1						0
		公衆衛生学	2後	1									2
		救急医学	2前	1									3
		スポーツ医学	2前		1								1
リハビリテーション工学		2後	1				2						
基礎情報処理学	1前	1				2	1						
医用情報処理学	3後	1				2							
コンピュータプログラミング	3前	1				1	2	0					
医療経営学	1後		1		1				0		1		
言語機能学	3前	1			1				1				
言語療法学	3後		1		1								
言語病理学	3後		1		1		2	1					
小計(22科目)			-	18	4	0	3	4	3	1	0	34	
シラバス作成の留意事項	リハビリテーション医学概論	1前	1									1	
	リハビリテーション評価概論	2前	1				1	0				4	
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	1	0	0	0	5		
合計(53科目)			-	48	11	0	7	6	6	4	0	59	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
				必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助教	助手				
	基礎作業療法学	作業療法概論	1前	1			1						1		
		作業療法理論	1後	1					1						
		理学療法概論	1前		1			1							
		作業療法教育・管理概論	1後		1		1						1		
		作業療法研究概論	3前		1		1								
		運動学習理論	1後		1				1						
		表面解剖学(作)	3前	1					1			1			
		基礎作業学	1後	1						1					
		小計(8科目)	-	4	4	0	2	1	3	1	1	2			
			作業療法評価学	検査・測定論1(作)	2前	1					1				
検査・測定論実習1(作)	2後			1						1	1				
検査・測定論2(作)	1後			1						1					
検査・測定論実習2(作)	2後			1						1	1				
検査・測定論3	2前			1			1								
作業療法評価演習	2後			1						1					
客観的臨床能力演習1	2後			1			5	2	10						
小計(7科目)	-			7	0	0	5	2	10	2	1	0			
	専門分野			義肢学	2前	1									1
				スプリント	2前	1					1				
		スプリント製作実習	2後	1					1			1			
		日常生活活動学(作)	2前	1									1		
		日常生活活動学実習(作)	2後	1						1	1	1			
		作業療法治療学1-中級1	2前	1						1					
		作業療法治療学2-中級2	2前	1					1						
		作業療法治療学3-中級3	2後	1						1					
		作業療法治療学4-中級4	2後	1			1								
		作業療法治療学5-整形1	2前	1					1						
		作業療法治療学6-整形2	2前	1					1						
		作業療法治療学7-内部障害	3後	1						1					
		作業療法治療学8-精神障害	3前	1						1					
		作業療法治療学9-老年期	2後	1					1						
		作業療法治療学10-小児	3後	1						1					
		作業療法治療学演習1-中級	3前	1						1					
		作業療法治療学演習2-精神障害	3後	1						1	1				
		作業学1-基礎工・縫製工	3前		1						1				
		作業学2-木工・陶芸	3後		1				1						
		客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	10				2		
		客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	10				2		
		小計(21科目)	-	19	2	0	5	2	10	4	2	4			
			地域作業療法学	社会福祉学	1前	1					1	1			1
				社会保障制度論	1後		1								1
				レクリエーション・セラピー	1後	1					1				
				地域リハビリテーション学(作)	3後	1					1				
地域リハビリテーション学実習(作)	4前			1					1						
職業関連活動学	3後			1						1					
小計(6科目)	-			5	1	0	0	0	3	1	0	2			
	臨床実習			基礎臨床見学実習	1通	1			5	2	10				
				初期体験実習	2後	3			5	2	10				
				臨床実習	3通	18			5	2	10				
		応用臨床実習	4前	12			5	2	10						
		小計(4科目)	-	34	0	0	5	2	10	0	0	0			
	特論	作業療法学特論	4後	1			1								
		小計(1科目)	-	1	0	0	1	0	0	0	0				
		臨床研究	18~48	2			5	2	10						
		小計(1科目)	-	2	0	0	5	2	10	0	0	0			
		合計(48科目)	-	72	7	0	5	2	10	4	2	8			
	自由科目	国際医学概論	1前			2							1		
		異文化看護概論	1・2・3・4前			2							1		
		インターンシップ	1・2・3・4前			2	1								
		小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	0	2			
総合計(104科目)			-	120	18	6	8	6	13	7	4	45			
卒業要件及び履修方法															
卒業要件は必修科目120単位、選択科目8単位以上を修得し、合計128単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))															

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 分 野	基礎 作 業 療 法 学	作業療法概論	1前	1			1						1
		作業療法理論	1後	1					1				
		理学療法概論	1前		1			1					
		作業療法教育・管理概論	1後		1		1						1
		作業療法研究概論	3前		1		1						
		運動学習理論	1後		1				0				1
		表面解剖学(作)	3前	1					0	1	0		
		基礎作業学	1後	1						1			
	小計(8科目)	-	4	4	0	2	1	1	2	0	3		
	作 業 療 法 評 価 学	検査・測定論1(作)	2前	1					1	1			
		検査・測定論実習1(作)	2後	1						2	0		
		検査・測定論2(作)	1後	1						1			
		検査・測定論実習2(作)	2後	1						1	1		
		検査・測定論3	2前	1			1						
		作業療法評価演習	2後	1						1			
		客観的臨床能力演習1	2後	1			5	2	8				1
		小計(7科目)	-	7	0	0	5	2	8	4	1	1	
	作 業 治 療 学	義肢学	2前	1			1						0
		スプリント	2前	1					1				
		スプリント製作実習	2後	1					1			0	
		日常生活活動学(作)	2前	1							1		0
		日常生活活動学実習(作)	2後	1							2	0	1
		作業療法治療学1-中級1	2前	1						1			
		作業療法治療学2-中級2	2前	1					1				
		作業療法治療学3-中級3	2後	1			1			1			
		作業療法治療学4-中級4	2後	1			1						
		作業療法治療学5-整形1	2前	1					1				
		作業療法治療学6-整形2	2前	1					0				1
		作業療法治療学7-内部障害	3後	1			1				0	1	
		作業療法治療学8-精神障害	3前	1							1		
		作業療法治療学9-老年期	2後	1					1				
		作業療法治療学10-小児	3後	1							1		
		作業療法治療学演習1-中級	3前	1							1		
		作業療法治療学演習2-精神障害	3後	1							1		
		作業学1-基礎工・縫製工	3前		1						2		
		作業学2-木工・陶芸	3後		1		1			0		1	
		客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	8				3
	客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	8				4	
	小計(21科目)	-	19	2	0	6	2	8	6	1	6		
	地 域 作 業 療 法 学	社会福祉学	1前	1						0	0		3
社会保障制度論		1後		1								1	
レクリエーション・セラピー		1後	1					1					
地域リハビリテーション学(作)		3後	1					1		1	1		
地域リハビリテーション学実習(作)		4前	1					1					
職業関連活動学		3後	1						1				
小計(6科目)		-	5	1	0	0	0	2	1	1	5		
臨 床 実 習		基礎臨床見学実習	1通	1			5	2	8				
	初期体験実習	2後	3			5	2	8					
	臨床実習	3通	18			5	2	8					
	応用臨床実習	4前	12			5	2	8					
	小計(4科目)	-	34	0	0	5	2	8	0	0	0		
特 論	作業療法学特論	4後	1			1							
	小計(1科目)	-	1	0	0	1	0	0	0	0			
	臨床研究	3後・4後	2			5	2	8					
	小計(1科目)	-	2	0	0	5	2	8	0	0	0		
	合計(48科目)	-	72	7	0	6	2	9	6	1	14		
自 由 科 目	国際医学概論	1前			2	1	1	2				15	
	異文化看護概論	1・2・3・4前			2							1	
	インターンシップ	1・2・3・4後			2	1							
	小計(3科目)	-	0	0	6	2	1	2	0	0	15		
総合計(104科目)			-	120	18	6	9	7	12	9	1	88	
卒業要件及び履修方法													
卒業要件は必修科目120単位、選択科目8単位以上を修得し、合計128単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))													

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎分野	生物学	1前	1				1				
	統計学	1前	1				0				1
	物理学	1前	1								1
	化学	1前		1				1			
	数学	1前		1			1				0
	心理学	1前	1								1
	生命倫理学	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	教育学	1前		1							1
	スポーツ・健康科学	3通	2						1		1
	英語1	1通	2								1
	英語2	1通	2								2
	中国語	1後		1							1
	ポルトガル語	1後		1		0					1
	医学英語	2前	1					1			
	小計(15科目)	-	11	7	0	0	2	2	1	0	12
専門基礎分野	解剖学1	1通	2			1	1				
	解剖学2	1通	2			1		1			
	解剖学実習	2前	1			1	1	1	1	0	
	機能解剖学	1通	2				1				
	機能解剖学演習	1後	1				1				
	生理学1	1前	1			1					
	生理学2	1後	1			1					
	生理学実習	1後	1			1	1		1	1	
	運動学1	1後	1			1					
	運動学2	2前	1			1					1
	運動学3	2後	1								1
	運動学実習	2後	1			1		2	1	2	1
	人間発達学	1後	1					1			
	病理学	1後	1								1
	小計(14科目)	-	17	0	0	3	1	4	1	2	4
	臨床心理学	1後	1								1
	一般臨床医学	2前	1					1			3
	内科学	2前	1					1			4
	整形外科1	2前	1					1			4
	整形外科2	2後	1					1			2
	神経内科学1	2前	1								1
	神経内科学2	2後	1								1
	精神医学1	2前	1								3
	精神医学2	2後	1								1
	小児科学	2後	1								4
	老年学	2後	1								1
	公衆衛生学	2後	1								1
	救急医学	2前	1								2
	スポーツ医学	2前		1							1
	リハビリテーション工学	2後	1				2				
	基礎情報処理学	1前	1				1				
	医用情報処理学	3後	1				1				
	コンピュータープログラミング	3前	1				1	1	0		
	医療経営学	1後		1		1			0		2
	言語機能学	3前	1			1	0				
	言語療法学	3後		1		1	0				
	言語病理学	3後		1		1	0				
	小計(22科目)	-	18	4	0	2	2	2	0	0	27
	リハビリテーション医学概論	1前	1								1
	リハビリテーション評価概論	2前	1					1			4
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	1	0	0	5
	合計(53科目)	-	48	11	0	5	4	6	2	2	37



【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	基礎作業療法学	作業療法概論	1前	1			1						1		
		作業療法理論	1後	1					1						
		理学療法概論	1前		1			1							
		作業療法教育・管理学概論	1後		1		1						1		
		作業療法研究概論	3前		1		1								
		運動学習理論	1後		1				1						
		表面解剖学(作)	3前	1					1	1	0				
		基礎作業学	1後	1						1					
		小計(8科目)	-	4	4	0	2	1	3	2	0	2			
			作業療法評価学	検査・測定論1(作)	2前	1					1				
検査・測定論実習1(作)	2後			1						1	1				
検査・測定論2(作)	1後			1						1					
検査・測定論実習2(作)	2後			1						1	1				
検査・測定論3	2前			1			1								
作業療法評価演習	2後			1						1					
客観的臨床能力演習1	2後			1			5	2	11						
小計(7科目)	-			7	0	0	5	2	11	2	1	0			
	専門分野			義肢学	2前	1									1
				スプリント	2前	1					1				
		スプリント製作実習	2後	1					1		1				
		日常生活活動学(作)	2前	1									1		
		日常生活活動学実習(作)	2後	1						2	0		1		
		作業療法治療学1-中級1	2前	1						1					
		作業療法治療学2-中級2	2前	1					1						
		作業療法治療学3-中級3	2後	1						1					
		作業療法治療学4-中級4	2後	1			1								
		作業療法治療学5-整形1	2前	1					1						
		作業療法治療学6-整形2	2前	1					1						
		作業療法治療学7-内部障害	3後	1						1					
		作業療法治療学8-精神障害	3前	1						1					
		作業療法治療学9-老年期	2後	1					1						
		作業療法治療学10-小児	3後	1						1					
		作業療法治療学演習1-中級	3前	1						1					
		作業療法治療学演習2-精神障害	3後	1						1					
		作業学1-基礎工・縫紉工	3前		1					1					
		作業学2-木工・陶芸	3後		1				1						
		客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	11				2		
		客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	11				2		
		小計(21科目)	-	19	2	0	5	2	11	5	1	5			
	地域作業療法学	社会福祉学	1前	1					1	1			1		
		社会保障制度論	1後		1								1		
		レクリエーション・セラピー	1後	1					1						
		地域リハビリテーション学(作)	3後	1					1						
		地域リハビリテーション学実習(作)	4前	1					1						
		職業関連活動学	3後	1						1					
		小計(6科目)	-	5	1	0	0	0	3	1	0	2			
			臨床実習	基礎臨床見学実習	1通	1			5	2	11				
				初期体験実習	2後	3			5	2	11				
				臨床実習	3通	18			5	2	11				
応用臨床実習	4前			12			5	2	11						
小計(4科目)	-			34	0	0	5	2	11	0	0	0			
	特論	作業療法学特論	4後	1			1								
		小計(1科目)	-	1	0	0	1	0	0	0	0				
		臨床研究	18-18	2			5	2	11						
		小計(1科目)	-	2	0	0	5	2	11	0	0	0			
		合計(48科目)	-	72	7	0	5	2	11	5	1	9			
	自由科目	国際医学概論	1前			2							1		
		異文化看護概論	1・2・3・4前			2							1		
		インターンシップ	1・2・3・4前			2	1								
		小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	0	2			
総合計(104科目)			-	120	18	6	8	5	14	7	2	53			
卒業要件及び履修方法															
卒業要件は必修科目120単位、選択科目8単位以上を修得し、合計128単位以上に於て卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))															

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容(リハビリテーション学科 作業療法専攻)

【令和元年度】

- ・ 申請時記載誤りの修正により、「統計学」の教員配置を「准教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・ 科目担当者の変更により、「数学」の教員配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・ 専門性の深化のため、「スポーツ・健康科学」の教員配置を「兼任1」から「助教1、兼任1」に変更。
- ・ 専門性の高い教員配置を図るため、「ポルトガル語」の教員配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「解剖学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、講師1、助手1」から「教授1、准教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「生理学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、助手2」から「教授1、准教授1、助教1、助手1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更、および留学による不在のため、「運動学実習」の教員配置を「教授1、講師1、助教1、助手4、兼任1」から「教授1、講師2、助教1、助手2、兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「コンピュータープログラミング」の教員配置を「准教授1、助教1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・ 申請時記載誤りの修正により、「医療経営学」の教員配置を「教授1、助教2」から「教授1、兼任2」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「表面解剖学(作)」の教員配置を「講師1、助手1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習1」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「日常生活活動学実習(作)」の教員配置を「助教1、助手1」から「助教2」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習2」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習3」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「基礎臨床見学実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「初期体験実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「臨床実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「応用臨床実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「臨床研究」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。

【令和２年度】

- ・記載の誤りにより、「数学」の教員配置を「准教授１」から「兼任１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「英語１」の教員配置を「兼任１」から「兼任２、兼任２」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「英語２」の教員配置を「兼任１、兼任１」から「講師１、兼任１、兼任２」に変更。
- ・担当教員の退職により、「解剖学２」の教員配置を「教授１、講師１」から「教授１、助教１」に変更。
- ・担当教員の退職および専門性の深化を図るため、「解剖学実習」の教員配置を「教授１、准教授１、講師１、助手１」から「教授１、准教授１、助教１、兼任２」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「機能解剖学演習」の教員配置を「准教授１」から「教授１、准教授１、助教１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「生理学実習」の教員配置を「教授１、准教授１、助手１」から「教授１、准教授１、助教１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「運動学３」の教員配置を「兼任１」から「兼任３」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「運動学実習」の教員配置を「教授１、講師２、助教１、助手２、兼任１」から「教授２、講師３、助教３、兼任１」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「人間発達学」の教員配置を「講師１」から「准教授１」へ変更。
- ・担当教員の職位変更、配置転換により、「一般臨床医学」の教員配置を「講師１、兼任３」から「教授１、准教授１、兼任２」に変更。
- ・担当教員の職位変更、専門性の深化を図るため、「内科学」の教員配置を「講師１、兼任４」から「准教授１、兼任６」へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「整形外科１」の教員配置を「講師１、兼任４」から「准教授１、兼任４」へ変更。
- ・担当教員の職位変更、専門性の深化を図るため、「整形外科２」の教員配置を「講師１、兼任２」から「准教授１、兼任５」へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「精神医学１」の教員配置を「兼任３」から「兼任４」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「精神医学２」の教員配置を「兼任１」から「兼任４」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「小児科学」の教員配置を「兼任４」から「兼任６」に変更。
- ・担当教員の職位転換により、「老年学」の教員配置を「兼任１」から「教授１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「公衆衛生学」の教員配置を「兼任１」から「兼任２」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「救急医学」の教員配置を「兼任１、兼任１」から「兼任１、兼任２」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「基礎情報処理学」の教員配置を「准教授１」から「准教授２、講師１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「医用処理学」の教員配置を「准教授１」から「准教授２」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「コンピュータープログラミング」の教員配置を「准教授１、講師１」から「准教授１、講師２」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「医療経営学」の教員配置を「教授１、兼任２」から「教授１、兼任１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「言語機能学」の教員配置を「教授１」から「教授１、助教１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「言語病理学」の教員配置を「教授１」から「教授１、講師１、助教１」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「リハビリテーション評価概論」の教員配置を「講師１、兼任４」から「准教授１、兼任４」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「作業療法研究概論」の教員配置を「教授１」から「教授１、講師１」へ変更。
- ・担当教員の退職により、「運動学習理論」の教員配置を「講師１」から「兼任１」へ変更。
- ・記載の誤りの修正のため、「表面解剖学（作）」の教員配置を「講師１、助教１」から「助教１」へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論１（作）」の教員配置を「講師１」から「講師１、助教１」へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習１（作）」の教員配置を「助教１、助手１」から「助教２」へ変更。
- ・担当教員の出席による不在、専門性の深化を図るため、「検査・測定論２（作）」の教員配置を「助教１」から「助教２」へ変更。
- ・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「客観的臨床能力演習１」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８、兼任１」へ変更。
- ・担当教員の配置転換により、「義肢学」の教員配置を「兼任１」から「教授１」に変更。
- ・記載の誤りの修正のため、「スプリント製作実習」の教員配置を「講師１、助手１」から「講師１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「日常生活活動学（作）」の教員配置を「兼任１」から「助教１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「作業療法治療学３-中核３」の教員配置を「教授１」から「教授１、助教１」に変更。
- ・担当教員の退職により、「作業療法治療学６-整形２」の教員配置を「講師１」から「兼任１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「作業療法治療学７-内部障害」の教員配置を「助教１」から「教授１、助手１」に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「作業学１-革細工・漆細工」の教員配置を「助教１」から「助教２」に変更。
- ・担当教員の退職により、「作業学２-木工・陶芸」の教員配置を「講師１」から「教授１、助手１」に変更。
- ・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「客観的臨床能力演習２」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８、兼任３」へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習３」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８、兼任４」へ変更。
- ・担当教員の退職により、「社会福祉学」の教員配置を「講師１、助教１」から「兼任３」に変更。
- ・担当教員の退職により、「レクリエーション・セラピー」の教員配置を「講師１」から「講師１、助手１、兼任１」に変更。
- ・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「基礎臨床見学実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
- ・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「初期体験実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
- ・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「臨床実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。へ変更。
- ・担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「応用臨床実習」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
- ・担当教員の退職、留学により、「臨床研究」の教員配置を「教授５、准教授２、講師１１」から「教授５、准教授２、講師８」へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「国際医学概論」の教員配置を「兼任１」から「教授１、准教授１、講師２、兼任１５」へ変更。

- (注) ・ ２（１）① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(２) 授業科目数（リハビリテーション学科 作業療法専攻）

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
83 科目	18 科目	3 科目	104 科目	83 科目 [ ]	18 科目 [ ]	3 科目 [ ]	104 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

(3) 未開講科目（リハビリテーション学科）

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目（リハビリテーション学科）

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」（リハビリテーション学科）

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合（リハビリテーション学科）

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{136} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  附属病院追加の為(2)					
	校 舎 敷 地	236,098.72㎡ <del>132,000.49㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	236,098.72㎡ <del>132,000.49㎡</del>						
	運動場用地	46,351.00㎡ <del>46,351.11㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	46,351.00㎡ <del>46,351.11㎡</del>						
	小 計	282,449.72㎡ <del>178,351.49㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	282,449.72㎡ <del>178,351.49㎡</del>						
	そ の 他	138,113.82㎡ <del>84,081.18㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	138,113.82㎡ <del>84,081.18㎡</del>						
	合 計	420,563.54㎡ <del>262,432.67㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	420,563.54㎡ <del>262,432.67㎡</del>						
(2)校舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体						
	93,295.01㎡ <del>81,879.93㎡</del> (81,879.93㎡)	0.00㎡ ( 0.00㎡)	0.00㎡ ( 0.00㎡)	93,295.01㎡ <del>81,879.93㎡</del> (81,879.93㎡)	校舎面積の集計状況変更 の為(2)						
(3)教室等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体					
	72室	64室	128室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)						
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員増減の為変更 (2)					
	保健衛生学部			73 66 室							
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体  ・図書、学術雑誌、電子 ジャーナル、視聴覚資料は新 規購入と除籍の為変更 -(元)(2)  ・機械・器具は老朽化に より破棄の為減-(元)- (2)			
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					点	点	点
	保健衛生学部	170,551〔77,527〕 <del>170,837〔81,202〕</del> 179,622〔80,898〕 (170,551〔77,527〕)	3,553〔1,881〕 <del>3,517〔1,896〕</del> 3,454〔1,886〕 (3,553〔1,881〕)	3,299〔1,875〕 <del>3,245〔1,888〕</del> 3,161〔1,875〕 (3,299〔1,875〕)	2,212 <del>2,136</del> 4,592 (2,212)	7,871 <del>8,022</del> 7,982 (7,871)	15 ( 15 )				
	計	170,551〔77,527〕 <del>170,837〔81,202〕</del> 179,622〔80,898〕 (170,551〔77,527〕)	3,553〔1,881〕 <del>3,517〔1,896〕</del> 3,454〔1,886〕 (3,553〔1,881〕)	3,299〔1,875〕 <del>3,245〔1,888〕</del> 3,161〔1,875〕 (3,299〔1,875〕)	2,212 <del>2,136</del> 4,592 (2,212)	7,871 <del>8,022</del> 7,982 (7,871)	15 ( 15 )				
(6)図書館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 デジタルセンターが図書館管 理から外れた為減(2)				
	2,668.35㎡ <del>3,364.49㎡</del>		298 280		167,225冊 <del>200,000冊</del>						
(7)体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	3,344.71㎡		弓 道 場								
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人あたりの研究費 と共同研究費は教員の増 減のため変更-(元)-(2)  図書、設備購入費は教員 の増減のため変更(2)		
		教員1人当 り研究費等	看護学科	637千円 626千円	664千円 <del>649千円</del> 640千円	図書購入 費	看護学 科	532千円		606千円	710千円 <del>666千円</del>
			リハビ°リテ ーション学科	672千円 634千円	639千円 <del>654千円</del> 632千円		リハビ°リテ ーション学科	488千円		488千円	593千円 <del>547千円</del>
		共同研究費等	看護学科	6,150千円 5,360千円	6,700千円 <del>6,829千円</del> 6,030千円	設備購入 費	看護学 科	7,016千円		7,991千円	9,355千円 <del>8,770千円</del>
			リハビ°リテ ーション学科	4,700千円 4,400千円	5,210千円 <del>5,070千円</del> 4,840千円		リハビ°リテ ーション学科	6,431千円		6,431千円	7,796千円 <del>6,431千円</del>
		学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	1,700千円		1,550千円	1,550千円	1,550千円	千円	千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要										

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	藤 田 医 科 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医学部	6	120	－	715	－	1.00	1.00	－	昭和47	－	平成27年度入学定員増（5名）
医学科	6	120	－	715	学士 (医学)	1.00	1.00	平成27 平成28	昭和47	愛知県豊明市番掛町 田楽ヶ窪1番地98	平成28年度入学定員増（5名）
医療科学部	4	230	－	850	－	1.07	1.03	－	平成20	－	
医療検査学科	4	140	－	560	学士 (医療検査科学)	1.01	1.02	－	平成31	愛知県豊明市番掛町 田楽ヶ窪1番地98	
臨床検査学科	4	－	－	－	学士 (保健衛生学)	－	－	－	昭和43	同上	平成31年4月学生募集停止
看護学科	4	－	－	－	学士 (看護学)	－	－	－	昭和43	同上	平成31年4月学生募集停止
放射線学科	4	90	－	290	学士 (診療放射線技術学)	1.07	1.03	－	昭和62	同上	平成31年4月定員増（35名）
リハビリテーション学科	4	－	－	－	学士（理学療法学） 学士（作業療法学）	－	－	－	平成16	同上	平成31年4月学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士 (理学療法学)	－	－	－	平成16	同上	平成31年4月学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士 (作業療法学)	－	－	－	平成16	同上	平成31年4月学生募集停止
臨床工学科	4	－	－	－	学士 (臨床工学)	－	－	－	平成20	同上	平成31年4月学生募集停止
医療経営情報学科	4	－	－	－	学士 (医療経営情報学)	－	－	－	平成20	同上	平成31年4月学生募集停止
保健衛生学部	4	250	－	1,000	－	1.02	1.04	－	平成31	愛知県豊明市番掛町 田楽ヶ窪1番地98	
看護学科	4	135	－	540	学士 (看護学)	1.01	1.03	－	平成31	同上	
リハビリテーション学科	4	115	－	460	学士（理学療法学） 学士（作業療法学）	1.02	1.04	－	平成31	同上	
理学療法専攻	4	70	－	280	学士 (理学療法学)	1.00	1.00	－	平成31	同上	
作業療法専攻	4	45	－	180	学士 (作業療法学)	1.05	1.11	－	平成31	同上	
大学全体	－	600	－	2,565	－	1.02	1.02	－	－	－	

大 学 の 名 称	藤 田 医 科 大 学 大 学 院										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
医学研究科	4	57	－	218	－	0.78	0.78	－	昭和53	－	
医学専攻	4	52	－	208	博士（医学）	0.75	0.75	－	平成30	愛知県豊明市番掛町 田楽ヶ窪1番地98	
形態系専攻	4	－	－	－	博士（医学）	－	－	－	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
機能系専攻	4	－	－	－	博士（医学）	－	－	－	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
保健衛生系専攻	4	－	－	－	博士（医学）	－	－	－	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
分子医学系専攻	4	－	－	－	博士（医学）	－	－	－	昭和62	同上	平成30年4月学生募集停止
内科系専攻	4	－	－	－	博士（医学）	－	－	－	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
外科系専攻	4	－	－	－	博士（医学）	－	－	－	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
医科学専攻	2	5	－	10	修士（医科学）	0.80	0.80	－	令和2	同上	令和2年4月新設
保健学研究科	－	58	－	120	－	1.38	1.30	－	平成13	－	
保健学専攻	2	50	－	100	修士（保健学） 修士（看護学）	1.08	1.22	－	平成13	愛知県豊明市番掛町 田楽ヶ窪1番地98	
医療科学専攻	3	8	－	20	博士（医療科学）	1.67	1.38	－	平成27	同上	平成31年定員増（4名）
大学院全体	－	115	－	338	－	1.07	1.04	－	－	－	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
（専攻科及び別科を除く）。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健衛生学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表 (看護学科)

【認可時又は届出時】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授 (学 科 長)	三吉 友美子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授 (学 科 長)	三吉 友美子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授 (学 科 長)	三吉 友美子 <平成31年4月> 博士(看護学)						
		看護学概論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			看護学概論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			看護学概論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究						
専	教授	久納 智子 <平成31年4月> 修士(心身健康学)	専	教授	久納 智子 <平成31年4月> 修士(心身健康学)	専	特任 教授	久納 智子 <平成31年4月> 修士(心身健康学)						
		基礎ゼミ 母性セルフケア看護Ⅰ 母性セルフケア看護Ⅲ コンプリメンタリーセラピー 母性看護学実習			<del>対人コミュニケーション</del> 基礎ゼミ 母性セルフケア看護Ⅰ 母性セルフケア看護Ⅲ コンプリメンタリーセラピー 母性看護学実習			<del>対人コミュニケーション</del> 基礎ゼミ 母性セルフケア看護Ⅰ 母性セルフケア看護Ⅲ コンプリメンタリーセラピー 母性看護学実習						
専	教授	水野 暢子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授	水野 暢子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授	水野 暢子 <平成31年4月> 博士(看護学)						
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究方法論※ 看護管理論 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究方法論※ 看護管理論 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究方法論※ 看護管理論 統合実習 卒業研究						
専	教授	中村 小百合 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	中村 小百合 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	中村 小百合 <平成31年4月> 博士(医学)						
		成人看護学概論 基礎ゼミ 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 卒業研究			成人看護学概論 基礎ゼミ 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 卒業研究			成人看護学概論 基礎ゼミ 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 卒業研究						
専	教授	小野木 啓子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	小野木 啓子 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医療論 成人期疾病論Ⅱ 卒業研究			医療論 成人期疾病論Ⅱ 卒業研究									
専	教授	川井 薫 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	川井 薫 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	川井 薫 <平成31年4月> 博士(医学)						
		基礎ゼミ 環境科学論			<del>基礎ゼミ</del> 環境科学論			<del>基礎ゼミ</del> <del>医療医学概論</del> <del>公衆衛生学</del> 環境科学論						
専	教授	藤原 郁 <平成31年4月> 終始(社会福祉学)	専	教授	藤原 郁 <平成31年4月> 終始(社会福祉学)	専	教授	藤原 郁 <平成31年4月> 修士(社会福祉学)						
		基礎ゼミ 家族と看護※ 母性セルフケア看護Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究			<del>対人コミュニケーション</del> 基礎ゼミ 家族と看護※ 母性セルフケア看護Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究			<del>対人コミュニケーション</del> 基礎ゼミ 家族と看護※ 母性セルフケア看護Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究						
専	教授	世古 留美 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	世古 留美 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	世古 留美 <平成31年4月> 博士(医学)						
		公衆衛生看護学概論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 公衆衛生看護学概論Ⅱ 学校保健・産業保健 地域診断論 公衆衛生看護援助方法論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究			<del>対人コミュニケーション</del> 公衆衛生看護学概論Ⅰ <del>基礎看護学実習Ⅰ</del> 基礎ゼミ 公衆衛生看護学概論Ⅱ 学校保健・産業保健 地域診断論 公衆衛生看護援助方法論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究			<del>対人コミュニケーション</del> <del>基礎看護学実習Ⅰ</del> 公衆衛生看護学概論Ⅰ 基礎ゼミ 公衆衛生看護学概論Ⅱ <del>学校保健・産業保健</del> <del>公衆衛生看護学実習Ⅱ</del> 地域診断論 公衆衛生看護援助方法論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	中井 滋 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	中井 滋 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	中井 滋 <令和4年4月> 博士(医学)						
		成人期疾病論Ⅰ 卒業研究			成人期疾病論Ⅰ 卒業研究			成人期疾病論Ⅰ 卒業研究						
			専	教授	楠本 順子 <平成31年4月> 修士(経済学)	専	教授	楠本 順子 <平成31年4月> 修士(経済学)						
					基礎ゼミ			基礎ゼミ 老年看護学概論 老年看護学援助論						
						専	教授	林 睦晴 <令和2年4月> 博士(医学)						
								医療論 成人期疾病論Ⅰ 成人期疾病論Ⅱ						
専	准教授	北村 真弓 <平成31年4月> 修士(健康科学)	専	准教授	北村 真弓 <平成31年4月> 修士(健康科学)	専	准教授	北村 真弓 <平成31年4月> 修士(健康科学)						
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学概論 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 生活環境方法論 在宅看護学実習 健康教育論 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学概論 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 生活環境方法論 在宅看護学実習 健康教育論 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学概論 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 生活環境方法論 在宅看護学実習 健康教育論 卒業研究						
専	准教授	盛田 麻己子 <平成31年4月> 修士(看護学)												
		人体機能学※ 看護のための病態生理 基礎ゼミ 成人がん・難病・ターミナル看護方法論 成人看護学演習 看護研究方法論※ 成人看護学実習(セルフケア) 卒業研究												
専	准教授	近藤 千春 <平成31年4月> 修士(体育学)	専	准教授	近藤 千春 <平成31年4月> 修士(体育学)	専	准教授	近藤 千春 <平成31年4月> 修士(体育学)						
		精神看護学概論 基礎ゼミ 精神保健看護論 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究			精神看護学概論 基礎ゼミ 精神保健看護論 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究			精神看護学概論 基礎ゼミ 精神保健看護論 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究						
専	准教授	皆川 敦子 <平成31年4月> 修士(学術)	専	准教授	皆川 敦子 <平成31年4月> 修士(学術)	専	准教授	皆川 敦子 <平成31年4月> 修士(学術)						
		対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 看護過程展開論Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 看護過程展開論Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究						
専	准教授	田崎 あゆみ <平成31年4月> 修士(看護学)	専	准教授	田崎 あゆみ <平成31年4月> 修士(看護学)	専	准教授	田崎 あゆみ <平成31年4月> 修士(看護学)						
		基礎ゼミ 小児看護学概論 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 小児看護学概論 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 小児看護学概論 在宅看護学方法論 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究						



専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	朝居（城） 朋子 ＜平成31年4月＞ 修士（法学）	専	准教授	朝居（城） 朋子 ＜平成31年4月＞ 修士（法学）	専	准教授	朝居（城） 朋子 ＜平成31年4月＞ 修士（法学）						
		日本国憲法 医療関係法規 基礎ゼミ 卒業研究			日本国憲法 医療関係法規 基礎ゼミ 卒業研究			日本国憲法 <b>対人コミュニケーション</b> <b>医療関係法規論</b> 医療関係法規 基礎ゼミ <b>異文化看護概論</b> 卒業研究						
専	准教授	村井 はるか ＜令和4年4月＞ 修士（ソーシャルワーカー）	専	准教授	村井 はるか ＜令和4年4月＞ 修士（ソーシャルワーカー）	専	准教授	村井 はるか ＜令和4年4月＞ 修士（ソーシャルワーカー）						
		基礎ゼミ 看護英語Ⅱ 卒業研究			<b>基礎ゼミ</b> 看護英語Ⅱ 卒業研究			<b>基礎ゼミ</b> 看護英語Ⅱ 卒業研究						
専	准教授	服部 しのぶ ＜令和4年4月＞ M.A in Applied Linguistics	専	准教授	服部 しのぶ ＜令和4年4月＞ M.A in Applied Linguistics	専	准教授	服部 しのぶ ＜令和4年4月＞ M.A in Applied Linguistics						
		基礎ゼミ 看護英語Ⅰ			<b>基礎ゼミ</b> 看護英語Ⅰ			<b>英語</b> <b>基礎ゼミ</b> 看護英語Ⅰ						
			専	准教授	渡邊 至紀子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学） 博士（保健学）	専	准教授	渡邊 至紀子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学） 博士（保健学）						
					<b>基本看護技術Ⅰ</b> <b>基本看護技術Ⅱ</b> <b>看護過程展開Ⅰ</b> <b>看護過程展開Ⅱ</b> <b>基礎看護学実習Ⅰ</b> <b>基礎ゼミ</b>			<b>対人コミュニケーション</b> <b>基本看護技術Ⅰ</b> <b>基本看護技術Ⅱ</b> <b>看護過程展開Ⅰ</b> <b>看護過程展開Ⅱ</b> <b>基礎看護学実習Ⅰ</b> <b>基礎看護学実習Ⅱ</b> <b>基礎ゼミ</b> <b>看護過程展開Ⅱ</b>						
						専	准教授	佐藤 俊充 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								<b>成人期疾病論Ⅲ</b>						
						専	准教授	加藤 睦美 ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）						
								<b>基礎ゼミ</b> <b>成人がん・難病・ターミナル</b> <b>看護方法論</b>						
専	講師	宮本 美穂 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（看護学）	専	講師 准教授	宮本 美穂 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（看護学）	専	准教授	宮本 美穂 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（看護学）						
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護実践Ⅰ 公衆衛生看護援助方法論 地域ケアシステム論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究			<b>基礎看護学実習Ⅰ</b> 公衆衛生看護実践Ⅰ 公衆衛生看護援助方法論 地域ケアシステム論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究			基礎ゼミ <b>基礎看護学実習Ⅰ</b> 公衆衛生看護実践Ⅰ <b>公衆衛生看護実践Ⅱ</b> <b>公衆衛生看護実践Ⅲ</b> 公衆衛生看護援助方法論 地域ケアシステム論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究						
						専	准教授	清水 純 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
								基礎ゼミ <b>対人コミュニケーション</b> 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ <b>公衆衛生看護実践Ⅱ</b> 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	岡島 規子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	講師	岡島 規子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	講師	岡島 規子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
		基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究						
専	講師	川上 友美 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）	専	講師	川上 友美 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）	専	講師	川上 友美 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）						
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究						
専	講師	田辺 幸子 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（公衆衛生学）	専	講師	田辺 幸子 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（公衆衛生学）	専	講師	田辺 幸子 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（公衆衛生学）						
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学演習 国際看護 公衆衛生看護援助方法論 在宅看護学実習 統合実習 災害看護 卒業研究 異文化看護概論			基礎ゼミ <del>基礎看護学実習Ⅰ</del> 在宅看護学演習 国際看護 公衆衛生看護援助方法論 在宅看護学実習 統合実習 災害看護 卒業研究 異文化看護概論			基礎ゼミ <del>基礎看護学実習Ⅰ</del> 在宅看護学演習 国際看護 公衆衛生看護援助方法論 在宅看護学実習 統合実習 災害看護 卒業研究 異文化看護概論						
専	講師	LENGUYEN KIM NGAN ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学）	専	講師	LENGUYEN KIM NGAN ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学）	専	講師	LENGUYEN KIM NGAN ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学）						
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究						
専	講師	曾我 武史 ＜平成31年4月＞ 衛生看護学士	専	講師	曾我 武史 ＜平成31年4月＞ 衛生看護学士	専	講師	曾我 武史 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅰ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅰ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅰ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究						
専	講師	明石（土屋）優美 ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）	専	講師	明石（土屋）優美 ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）	専	講師	明石（土屋）優美 ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）						
		基礎ゼミ 診断のための検査学 卒業研究			対人コミュニケーション 基礎ゼミ 診断のための検査学 卒業研究			対人コミュニケーション 基礎ゼミ 診断のための検査学 卒業研究						
専	講師	伊藤 桜子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康心理学）	専	講師	伊藤 桜子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康心理学）	専	講師	伊藤 桜子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康心理学）						
		心理学 人間行動科学			心理学 人間行動科学			心理学 人間行動科学						
専	講師	清水 純 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	講師	清水 純 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	講師	清水 純 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	加藤 勝子 <平成31年4月> 修士（看護学）	専	講師	加藤 勝子 <平成31年4月> 修士（看護学）									
		基礎ゼミ 健康教育論 公衆衛生看護援助方法論 公衆衛生看護実践論Ⅱ 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究			基礎ゼミ 健康教育論 公衆衛生看護援助方法論 公衆衛生看護実践論Ⅱ 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究									
専	講師	織田千賀子 <平成31年4月> 修士（看護学）	専	講師	織田千賀子 <平成31年4月> 修士（看護学）	専	講師	基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習 成人看護学実習（クリティカル・周手術） 成人看護学実習（セルフケア） 統合実習 卒業研究						
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習 成人看護学実習（クリティカル・周手術） 成人看護学実習（セルフケア） 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習 成人看護学実習（クリティカル・周手術） 成人看護学実習（セルフケア） 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ コンプライメンタリーセラピー 救急と看護 成人看護学実習（クリティカル・周手術） 成人看護学実習（セルフケア） 成人がん・腫瘍・ターミナル看護方法論 成人看護学演習 統合実習 卒業研究						
専	講師	高田 佳代子 <令和4年4月> 学士（医学）	専	講師	高田 佳代子 <令和4年4月> 学士（医学）	専	講師	高田 佳代子 <令和4年4月> 学士（医学）						
		基礎ゼミ 成人期疾病論Ⅲ 卒業研究			基礎ゼミ 成人期疾病論Ⅲ 卒業研究			基礎ゼミ 成人期疾病論Ⅲ 卒業研究						
						専	講師	清水 三紀子 <平成31年4月> 修士（看護学）						
								対人コミュニケーション 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究						
						専	講師	富田 元 <平成31年4月> 修士（看護学）						
								基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 救急と看護 在宅看護学方法論 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究						
						専	講師	浅岡 裕子 <令和2年4月> 修士（看護学）						
								基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 成人がん・腫瘍・ターミナル看護方法論 成人セルフケア方法論						
			専	講師	尾形宗士郎 <平成31年4月> 修士（保健学） 博士（保健学）									
					自然科学 基礎ゼミ 看護のための病態生理									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	梅村 慶子 <平成31年4月> 修士(保健学)	専	助教	梅村 慶子 <平成31年4月> 修士(保健学)	専	助教	梅村 慶子 <平成31年4月> 修士(保健学)						
		基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究						
専	助教	荒堀 裕子 <平成31年4月> 修士(看護学)	専	助教	荒堀 裕子 <平成31年4月> 修士(看護学)	専	助教	荒堀 裕子 <平成31年4月> 修士(看護学)						
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究						
専	助教	石亀 敬子 <平成31年4月> 修士(看護学)	専	助教	石亀 敬子 <平成31年4月> 修士(看護学)	専	助教	石亀 敬子 <平成31年4月> 修士(看護学)						
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ リハビリテーション看護 統合実習 卒業研究			老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ リハビリテーション看護 統合実習 卒業研究			老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ リハビリテーション看護 統合実習 卒業研究						
専	助教	清水 三紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)	専	助教	清水 三紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)									
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究									
専	助教	倉田 亮子 <平成31年4月> 修士(看護学)	専	助教	倉田 亮子 <平成31年4月> 修士(看護学)									
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 成人セルフケア方法論 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 成人看護学実習(セルフケア) 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 成人セルフケア方法論 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 成人看護学実習(セルフケア) 統合実習 卒業研究									
専	助教	近藤 彰 <平成31年4月> 修士(保健学)	専	助教	近藤 彰 <平成31年4月> 修士(保健学)	専	助教	近藤 彰 <平成31年4月> 修士(保健学)						
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 成人クリティカル・周手術期看護方法論 成人看護学演習 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 成人クリティカル・周手術期看護方法論 成人看護学演習 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 成人がん・腫瘍・ターミナル看護方法論 成人クリティカル・周手術期看護方法論 成人看護学演習 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	影浦 直子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	助教	影浦 直子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	助教	影浦 直子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 家族と看護※ 成人看護学演習（セルフケア） 成人看護学実習（クリティカル・周手術） 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 家族と看護※ 成人看護学演習（セルフケア） 成人看護学実習（クリティカル・周手術） 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 家族と看護※ 成人看護学演習（セルフケア） 成人看護学実習（クリティカル・周手術） 統合実習 卒業研究						
専	助教	富田 元 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	助教	富田 元 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）									
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究									
専	助教	杉浦 将人 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	助教	杉浦 将人 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	助教	杉浦 将人 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究			基礎ゼミ <b>対人コミュニケーション</b> 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究						
専	助教	廣瀬 大輔 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	助教	廣瀬 大輔 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	助教	廣瀬 大輔 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護過程展開論Ⅱ 統合実習 卒業研究			<b>対人コミュニケーション</b> 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護過程展開論Ⅱ 統合実習 卒業研究			<b>対人コミュニケーション</b> 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護過程展開論Ⅱ 統合実習 卒業研究						
専	助教	伊藤 裕子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	助教	伊藤 裕子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）									
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習（セルフケア） 成人看護学実習（クリティカル・周手術） 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習（セルフケア） 成人看護学実習（クリティカル・周手術） 統合実習 卒業研究									
専	助教	金 チューアイ ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（看護学）	専	助教	金 チューアイ ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（看護学）	専	助教	金 チューアイ ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（看護学）						
		基礎ゼミ 卒業研究			基礎ゼミ 卒業研究			<b>基礎ゼミ</b> 卒業研究						
			専	助教	<b>竹差 美紗子</b> <b>＜平成31年4月＞</b> <b>修士（看護学）</b>	専	助教	<b>竹差 美紗子</b> <b>＜平成31年4月＞</b> <b>修士（看護学）</b>						
					<b>基礎ゼミ</b> <b>基礎看護学実習Ⅰ</b>			<b>基礎ゼミ</b> <b>老年看護学概論</b> <b>老年看護学援助論</b> <b>基礎看護学実習Ⅰ</b> <b>基礎看護学実習Ⅱ</b>						
			専	助教	川村 真紀子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	専	助教	川村 真紀子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
					<b>対人コミュニケーション</b> <b>基礎ゼミ</b> <b>基本看護技術Ⅰ</b> <b>基本看護技術Ⅱ</b> <b>看護過程展開論Ⅰ</b> <b>看護過程展開論Ⅱ</b> <b>基礎看護学実習Ⅰ</b>			<b>対人コミュニケーション</b> <b>基礎ゼミ</b> <b>基本看護技術Ⅰ</b> <b>基本看護技術Ⅱ</b> <b>看護過程展開論Ⅰ</b> <b>看護過程展開論Ⅱ</b> <b>基礎看護学実習Ⅰ</b> <b>基礎看護学実習Ⅱ</b>						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					瀬田由幸佳 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）			瀬田由幸佳 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
			専 助教		基礎ゼミ	専 助教		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人がん・腫瘍・ターミナル 看護方法論						
			専 助教		林 朱佳子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）									
					基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ									
								岩瀬 敬佑 ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）						
			専 助教		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学方法論 基礎看護学実習Ⅱ									
			専 助教		中畑 ひとみ ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）			基礎ゼミ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 学校保健・産業保健 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ						
兼任	教授	中井 滋 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	中井 滋 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	中井 滋 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		成人期疾病論Ⅰ			成人期疾病論Ⅰ			成人期疾病論Ⅰ 国際医学概論						
兼任	教授	松井 太衛 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（理学）	兼任	教授	松井 太衛 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（理学）	兼任	教授	松井 太衛 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（理学）						
		生命科学 自然科学			生命科学 自然科学			生命科学 自然科学						
兼任	教授	久保 明達 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（理学）	兼任	教授	久保 明達 高 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（理学）	兼任	教授	久保 明達 高 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（理学）						
		数学			数学			数学						
兼任	教授	竹松 弘 ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	兼任	教授	竹松 弘 ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	兼任	教授	竹松 弘 ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）						
		化学			化学			化学						
兼任	教授	濱子 二治 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	濱子 二治 高 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	濱子 二治 高 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		人体機能学※			人体機能学※			人体機能学※						
兼任	教授	羽田 道信 ＜平成31年4月＞ 修士（人間科学）												
		スポーツ・健康科学												
兼任	教授	大橋 勉二 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	大橋 勉二 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	大橋 勉二 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		栄養学			栄養学			栄養学						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 邦明 ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	齋藤 邦明 ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	齋藤 邦明 ＜平成31年4月＞ 医学博士						
		国際医学概論			国際医学概論			国際医学概論						
兼任	教授	鈴木 康司 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	鈴木 康司 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	鈴木 康司 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		公衆衛生学			公衆衛生学			疫学 公衆衛生学						
兼任	教授	畑 忠善 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	畑 忠善 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）									
		小児期疾病論※			小児期疾病論※									
兼任	教授	鈴木 達也 ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	鈴木 達也 ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	鈴木 達也 ＜令和2年4月＞ 医学博士						
		小児期疾病論※			小児期疾病論※			小児期疾病論※						
兼任	教授	金平 運 ＜令和3年4月＞ 博士（工学） 修士（工学）	兼任	教授	金平 運 ＜令和3年4月＞ 博士（工学） 修士（工学）	兼任	特任教授	金平 運 ＜令和3年4月＞ 博士（工学） 修士（工学）						
		中国語			中国語			国際医学概論 中国語						
兼任	教授	小林 茂樹 ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	小林 茂樹 ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	小林 茂樹 ＜令和3年4月＞ 博士（医学）						
		放射線医学			放射線医学			放射線医学						
兼任	教授	佐藤 芳 ＜令和4年4月＞ 哲学博士	兼任	教授	佐藤 芳 ＜令和4年4月＞ 哲学博士	兼任	教授	佐藤 芳 ＜令和4年4月＞ 哲学博士						
		生命倫理学			生命倫理学			生命倫理学						
兼任	教授	米本 倉基 ＜平成31年4月＞ 博士（政策科学） 修士（経営学）	兼任	教授	米本 倉基 ＜平成31年4月＞ 博士（政策科学） 修士（経営学）	兼任	教授	米本 倉基 ＜平成31年4月＞ 博士（政策科学） 修士（経営学）						
		インターンシップ 経済学			インターンシップ 経済学			インターンシップ 経済学						
兼任	教授	亀井 哲也 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	亀井 哲也 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	亀井 哲也 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		情報機器の操作			情報機器の操作			情報機器の操作						
兼任	教授	日比谷 信 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	日比谷 信 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	日比谷 信 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）						
		医用機器管理論			医用機器管理論			国際医学概論 医用機器管理論						
						兼任	教授	井平 勝 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								国際医学概論						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	村井 はるか ＜平成31年4月＞ 修士（ソーシャルワーカー）	兼任	准教授	村井 はるか ＜平成31年4月＞ ＜令和3年4月＞ 修士（ソーシャルワーカー）	兼任	准教授	村井 はるか ＜平成31年4月＞ ＜令和3年4月＞ 修士（ソーシャルワーカー）						
		基礎ゼミ 看護英語Ⅱ			基礎ゼミ 看護英語Ⅱ			基礎ゼミ 看護英語Ⅱ 国際医学概論						
兼任	准教授	服部 しのぶ ＜平成31年4月＞ M.A in Applied Linguistics	兼任	准教授	服部 しのぶ ＜平成31年4月＞ M.A in Applied Linguistics	兼任	准教授	服部 しのぶ ＜平成31年4月＞ M.A in Applied Linguistics						
		基礎ゼミ 看護英語Ⅰ			基礎ゼミ 英語 看護英語Ⅰ			基礎ゼミ 英語 看護英語Ⅰ						
兼任	准教授	梅沢栄三 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	梅沢栄三 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	梅沢栄三 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）						
		物理学			物理学			物理学						
兼任	准教授	加藤好光 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）												
		人体形態学※												
兼任	准教授	水谷謙明 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）												
		人体形態学※												
兼任	准教授	星野 弘喜 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	星野 弘喜 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	星野 弘喜 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）						
		保健統計学			保健統計学			保健統計学						
兼任	准教授	石川浩章 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	石川浩章 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	石川浩章 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		生化学			生化学			生化学						
兼任	准教授	堀内(後藤)ちとせ ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	兼任	准教授	堀内(後藤)ちとせ ＜令和2年4月＞ ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	准教授	堀内(後藤)ちとせ ＜令和2年4月＞ ＜平成31年4月＞ 修士（文学）						
		看護英語Ⅰ			英語 看護英語Ⅰ			英語 看護英語Ⅰ						



専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木めぐみ ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション療法学）	兼任	准教授	鈴木めぐみ ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション療法学）									
		ポルトガル語			ポルトガル語									
兼任	准教授	武藤晃一 ＜令和3年4月＞ 修士（工学）	兼任	准教授	武藤晃一 ＜令和3年4月＞ 修士（工学）	兼任	准教授	武藤晃一 ＜令和3年4月＞ 修士（工学）						
		保健統計学演習			保健統計学演習			保健統計学演習						
			兼任	准教授	西井一宏 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	西井一宏 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
					人体形態学			人体形態学						
						兼任	准教授	伊藤 桜子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康心理学）						
								国際医学概論 心理学 人間行動科学						
			兼任	准教授	河村 吉紀 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	河村 吉紀 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					小児期疾病論			小児期疾病論						
			兼任	准教授	酒井 一由 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	酒井 一由 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					国際医学概論			国際医学概論						
			兼任	准教授	石原 尚子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	石原 尚子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					小児期疾病論			小児期疾病論						
			兼任	准教授	中島 葉子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	中島 葉子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					小児期疾病論			小児期疾病論						
			兼任	准教授	藤野 正之 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	藤野 正之 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					小児期疾病論			小児期疾病論						
			兼任	准教授	中島 陽一 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	中島 陽一 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					小児期疾病論			小児期疾病論						
			兼任	准教授	齋藤 和由 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	齋藤 和由 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					小児期疾病論			小児期疾病論						
			兼任	准教授	林 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士（医療技術学）	兼任	准教授	林 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士（医療技術学）						
					国際医学概論			国際医学概論						



専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								手塚 裕之 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								化学						
								Zaid Bin Abdullah ＜令和2年4月＞						
								国際医学概論						
兼任	助教	伊藤美保子 ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	兼任	助教	伊藤美保子 ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）			伊藤美保子 ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）						
		社会福祉論※ 社会保険論※			社会福祉論※ 社会保険論※			社会福祉論※ 社会保険論※						
								桂華（宮澤） 麻希 ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）						
								スポーツ・健康科学						
								阿部 祐子 ＜令和2年4月＞ 修士（学術）						
								在宅看護学方法論						
								塩谷 泰子 ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）						
								在宅看護学方法論						
								会津 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士（障害科学）						
								人体形態学						
								藤井 亮輔 ＜令和2年4月＞ 博士（医療技術学）						
								疫学						
兼任	教授	木戸正幸 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	教授	木戸正幸 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	教授	木戸正幸 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）						
		論理学			論理学			論理学						
兼任	教授	山本恵申 ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	山本恵申 ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	山本恵申 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		免疫学			免疫学			免疫学						
兼任	教授	仙田典保 ＜平成31年4月＞ 学士（薬学）	兼任	教授	仙田典保 ＜平成31年4月＞ 学士（薬学）	兼任	教授	仙田典保 ＜平成31年4月＞ 学士（薬学）						
		薬理学			薬理学			薬理学						
兼任	教授	高橋 昇 ＜令和2年4月＞ 学士（薬学）	兼任	教授	高橋 昇 ＜令和2年4月＞ 学士（薬学）	兼任	教授	高橋 昇 ＜令和2年4月＞ 学士（薬学）						
		保健医療福祉行政論Ⅱ			保健医療福祉行政論Ⅱ			保健医療福祉行政論Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	教授	眞野 恵子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）			眞野 恵子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）						
					看護学概論			看護学概論						
								瀧村 敏 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								精神保健看護論						
								PLANTE STEEVE ＜令和2年4月＞						
								英語 英会話						
								辻岡 勝美 ＜令和2年4月＞ 学士（工学）						
								国際医学概論						
兼任	講師	松村美奈 ＜平成31年4月＞ 博士（日本文化）	兼任	講師	松村美奈 ＜平成31年4月＞ 博士（日本文化）									
		文学			文学									
兼任	講師	三谷竜彦 ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	三谷竜彦 ＜平成31年4月＞ 博士（文学）			三谷竜彦 ＜平成31年4月＞ 博士（文学）						
		哲学			哲学			哲学						
兼任	講師	Christopher Richard Donaldson ＜平成31年4月＞ 修士（応用言語学）	兼任	講師	Christopher Richard Donaldson ＜平成31年4月＞ ＜令和2年4月＞ 修士（応用言語学）									
		英語 英会話			英語 英会話									
兼任	講師	Laurence Miles Hislop ＜平成31年4月＞ BA History （新国）	兼任	講師	Laurence Miles Hislop ＜平成31年4月＞ ＜令和2年4月＞ BA History （新国）			Laurence Miles Hislop ＜平成31年4月＞ ＜令和2年4月＞ BA History （新国）						
		英語 英会話			英語 英会話			英語 英会話						
兼任	講師	三木 誠 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	三木 誠 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）			三木 誠 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）						
		文化人類学			文化人類学			文化人類学						
兼任	講師	黒坂美智代 ＜令和2年4月＞ 短期大学卒	兼任	講師	黒坂美智代 ＜令和2年4月＞ 短期大学卒			黒坂美智代 ＜令和2年4月＞ 短期大学卒						
		手話			手話			手話						
兼任	講師	矢島洋子 ＜令和2年4月＞ 学術修士	兼任	講師	矢島洋子 ＜令和2年4月＞ 学術修士			矢島洋子 ＜令和2年4月＞ 学術修士						
		社会学			社会学			社会学						
兼任	講師	渥美広之 ＜令和2年4月＞ 学士（社会福祉学）	兼任	講師	渥美広之 ＜令和2年4月＞ 学士（社会福祉学）			渥美広之 ＜令和2年4月＞ 学士（社会福祉学）						
		保健医療福祉行政論Ⅰ			保健医療福祉行政論Ⅰ			保健医療福祉行政論Ⅰ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	城森(森川) 泉 ＜令和4年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼任	講師	城森(森川) 泉 ＜令和4年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼任	講師	城森(森川) 泉 ＜令和4年4月＞ 博士（リハビリテーション学）						
		音楽療法			音楽療法			音楽療法						
兼任	講師	伊藤 惟 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	伊藤 惟 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	伊藤 惟 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）						
		ドイツ語			ドイツ語			ドイツ語						
兼任	講師	勝間田明子 ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	勝間田明子 ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	勝間田明子 ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）						
		教育学			教育学			教育学						
兼任	講師	福本由美子 ＜令和4年4月＞ 修士（看護学）	兼任	講師	福本由美子 ＜令和4年4月＞ 修士（看護学）									
		看護と安全			看護と安全									
			兼任	講師	濱口 紀子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）									
					看護学概論									
			兼任	講師	松下 寛代 ＜平成31年4月＞									
					看護学概論									
						兼任	講師	尾形宗士郎 ＜平成31年4月＞ 修士（保健学） 博士（保健学）						
								自然科学基礎から 看護のための病態生理 国際医学概論						
						兼任	講師	酒美 雅子 ＜令和2年4月＞						
								老年看護学援助論						
						兼任	講師	伊藤 あゆみ ＜令和2年4月＞ 学士（看護学）						
								成人セルフケア方法論						
						兼任	講師	伊藤 秀樹 ＜令和2年4月＞						
								社会福祉論						
			兼任	講師	岡本 薫 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）									
					小児期疾病論									















専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	助教	中田 勝乃 ＜平成31年4月＞ 学士（看護学） 基本看護技術Ⅰ									
			兼任	助教	天野 千実 ＜平成31年4月＞ 学士（看護学） 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ									
			兼任	助教	大前 祐美 ＜平成31年4月＞ 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ									
			兼任	助教	井上 奈津樹 ＜平成31年4月＞ 学士（看護学） 基本看護技術Ⅰ									
			兼任	助教	大見 亜理紗 ＜平成31年4月＞ 基本看護技術Ⅱ									
			兼任	助教	岡村 英由 ＜平成31年4月＞ 基本看護技術Ⅱ									
			兼任	助教	萩野 宏美 ＜平成31年4月＞ 学士（看護学） 基本看護技術Ⅰ									

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、**届出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実））、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容（看護学科）

【令和元年度】

- ・授業の充実及び教員の負担軽減を考慮し、「自然科学」を兼任教員松井太衛教授から専任教員の尾形宗士郎講師に変更。
- ・授業の充実及び教員の負担軽減を考慮し、「生命科学」に三浦恵一講師を追加。
- ・授業の充実を図るため、「英語」を兼任教員ローレンスマイルズ講師、クリストファードナルドソン講師から服部しのぶ准教授、堀内（後藤）ちとせ准教授に変更。
- ・退職の盛田麻己子准教授、就任前の村井はるか准教授、服部しのぶ准教授、高田佳代子講師の代わりに、「基礎ゼミ」に楠本順子教授、渡邊亜紀子准教授、尾形宗士郎講師、竹差美紗子助教、川村真紀子助教、堀田由季佳助教、林 未佳子助教、助手2名を追加。
- ・退職に伴い、「人体形態学」を兼任教員の加藤好光准教授、水谷謙明講師から、学部の専任教員の西井一宏准教授に変更。
- ・退職に伴い、「人体機能学」の盛田麻己子准教授を削除。
- ・退職に伴い、「看護のための病態生理」盛田麻己子准教授を削除し、専任教員の尾形宗士郎講師を追加。
- ・授業の充実を図るため、「看護学概論」に、兼任教員の眞野恵子教授、松下寛代講師、瀧口紀子講師を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「対人コミュニケーション」に専任教員の久納智子教授、藤原 郁教授、世古留美教授、岡島規子講師、LENGUYEN講師、明石優美講師、梅村慶子助教、廣瀬大輔助教、川村真紀子助教、助手1名、兼任教員（実務経験者）の加藤吉朗助教、馬場ひかる助教、藤田可那子助教、浅野亮助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「基本看護技術Ⅰ」に昇格した川村真紀子助教、新規採用の渡邊亜紀子准教授、助手1名、専任教員（実務経験者）の加藤吉朗助教、馬場ひかる助教、藤田可那子助教、浅野亮助教、黒田健太助教、中村友香助教、中田詩乃助教、天野千笑助教、大飼祐美助教、井上奈津樹助教、萩野宏美助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「基本看護技術Ⅱ」に昇格した川村真紀子助教、新規採用の渡邊亜紀子准教授、助手1名、兼任教員（実務経験者）の加藤吉朗助教、馬場ひかる助教、藤田可那子助教、浅野亮助教、黒田健太助教、中村友香助教、天野千笑助教、大飼祐美助教、大見亜里沙助教、岡村来由助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「看護過程展開論Ⅰ」に新規採用の専任教員渡邊亜紀子准教授、助手1名を追加。
- ・「基礎看護学実習Ⅰ」に基礎看護学領域新規採用の渡邊亜紀子准教授と助手1名、昇格した川村真紀子助教、竹差美紗子助教、林 未佳子助教、兼任教員助手2名追加し、世古留美教授、北村眞弓准教授、宮本美穂准教授、田辺幸子講師を削除。

【令和2年度】

- ・他学科への異動のため、「医療論」を小野木啓子教授から林睦晴教授に変更。
- ・退職に伴い、「文学」を松村美奈講師から畠中愛美講師に変更。
- ・退職に伴い、「自然科学」を尾形宗士郎講師から三浦恵二講師に変更。
- ・授業の充実及び教員負担軽減を考慮し、「スポーツ健康科学」に杉原敬士助教を追加。
- ・退職に伴い、「看護のための病態生理」尾形宗士郎講師を削除。
- ・教育の充実及び教員負担軽減を考慮し、「化学」に手塚裕之講師に変更。
- ・退職に伴い、「基礎ゼミ」田辺圭子講師、加藤勝子講師、伊藤裕子助教、尾形宗士郎講師、倉田亮子講師、林未佳子助教を削除し、加藤睦美准教授、浅岡裕子講師、中畑ひとみ助教を追加。
- ・教育の充実を図るため、「人体形態学」に金津直樹助教を追加。
- ・教育の充実を図るため、「看護学概論」に原久美講師を追加。
- ・教育の充実を図るため、「対人コミュニケーション」に朝居朋子准教授、清水純准教授、清水三紀子講師、杉浦将人助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「基本看護技術Ⅰ」に兼任教員の伊藤菜助教授、稲垣鮎美助教、釜谷夏海助教、久野真里奈助教、近藤沙弥助教、市岡結衣助教、生駒俊裕助教、大島早織助教、大嶋智美助教、田中なつみ助教、尾関貴昭助教、本田裕加里助教、鈴木結偉助教、齋藤裕也助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「基本看護技術Ⅱ」に兼任教員の伊藤菜助教授、釜谷夏海助教、久野真里奈助教、近藤沙弥助教、市岡結衣助教、大島早織助教、大嶋智美助教、田中なつみ助教、尾関貴昭助教、本田裕加里助教、鈴木結偉助教、齋藤裕也助教を追加。
- ・教育の充実を図るため、「老年看護学概論」に楠本順子教授、竹差美紗子助教を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「英語」にPLANTE STEEVE准教授、LAURENCE MILES HISROP講師を追加。
- ・退職に伴い、「基礎看護学実習Ⅰ」田辺幸子講師、伊藤裕子助教、林未佳子助教を削除し、またLENGUYEN KIM NGAN講師削除。浅岡裕子講師、堀田由季佳助教を追加。
- ・退職に伴い、「異文化看護概論」を田辺幸子講師から朝居朋子准教授に変更。
- ・教育の充実及び教員負担軽減を考慮し、「国際医学概論」に専任教員の川井薫教授、朝居朋子准教授、LENGUYEN KIM NGAN講師、兼任教員の中山滋教授、金平蓮教授、日比谷信教授、井平勝教授、辻岡勝美教授、稲本陽子教授、村井はるか准教授、大橋篤准教授、大塚圭准教授、林直樹准教授、酒井一由准教授、伊藤桜子准教授、藤垣英嗣講師、清野溪講師、兼任教員のZAID BIN ABDULLAH講師、尾形宗士郎講師を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「ポルトガル語」を鈴木めぐみ教授から宮坂ヘジナ講師に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「社会保障論」に朝岡昌史講師、池田寛講師を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「社会福祉論」に伊藤秀樹講師を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「公衆衛生学」を鈴木康司教授から川井薫教授に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「疫学」を川戸美由紀講師から専任教員の世古留美教授、兼任教員の鈴木康司教授、藤井亮輔助教に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「コンプリメンタリーセラピー」に専任教員の織田千賀子講師、兼任教員の則武雅代講師を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「家族と看護」荒堀裕子助教、石亀敬子助教を削除し、専任教員の織田千賀子講師、富田元講師、影浦直子助教を追加。
- ・他学科への移動のため、「成人期疾病論Ⅰ」を小野木啓子教授から林睦晴教授に変更。
- ・他学科への移動のため、「成人期疾病論Ⅱ」を小野木啓子教授から林睦晴教授に変更。
- ・教育の充実を図るため、「老年看護学援助論」に専任教員の楠本順子教授、竹差美紗子助教、兼任教員の渥美雅子講師、鈴木華代講師、奥田真衣助教、佐藤久恵助教、佐藤康平助教、小川茜助教、浅野佑実助教、太田葉月助教、竹内優真助教、長谷川優樹助教、田中友梨奈助教、日置純子助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「在宅看護学概論」に兼任教員の松下寛代講師を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「在宅看護学方法論」に専任教員田崎あゆみ准教授、富田元講師を追加、兼任教員として山口里美講師、渡邊みさ講師、阿部祐子助教、塩谷泰子助教を追加。
- ・退職に伴い、「成人がん・難病・ターミナル看護方法論」を盛田麻己子准教授から専任教員の加藤睦美准教授、織田千賀子講師、浅岡裕子講師、近藤彰助教、影浦直子助教、堀田由季佳助教に変更、兼任教員の神納美保講師、水谷洋講師、鈴木祐子助教を追加。
- ・退職に伴い、「成人セルフケア方法論」を倉田亮子講師から専任教員の浅岡裕子講師、影浦直子助教に変更、兼任教員の櫻木千恵子講師、伊藤あゆみ講師、日比野菜助教、芝崎奈美助教、池田真弓助教を追加。
- ・授業の充実及び教員の負担軽減を考慮し、「母性セルフケア看護Ⅱ」に専任教員の清水三紀子講師を追加。
- ・授業の充実を図るため、「看護過程展開論Ⅱ」に専任教員の渡邊亜紀子准教授、川村真紀子助教を追加、兼任教員の酒井博崇講師、塩澤剣助教、釜谷夏海助教、田元成仁助教、鈴木結偉助教、齋藤史郎助教、松田奈々助教、神崎愛実助教、大久保麻衣助教、大島早織助教、大嶋智美助教、太平志帆助教、片岡朋佳助教、堀田智助教を追加。
- ・授業の充実を図るため、「成人期疾病論Ⅲ」を高田佳代子講師から専任教員の佐藤俊充准教授に変更、兼任教員の大森鮎子講師、谷川阿紀講師、吉井美穂助教、上村昂育助教、石川智加助教、石谷朋記助教を追加。
- ・定年退職に伴い、「小児期疾病論」を畑忠善教授から鈴木達也教授、工藤寿子教授、池住洋平教授、河村吉紀准教授、石原直子准教授、中島葉子准教授、藤野正之准教授、中島陽一准教授、齋藤和由准教授、岡本薫講師、加藤えり那講師に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「精神保健看護論」に兼任教員の磯村毅教授を追加。
- ・教育の充実を図るため、「基礎看護学実習Ⅱ」の伊藤裕子助教を削除し、専任教員の渡邊亜紀子准教授、浅岡裕子講師、竹差美紗子助教、川村真紀子助教、堀田由季佳助教を追加。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実践Ⅰ」を加藤勝子講師から専任教員の世古留美教授、中畑ひとみ助教に変更。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実践Ⅱ」加藤勝子講師を削除し、専任教員の宮本美穂准教授、清水純准教授を追加、兼任教員の加藤まり助教を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「学校保健・産業保健」に専任教員の中畑ひとみ助教を追加。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」加藤勝子講師を削除し、専任教員の中畑ひとみ助教を追加。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」加藤勝子講師を削除し、専任教員の中畑ひとみ助教を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **既で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

## (2) 専任教員数等

## (2) 一① 設置基準上の必要専任教員数（看護学科）

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

## (2) 一② 専任教員数【大学】（看護学科）

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
8	6	11	12	37	4	9	10	10	13	41	1
(8)	(6)	(11)	(12)	(37)	(4)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
10	11	10	7	38	1	10	11	10	7	38	1
[ 2 ]	[ 5 ]	[ Δ1 ]	[ Δ5 ]	[ 1 ]	[ Δ3 ]	[ 2 ]	[ 5 ]	[ Δ1 ]	[ Δ5 ]	[ 1 ]	[ Δ3 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

## (2) 一③ 年齢構成（看護学科）

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
63	1	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

## (2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率（看護学科）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{38}{37} = \boxed{102.7} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## (2) 一⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率（看護学科）

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{41} = \boxed{2.43} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## (2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率（看護学科）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{4} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## (3) 専任教員辞任等の理由(看護学科)

## (3)-① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況(看護学科)

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	盛田麻己子	H31.3	必修	人体機能学	②	H31.3.31 体調不良により、科目（特に実習）を担当することが困難になり、就任辞退（元）						
				必修	看護のための病態生理	①							
				必修	基礎ゼミ	①							
				必修	成人がん・難病・在宅看護方法論	①							
				必修	成人看護学演習	①							
				必修	看護研究方法論	①							
				必修	成人看護学実習（セルフケア）	①							
必修	卒業研究	①											
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	8	科目	必修	7	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目	計	1	科目	計	0	科目

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び( ) 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3)-② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況(看護学科)

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	小野木啓子	前期	選択	医療論	①	他学科へ異動(2)						
			前期	必修	成人期疾病論Ⅰ	①							
			後期	必修	成人期疾病論Ⅱ	①							
2	准教授	伊藤桜子	前期	必修	心理学	②	他学科へ異動(2)						
			前期	自由	国際医学概論	②							
3	講師	田辺幸子	通年	必修	基礎ゼミ	①	退職(2)						
			後期	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①							
			後期	自由	異文化看護学概論	①							
4	講師	加藤勝子	通年	必修	基礎ゼミ	①	退職(2)						
			前期	選択	公衆衛生看護学実践論Ⅱ	①							
5	講師	尾形宗士郎	前期	必修	基礎ゼミ	①	退職(2)						
			前期	選択	自然科学	②							
			後期	必修	看護のための病態生理	②							
			前期	自由	国際医学概論	②							
6	助教	伊藤裕子	後期	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	退職(2)						
			前期	必修	基礎ゼミ	①							
			前期	必修	基礎看護学実習Ⅱ	①							
7	助教	倉田亮子	前期	必修	基礎ゼミ	①	退職(2)						
			後期	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①							
			前期	必修	成人セルフケア方法論	①							
			前期	必修	基礎看護学実習Ⅱ	①							
8	助教	林未佳子	前期	必修	基礎ゼミ	①	大学病院へ異動(2)						
			後期	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
8	人	必修	15	科目	必修	12	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	3	科目	自由	1	科目	自由	2	科目	自由	0	科目
		計	21	科目	計	15	科目	計	5	科目	計	0	科目

(注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( ) 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計(看護学科)

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
9	人	必修	22 科目	必修	19 科目	必修	3 科目	必修	0 科目		
		選択	3 科目	選択	2 科目	選択	1 科目	選択	0 科目		
		自由	3 科目	自由	1 科目	自由	2 科目	自由	0 科目		
		計	28 科目	計	22 科目	計	6 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率(看護学科)

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{37} = 24.32\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況(看護学科)

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」(看護学科)

<p>大学の所見：退職及び移動する教員の科目は、延べ21科目であるが、1年次の科目は8科目であり、4科目は専任教員が担当し、他の3科目においてももともと担当していた教員であることから教育の質は十分担保できる。国際医学概論においてもほとんどが大学における教員であることから教育の質は十分担保できる。</p> <p>2年次においても、5科目ともに専任教員が担当することから、教育の質は十分担保できる。</p> <p>担当学生への周知方法：シラバスに反映させ、周知させた。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



5 教員組織の状況

<保健衛生学部 リハビリテーション学科>

(1) ① 担当教員表 (リハビリテーション学科)

【認可時又は届出時】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)						
		理学療法治療学10-小児 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法治療学10-小児 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法治療学10-小児※ 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究						
専	教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	専	教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	専	教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)						
		理学療法治療学1-中核1 理学療法治療学3-中核3 運動学 1 運動学 2 ※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法治療学1-中核1 理学療法治療学3-中核3 運動学 1 運動学 2 ※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法治療学1-中核1※ 理学療法治療学3-中核3 運動学 1 運動学 2 ※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究						
専	教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)	専	教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)	専	教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)						
		検査・測定論 1 (理) 検査・測定論実習 1 (理) 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			検査・測定論 1 (理) 検査・測定論実習 1 (理) 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			検査・測定論 1 (理) ※ 検査・測定論実習 1 (理) 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究						
専	教授	鈴木 孝治 <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	専	教授	鈴木 孝治 <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	専	教授	鈴木 孝治 <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)						
		作業療法概論 作業療法教育・管理学概論 作業療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			作業療法概論 作業療法教育・管理学概論 作業療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			作業療法概論※ 作業療法教育・管理学概論※ 作業療法特論 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>作業療法治療学7-内臓障害</b> <b>作業学2-木工・陶芸</b>						
専	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)						
		生理学 1 生理学 2 解剖学 1 ※ 解剖学 2 ※ 生理学実習 解剖学実習			生理学 1 生理学 2 解剖学 1 ※ 解剖学 2 ※ 生理学実習 解剖学実習			生理学 1 生理学 2 解剖学 1 ※ 解剖学 2 ※ 生理学実習 解剖学実習 <b>機能解剖学演習</b>						
専	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	専	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	専	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)						
		医療経営学※ インターンシップ			医療経営学※ インターンシップ			医療経営学※ インターンシップ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	鈴木 めぐみ ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション療法 学）	専	教授	鈴木 めぐみ ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション 療法学）	専	教授	鈴木 めぐみ ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション療法 学）				専		
		ポルトガル語 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			<b>ポルトガル語</b> 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			<b>ポルトガル語</b> 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>運動学実習</b> <b>作業療法治療学3-中核3</b>						
専	教授	稲本 陽子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健学）	専	教授	稲本 陽子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健学）	専	教授	稲本 陽子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健学）				専		
		言語機能学 言語療法学 言語病理学			言語機能学 言語療法学 言語病理学			言語機能学※ 言語療法学 言語病理学※ <b>臨床医学概論※</b>						
						<b>専</b>	教授	小野木 啓子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								<b>神経内科学1</b> <b>神経内科学2</b> <b>糖尿病</b> <b>老年学</b> <b>一般臨床医学※</b>						
専	准教授	田辺 茂雄 ＜平成31年4月＞ 博士（工学） 修士（リハビリテーション学）	専	准教授	田辺 茂雄 ＜平成31年4月＞ 博士（工学） 修士（リハビリテーション学）	専	准教授	田辺 茂雄 ＜平成31年4月＞ 博士（工学） 修士（リハビリテーション学）						
		基礎情報処理学 リハビリテーション工学 コンピュータープログラミング 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			基礎情報処理学 リハビリテーション工学 コンピュータープログラミング 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			基礎情報処理学※ リハビリテーション工学※ コンピュータープログラミング ※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>医用情報処理学※</b>						
専	准教授	武田 湖太郎 ＜平成31年4月＞ 博士（保健医療学） 修士（工学）	専	准教授	武田 湖太郎 ＜平成31年4月＞ 博士（保健医療学） 修士（工学）	専	准教授	武田 湖太郎 ＜平成31年4月＞ 博士（保健医療学） 修士（工学）						
		リハビリテーション工学 医用情報処理学			リハビリテーション工学 医用情報処理学			リハビリテーション工学※ 医用情報処理学※ <b>基礎情報処理学※</b>						
専	准教授	西井 一宏 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	専	准教授	西井 一宏 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	専	准教授	西井 一宏 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		解剖学1※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習			解剖学1※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習			解剖学1※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習						
専	准教授	大塚 圭 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	専	准教授	大塚 圭 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	専	准教授	大塚 圭 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		理学療法概論 理学療法研究概論 病態運動学 動作分析論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法概論 理学療法研究概論 病態運動学 動作分析論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法概論 理学療法研究概論※ 病態運動学 動作分析論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>臨床医学概論※</b>						
専	准教授	松下 文雄 ＜平成31年4月＞ 博士（農芸化学） 修士（農学）	専	准教授	松下 文雄 ＜平成31年4月＞ 博士（農芸化学） 修士（農学）	専	准教授	松下 文雄 ＜平成31年4月＞ 博士（農芸化学） 修士（農学）						
		生物学			生物学			生物学						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	渡辺 章由 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健衛生学）	専	講師	渡辺 章由 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健衛生学）	専	講師	渡辺 章由 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健衛生学）						
		検査・測定論1（作） 表面解剖学（作） 作業療法治療学9・老年期 地域リハビリテーション学 （作） 地域リハビリテーション学実習 （作） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			検査・測定論1（作） 表面解剖学（作） 作業療法治療学9・老年期 地域リハビリテーション学 （作） 地域リハビリテーション学 実習（作） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			検査・測定論1（作）※ <del>表面解剖学（作）</del> 作業療法治療学9・老年期 地域リハビリテーション学 （作） 地域リハビリテーション学実習 （作） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究						
専	講師	杉山 智久 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）	専	講師	杉山 智久 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）									
		運動学習理論 レクリエーションセラピー 解剖学2※ 解剖学実習 作業療法治療学6-整形2 作業学2-木工・陶芸 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			運動学習理論 レクリエーションセラピー 解剖学2※ 解剖学実習 作業療法治療学6-整形2 作業学2-木工・陶芸 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究									
専	講師	加賀 順子 ＜平成31年4月＞ 修士（医療・マネジメント学）	専	講師	加賀 順子 ＜平成31年4月＞ 修士（医療・マネジメント学）									
		社会福祉学 日常生活活動学（理） 日常生活活動学実習（理） 地域リハビリテーション学 （理） 地域リハビリテーション学実習 （理） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			社会福祉学 日常生活活動学（理） 日常生活活動学実習（理） 地域リハビリテーション学 （理） 地域リハビリテーション学 実習（理） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究									
専	講師	横田 元実 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健衛生学）	専	講師	横田 元実 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健衛生学）	専	講師	横田 元実 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健衛生学）						
		装具学 運動学実習 義肢装具学実習 理学療法治療学2-中枢2 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			装具学 運動学実習 義肢装具学実習 理学療法治療学2-中枢2 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			装具学 運動学実習 義肢装具学実習 理学療法治療学2-中枢2 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	尾関 恩 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	専	講師	尾関 恩 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）									
		人間発達学 一般臨床医学※ 内科学※ 整形外科学 1 ※ 整形外科学 2 ※ リハビリテーション評価概論※			人間発達学 一般臨床医学※ 内科学※ 整形外科学 1 ※ 整形外科学 2 ※ リハビリテーション評価概論※									
専	講師	鈴木 由佳理 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	専	講師	鈴木 由佳理 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	専	講師	鈴木 由佳理 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		理学療法治療学4・整形1 物理療法学 物理療法学実習 理学療法評価演習 表面解剖（理） 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法治療学4・整形1 物理療法学 物理療法学実習 理学療法評価演習 表面解剖（理） 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法治療学4・整形1 <b>物理療法学</b> <b>物理療法学実習</b> 理学療法評価演習 <b>表面解剖（理）</b> 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>日常生活活動学実習（理）</b> <b>理学療法治療学5-整形2</b> <b>理学療法治療学10-小児※</b> <b>地域リハビリテーション学実習（理）</b>						
専	講師	都築 晃 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	専	講師	都築 晃 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	専	講師	都築 晃 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		理学療法教育・管理学概論 理学療法治療学9 内部障害 理学療法治療学8 呼吸 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法教育・管理学概論 理学療法治療学9 内部障害 理学療法治療学8 呼吸 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			理学療法教育・管理学概論 理学療法治療学9 内部障害 理学療法治療学8 呼吸 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>地域リハビリテーション学（理）※</b>						
専	講師	松田 文浩 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）	専	講師	松田 文浩 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）	専	講師	松田 文浩 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）						
		運動療法学 理学療法治療学5-整形2 理学療法治療学6-徒手療法 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			運動療法学 理学療法治療学5-整形2 理学療法治療学6-徒手療法 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			<b>運動療法学</b> 理学療法治療学5-整形2 理学療法治療学6-徒手療法 <b>運動学実習</b> <b>客観的臨床能力演習1-</b> <b>客観的臨床能力演習2-</b> <b>客観的臨床能力演習3-</b> <b>基礎臨床見学実習</b> <b>初期体験実習</b> <b>臨床実習</b> <b>応用臨床実習</b> <b>臨床研究</b>						
専	講師	谷川 広樹 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）	専	講師	谷川 広樹 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）	専	講師	谷川 広樹 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）						
		検査・測定論実習2（理） 検査・測定論2（理） 運動療法学実習 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			検査・測定論実習2（理） 検査・測定論2（理） 運動療法学実習 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			検査・測定論実習2（理） 検査・測定論2（理） 運動療法学実習 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究						
専	講師	上原 信太郎 ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）	専	講師	上原 信太郎 ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）	専	講師	上原 信太郎 ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）						
		客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>運動学実習</b> <b>コンピュータプログラミング</b> <b>※</b> <b>物理療法学実習</b>						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	三浦 恵二 <平成31年4月> 博士(理学)	専	講師	三浦 恵二 <平成31年4月> 博士(理学)	専	講師	三浦 恵二 <平成31年4月> 博士(理学)						
		化学			化学			化学						
専	講師	清野 溪 <平成31年4月> 修士(経営学)	専	講師	清野 溪 <平成31年4月> 修士(経営学)	専	講師	清野 溪 <平成31年4月> 修士(経営学)						
		医学英語			医学英語			医学英語 英語2※ 国際医学概論※						
専	講師	山田 将之 <平成31年4月> 博士(医療科学) 修士(医療・福祉マネジメント学)	専	講師	山田 将之 <平成31年4月> 博士(医療科学) 修士(医療・福祉マネジメント学)	専	講師	山田 将之 <平成31年4月> 博士(医療科学) 修士(医療・福祉マネジメント学)						
		作業療法理論 作業療法治療学2-中枢2 作業療法治療学5-整形1 スプリント スプリント製作実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			作業療法理論 作業療法治療学2-中枢2 作業療法治療学5-整形1 スプリント スプリント製作実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			作業療法理論 作業療法治療学2-中枢2 作業療法治療学5-整形1 スプリント製作実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 レクリエーション・セラピー※						
			専	講師	小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)	専	講師	小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)						
					検査測定論1(理) 検査測定論実習1(理) 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータープログラミング 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			検査測定論1-(理)- 検査測定論実習1-(理)- 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータープログラミング※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 リハビリテーション工学※ 検査測定論実習2(理) 物理療法学※						
			専	講師		専	講師	高橋 宏 <平成31年4月> 学士(工学)						
								理学療法研究概論※ 作業療法研究概論※						
			専	講師		専	講師	Zaid Bin Abdullah <平成31年8月>						
								医学英語 言語病理学※ 国際医学概論※						
専	助教	伊藤 美保子 <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	専	助教	伊藤 美保子 <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	専	助教	伊藤 美保子 <平成31年4月> 修士(社会福祉学)						
		社会福祉学 基礎作業学 職業関連活動学 作業療法治療学8-精神障害 作業療法治療学演習2-精神障害			社会福祉学 基礎作業学 職業関連活動学 作業療法治療学8-精神障害 作業療法治療学演習2-精神障害			社会福祉学 基礎作業学 職業関連活動学 作業療法治療学8-精神障害 作業療法治療学演習2-精神障害						
専	助教	阿部 祐子 <平成31年4月> 修士(学術)	専	助教	阿部 祐子 <平成31年4月> 修士(学術)	専	助教	阿部 祐子 <平成31年4月> 修士(学術)						
		日常生活活動学実習(作) 作業療法治療学1-中枢1 作業療法治療学演習1-中枢 作業療法治療学10-小児			日常生活活動学実習(作) 作業療法治療学1-中枢1 作業療法治療学演習1-中枢 作業療法治療学10-小児			日常生活活動学実習(作) 作業療法治療学1-中枢1 作業療法治療学演習1-中枢 作業療法治療学10-小児						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専 助教		前田 晃子 <平成31年4月> 修士(保健学)	専 助教		前田 晃子 <平成31年4月> 博士(医学科学) 修士(保健学)	専 助教		前田 晃子 <平成31年4月> 博士(医学科学) 修士(保健学)						
		作業療法評価演習 検査測定論実習 1 (作) 作業療法治療学 3-中核 3 作業学 1-基盤工・藤細工			作業療法評価演習 検査測定論実習 1 (作) 作業療法治療学 3-中核 3 作業学 1-基盤工・藤細工			作業療法評価演習 検査測定論実習 1 (作) <b>作業療法治療学 3-中核 3</b> 作業学 1-基盤工・藤細工※ <b>検査・測定論 1 (作)※</b> <b>日常生活活動学 (作)</b>						
専 助教		保木本 のぞみ <平成31年4月> 修士(学術)	専 助教		保木本 のぞみ <平成31年4月> 修士(学術)	専 助教		保木本 のぞみ <平成31年4月> 修士(学術)						
		作業療法治療学 7・内部障害 検査測定論 2 (作) 検査測定論実習 2 (作)			作業療法治療学 7・内部障害 検査測定論 2 (作) 検査測定論実習 2 (作)									
専 助教		小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)	専 助教			専 助教								
		検査測定論 1 (理) 検査測定論実習 1 (理) 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータプログラミング												
			専 助教		桂華 麻希 <平成31年4月> 修士(教育学)	専 助教		桂華 麻希 <平成31年4月> 修士(教育学)						
					スポーツ・健康科学			スポーツ・健康科学※						
			専 助教		藤村 健太 <平成31年4月> 修士(保健学)	専 助教		藤村 健太 <平成31年4月> 修士(保健学)						
					解剖学実習 生理学実習 運動学実習 表面解剖学(作) 日常生活活動学実習(作)			解剖学実習 生理学実習 運動学実習 表面解剖学(作) 日常生活活動学実習(作) 検査測定論 2 (作)						
			専 助教			専 助教		土山 和大 <平成31年4月> 修士(学術)						
								運動療法実習 理学療法治療学1-中核1※ 物理療法実習						
			専 助教			専 助教		会津 直樹 <平成31年4月> 博士(障害科学)						
								解剖学 2 ※ 解剖学実習 運動解剖学演習 生理学実習 表面解剖学(場)※						
			専 助教			専 助教		北村 新 <令和2年4月> 修士(作業療法学)						
								運動学実習 検査測定論実習 2 (作) 作業療法治療学 3-中核 3 ※						
			専 助教			専 助教		吉田 太樹 <令和2年4月> 修士(リハビリテーション)						
								運動学実習 検査測定論実習 1 (作) 作業学 1-基盤工・藤細工※						
			専 助教			専 助教		栗飯原 けい子 <令和2年4月> 修士(保健学)						
								言語機能学※ 言語病理学※						







専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	平野 哲 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	平野 哲 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	平野 哲 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		救急医学※			救急医学※			救急医学※ 運動学3※						
兼任	准教授	松永 慎史 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	松永 慎史 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授							
		精神医学1※			精神医学1※									
兼任	准教授	前田 寛文 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	前田 寛文 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	前田 寛文 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		整形外科科学1※			整形外科科学1※			整形外科科学1※ 整形外科科学2※						
兼任	准教授	村井 美代 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	村井 美代 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	村井 美代 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		一般臨床医学※			一般臨床医学※			一般臨床医学※						
兼任	准教授	大原 寛之 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	大原 寛之 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	大原 寛之 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		一般臨床医学※			一般臨床医学※			一般臨床医学※						
兼任	准教授	梅沢 栄三 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	梅沢 栄三 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	梅沢 栄三 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）						
		物理学			物理学			物理学						
兼任	准教授	堀内（後藤） ちとせ ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	准教授	堀内（後藤） ちとせ ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	准教授	堀内（後藤） ちとせ ＜平成31年4月＞ 修士（文学）						
		英語2※			英語2※			英語2※ 英語1※						
兼任	准教授	服部 しのぶ ＜平成31年4月＞ M.A in Applied Linguistics	兼任	准教授	服部 しのぶ ＜平成31年4月＞ M.A in Applied Linguistics	兼任	准教授	服部 しのぶ ＜平成31年4月＞ M.A in Applied Linguistics						
		英語1			英語1			英語1※						
兼任	准教授	星野 弘喜 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	星野 弘喜 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	星野 弘喜 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）						
		統計学			統計学 数学			統計学 数学						
						兼任	准教授	酒井 一由 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								解剖学実習 国際医学概論※						
						兼任	准教授	川崎 俊 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								一般臨床医学※						
						兼任	准教授	奥村 武剛 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								精神医学2※						
						兼任	准教授	楠田 仁子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								小児科学※						



専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	荒川 千明 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	荒川 千明 <令和2年4月> 博士(医学)									
		精神医学1※			精神医学1※									
兼任	講師	小川 真央 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師	小川 真央 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師	小川 真央 <令和2年4月> 学士(医学)						
		内科学※			内科学※			内科学※ 整形外科1※						
兼任	講師	角田 哲也 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	角田 哲也 <令和2年4月> 博士(医学)									
		整形外科1※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※			整形外科1※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※									
兼任	講師	松本 祐嗣 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師	松本 祐嗣 <令和2年4月> 学士(医学)									
		小児科学※			小児科学※									
兼任	講師	眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師	眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)									
		小児科学※			小児科学※									
兼任	講師	三浦 浩樹 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師	三浦 浩樹 <令和2年4月> 学士(医学)									
		小児科学※			小児科学※									
兼任	講師	三宅 未紗 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師	三宅 未紗 <令和2年4月> 学士(医学)									
		小児科学※			小児科学※									
兼任	講師	伊藤 桜子 <平成31年4月> 修士(健康心理学)	兼任	講師	伊藤 桜子 <平成31年4月> 修士(健康心理学)									
		臨床心理学			臨床心理学									
								山下 通敬 <令和2年4月> 博士(医学)						
						兼任	講師	一般臨床医学※						
								木曾 昭史 <令和2年4月> 博士(医学)						
						兼任	講師	内科学※						
								渡邊 克章 <令和2年4月> 博士(医学)						
						兼任	講師	内科学※						
								竹尾 淳美 <令和2年4月> 博士(医学)						
						兼任	講師	整形外科2※						





専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	欧陽 憶葎 ＜平成31年4月＞ 修士（法学）	兼任	講師	欧陽 憶葎 ＜平成31年4月＞ 修士（法学）	兼任	講師	欧陽 憶葎 ＜平成31年4月＞ 修士（法学）						
		中国語			中国語			中国語						
兼任	講師	杏岐 英正 ＜令和3年4月＞ 修士（保健学）	兼任	講師	杏岐 英正 ＜令和3年4月＞ 修士（保健学）	兼任	講師	杏岐 英正 ＜令和3年4月＞ 修士（保健学）						
		客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3			客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3			客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3						
兼任	講師	石田 直也 ＜令和2年4月＞ 学士（社会福祉学）	兼任	講師	石田 直也 ＜令和2年4月＞ 学士（社会福祉学）	兼任	講師	石田 直也 ＜令和2年4月＞ 学士（社会福祉学）						
		日常生活活動学実習（理） 日常生活活動学実習（作）			日常生活活動学実習（理） 日常生活活動学実習（作）			日常生活活動学実習（理） 日常生活活動学実習（作）						
兼任	講師	伊藤 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	伊藤 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	伊藤 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		運動学実習 表面解剖学（理）			運動学実習 表面解剖学（理）			運動学実習 表面解剖学（理）※						
兼任	講師	岡田 誠 ＜令和3年4月＞ 修士（保健衛生学）	兼任	講師	岡田 誠 ＜令和3年4月＞ 修士（保健衛生学）	兼任	講師	岡田 誠 ＜令和3年4月＞ 修士（保健衛生学）						
		理学療法治療学7-スポーツ			理学療法治療学7-スポーツ			理学療法治療学7-スポーツ※						
兼任	講師	深谷 直美 ＜令和2年4月＞ 学士（教養）	兼任	講師	深谷 直美 ＜令和2年4月＞ 学士（教養）									
		日常生活活動学（作）			日常生活活動学（作）									
兼任	講師	木村 圭佑 ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	兼任	講師	木村 圭佑 ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	兼任	講師	木村 圭佑 ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）						
		社会保障制度論			社会保障制度論			社会保障制度論						
兼任	講師	佐藤 元紀 ＜平成31年4月＞ 学士（文化創造）	兼任	講師	佐藤 元紀 ＜平成31年4月＞ 学士（文化創造）	兼任	講師	佐藤 元紀 ＜平成31年4月＞ 学士（文化創造）						
		作業療法概論			作業療法概論			作業療法概論※						
兼任	講師	長谷川 明美 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）												
		心理学												
兼任	講師	三谷 竜彦 ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	三谷 竜彦 ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	三谷 竜彦 ＜平成31年4月＞ 博士（文学）						
		生命倫理学			生命倫理学			生命倫理学						
兼任	講師	朝岡 昌史 ＜平成31年4月＞ 学士（法学）	兼任	講師	朝岡 昌史 ＜平成31年4月＞ 学士（法学）	兼任	講師	朝岡 昌史 ＜平成31年4月＞ 学士（法学）						
		社会福祉学			社会福祉学			社会福祉学						
兼任	講師	和田 陽介 ＜令和3年4月＞ 修士（生体情報学）	兼任	講師	和田 陽介 ＜令和3年4月＞ 修士（生体情報学）	兼任	講師	和田 陽介 ＜令和3年4月＞ 修士（生体情報学）						
		客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3			客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3			客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3						
兼任	講師	宮坂 裕之 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	宮坂 裕之 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	宮坂 裕之 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		作業療法教育・管理学概論			作業療法教育・管理学概論			作業療法教育・管理学概論※						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	三木 誠 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	三木 誠 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	三木 誠 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）						
		文化人類学			文化人類学			文化人類学						
			兼任	講師	Laurence Miles Hislop ＜平成31年4月＞ BA History (新聞)	兼任	講師	Laurence Miles Hislop ＜平成31年4月＞ BA History (新聞)						
					英語2※			英語2※						
			兼任	講師	中井 次介 ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）									
					教育学									
			兼任	講師	青柳 風紀子 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）	兼任	講師	青柳 風紀子 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）						
					心理学			心理学						
			兼任	講師	宮坂 ヘジーナ ＜平成31年4月＞ 修士	兼任	講師	宮坂 ヘジーナ ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）						
					ポルトガル語			ポルトガル語						
						兼任	講師	井土 康仁 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）						
								英語1※						
						兼任	講師	山上 周一 ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）						
								医療経営学※						
						兼任	講師	伊藤 秀樹 ＜令和2年4月＞						
								社会福祉学※						
					加賀 順子 ＜平成31年4月＞ 修士（医療・マネジメント学）	兼任	講師							
								社会福祉学※ 日常生活活動学（理） 日常生活活動学実習（理） 地域リハビリテーション学（理） 地域リハビリテーション学実習（理） 客観的臨床能力演習-1 客観的臨床能力演習-2 客観的臨床能力演習-3 基礎臨床見学実習 初期臨床実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究						
			兼任	講師	朔川 知子 ＜令和2年4月＞	兼任	講師							
					客観的臨床能力演習 1									
			兼任	講師	中野 有子 ＜令和2年4月＞ 学士（理学療法士）	兼任	講師							
					理学療法治療学10-小児※									
			兼任	講師	大河内 由紀 ＜令和2年4月＞ 学士（作業療法士）	兼任	講師							
					理学療法治療学10-小児※									





## 5 教員組織の状況

&lt;保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻&gt;

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)						
		理学療法治療学10-小児 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			理学療法治療学10-小児 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			理学療法治療学10-小児※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究						
専	教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	専	教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	専	教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)						
		理学療法治療学1-中級1 理学療法治療学3-中級3 運動学1※ 運動学2※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			理学療法治療学1-中級1 理学療法治療学3-中級3 運動学1 運動学2※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			理学療法治療学1-中級1※ 理学療法治療学3-中級3 運動学1※ 運動学2※ 理学療法特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究						
専	教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)	専	教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)	専	教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)						
		検査・測定論1(理) 検査・測定論実習1(理) 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			検査・測定論1(理) 検査・測定論実習1(理) 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			検査・測定論1(理)※ 検査・測定論実習1(理) 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究						
専	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	専	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	専	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)						
		医療経営学※ インターンシップ			医療経営学※ インターンシップ			医療経営学※ インターンシップ						
専	准教授	田辺 茂雄 <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション学)	専	准教授	田辺 茂雄 <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション学)	専	准教授	田辺 茂雄 <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション学)						
		基礎情報処理学 リハビリテーション工学 コンピュータプログラミング 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			基礎情報処理学 リハビリテーション工学 コンピュータプログラミング 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			基礎情報処理学※ リハビリテーション工学※ コンピュータプログラミング※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 <b>医用情報処理学※</b>						
専	准教授	西井 一宏 <平成31年4月> 博士(医学)	専	准教授	西井 一宏 <平成31年4月> 博士(医学)	専	准教授	西井 一宏 <平成31年4月> 博士(医学)						
		解剖学1※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習			解剖学1※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習			解剖学1※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習						



専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専 講師		鈴木 由佳理  <平成31年4月> 博士（医学）	専 講師		鈴木 由佳理  <平成31年4月> 博士（医学）	専 講師		鈴木 由佳理  <平成31年4月> 博士（医学）				専 講師		
		理学療法治療学4・整形1 物理療法 理学療法実習 理学療法評価演習 表面解剖（理） 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			理学療法治療学4・整形1 物理療法 理学療法実習 理学療法評価演習 表面解剖（理） 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			理学療法治療学4・整形1 <b>物理療法実習</b> <b>物理療法評価演習</b> <b>表面解剖（理）</b> 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 <b>日常生活活動学実習（理）</b> <b>理学療法治療学5・整形2</b> <b>理学療法治療学10・小児※</b> <b>地域リハビリテーション学実習（理）</b>						
専 講師		都築 晃  <平成31年4月> 博士（医学）	専 講師		都築 晃  <平成31年4月> 博士（医学）	専 講師		都築 晃  <平成31年4月> 博士（医学）				専 講師		
		理学療法教育・管理学概論 理学療法治療学9 内部障害 理学療法治療学8 呼吸 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			理学療法教育・管理学概論 理学療法治療学9 内部障害 理学療法治療学8 呼吸 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			理学療法教育・管理学概論 理学療法治療学9 内部障害 理学療法治療学8 呼吸 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 <b>地域リハビリテーション学（理）※</b>						
専 講師		松田 文浩  <平成31年4月> 博士（医学） 修士（学術）	専 講師		松田 文浩  <平成31年4月> 博士（医学） 修士（学術）	専 講師		松田 文浩  <平成31年4月> 博士（医学） 修士（学術）				専 講師		
		運動療法 理学療法治療学5・整形2 理学療法治療学6・徒手療法 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			運動療法 理学療法治療学5・整形2 理学療法治療学6・徒手療法 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			<b>運動療法</b> 理学療法治療学5・整形2 理学療法治療学6・徒手療法 <b>運動学実習</b> <b>客観的臨床能力演習1</b> <b>客観的臨床能力演習2</b> <b>客観的臨床能力演習3</b> <b>基礎臨床見学実習</b> <b>初期体験実習</b> <b>臨床実習</b> <b>応用臨地実習</b> <b>臨床研究</b>						
専 講師		谷川 広樹  <平成31年4月> 博士（医学） 修士（学術）	専 講師		谷川 広樹  <平成31年4月> 博士（医学） 修士（学術）	専 講師		谷川 広樹  <平成31年4月> 博士（医学） 修士（学術）				専 講師		
		検査・測定論実習2（理） 検査・測定論2（理） 運動療法実習 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			検査・測定論実習2（理） 検査・測定論2（理） 運動療法実習 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			検査・測定論実習2（理） 検査・測定論2（理） 運動療法実習 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究						
専 講師		上原 信太郎  <平成31年4月> 博士（人間・環境学）	専 講師		上原 信太郎  <平成31年4月> 博士（人間・環境学）	専 講師		上原 信太郎  <平成31年4月> 博士（人間・環境学）				専 講師		
		客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 <b>運動学実習</b> <b>コンピュータプログラミング※</b> <b>物理療法実習</b>						
専 講師		三浦 恵二  <平成31年4月> 博士（理学）	専 講師		三浦 恵二  <平成31年4月> 博士（理学）	専 講師		三浦 恵二  <平成31年4月> 博士（理学）				専 講師		
		化学			化学			化学						
専 講師		清野 溪  <平成31年4月> 修士（経営学）	専 講師		清野 溪  <平成31年4月> 修士（経営学）	専 講師		清野 溪  <平成31年4月> 修士（経営学）				専 講師		
		医学英語			医学英語			<b>医学英語</b> <b>英語2※</b> <b>国際医学概論※</b>						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)			小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)						
			専	講師	検査測定論1(理) 検査測定論実習1(理) 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータプログラミング 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	専	講師	検査測定論1(理) 検査測定論実習1(理) 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータプログラミング ※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 リハビリテーション工学※ 検査測定論実習2(理) 物理療法学						
								高橋 宏 <平成31年4月> 学士(工学)						
			専	講師	理学療法研究概論※									
		小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)												
専	助教	検査測定論1(理) 検査測定論実習1(理) 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータプログラミング												
								土山 和夫 <平成31年4月> 修士(学術)						
			専	助教	運動療法学実習 理学療法治療学1-中枢1※ 物理療法学実習									
								金津 直樹 <平成31年4月> 博士(障害科学)						
			専	助教	解剖学2※ 解剖学実習 機能解剖学演習 生理学実習 表面解剖学(理)※									
		鈴木 孝治 <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)			鈴木 孝治 <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)			鈴木 孝治 <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)						
兼任	教授	作業療法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	兼任	教授	作業療法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究	兼任	教授	作業療法概論※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)	生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習
兼任	教授	嘉藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士	国際医学概論
兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)	救急医学※ スポーツ・健康科学
兼任	教授	久保 明達 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(理学)	数学
兼任	教授	小野木 啓子 <令和2年4月> 博士(医学)	神経内科学1 神経内科学2 麻酔学 老年学
兼任	教授	青柳 陽一郎 <令和2年4月> 博士(医学)	リハビリテーション評価概論※
兼任	教授	伊藤 彰博 <令和2年4月> 博士(医学)	一般臨床医学※
兼任	教授	大高 洋平 <令和2年4月> 博士(医学)	スポーツ医学
兼任	教授	岡崎 英人 <令和2年4月> 博士(医学)	整形外科科学1※ 整形外科科学2※
兼任	教授	加賀谷 斉 <平成31年4月> 博士(医学)	リハビリテーション医学概論 運動学3
兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)	運動学2※
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)	生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習
兼任	教授	嘉藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士	国際医学概論
兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)	救急医学※ スポーツ・健康科学
兼任	教授	小野木 啓子 <令和2年4月> 博士(医学)	神経内科学1 神経内科学2 麻酔学 老年学
兼任	教授	青柳 陽一郎 <令和2年4月> 博士(医学)	リハビリテーション評価概論※
兼任	教授	伊藤 彰博 <令和2年4月> 博士(医学)	一般臨床医学※
兼任	教授	大高 洋平 <令和2年4月> 博士(医学)	スポーツ医学
兼任	教授	岡崎 英人 <令和2年4月> 博士(医学)	整形外科科学1※ 整形外科科学2※
兼任	教授	加賀谷 斉 <平成31年4月> 博士(医学)	リハビリテーション医学概論 運動学3
兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)	運動学2※
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)	生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習 <b>機能解剖学演習</b>
兼任	教授	嘉藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士	国際医学概論
兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)	救急医学※ スポーツ・健康科学※
兼任	教授	小野木 啓子 <令和2年4月> 博士(医学)	<b>神経内科学1</b> <b>神経内科学2</b> <b>麻酔学</b> <b>老年学</b> <b>一般臨床医学※</b>
兼任	教授	青柳 陽一郎 <令和2年4月> 博士(医学)	リハビリテーション評価概論※
兼任	教授	伊藤 彰博 <令和2年4月> 博士(医学)	一般臨床医学※
兼任	教授	大高 洋平 <令和2年4月> 博士(医学)	スポーツ医学
兼任	教授	岡崎 英人 <令和2年4月> 博士(医学)	整形外科科学1※ 整形外科科学2※
兼任	教授	加賀谷 斉 <平成31年4月> 博士(医学)	リハビリテーション医学概論 運動学3※
兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)	運動学2※
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)	生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習
兼任	教授	嘉藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士	国際医学概論
兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)	救急医学※ スポーツ・健康科学
兼任	教授	小野木 啓子 <令和2年4月> 博士(医学)	神経内科学1 神経内科学2 麻酔学 老年学
兼任	教授	青柳 陽一郎 <令和2年4月> 博士(医学)	リハビリテーション評価概論※
兼任	教授	伊藤 彰博 <令和2年4月> 博士(医学)	一般臨床医学※
兼任	教授	大高 洋平 <令和2年4月> 博士(医学)	スポーツ医学
兼任	教授	岡崎 英人 <令和2年4月> 博士(医学)	整形外科科学1※ 整形外科科学2※
兼任	教授	加賀谷 斉 <平成31年4月> 博士(医学)	リハビリテーション医学概論 運動学3
兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)	運動学2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	安倍 雅人 ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	安倍 雅人 ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	安倍 雅人 ＜平成31年4月＞ 医学博士						
		病理学			病理学			病理学						
兼任	教授	鈴木 康司 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	鈴木 康司 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	鈴木 康司 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		公衆衛生学			公衆衛生学			公衆衛生学※						
兼任	教授	鈴木 めぐみ ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション療法 学）	兼任	教授	鈴木 めぐみ ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション療法 学）	兼任	教授	鈴木 めぐみ ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション療法 学）						
		ポルトガル語 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			ポルトガル語 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			ポルトガル語 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 運動学実習						
			兼任	教授	福本 陽子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健学）	兼任	教授	福本 陽子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（保健学）						
					言語聴覚学 言語療法学 言語病理学※ 国際医学概論※			言語聴覚学※ 言語療法学 言語病理学※ 国際医学概論※						
			兼任	教授	太田 喜久夫 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	太田 喜久夫 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
					神経内科学 1 神経内科学 2			神経内科学 1 神経内科学 2						
兼任	教授	柴田 斉子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	柴田 斉子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	柴田 斉子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		内科学※ リハビリテーション評価概論※			内科学※ リハビリテーション評価概論※			内科学※ リハビリテーション評価概論 ※						
			兼任	教授	桂 長門 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	桂 長門 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					一般臨床医学※			一般臨床医学※						
			兼任	教授	向野 雅彦 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	向野 雅彦 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					運動学 3 ※			運動学 3 ※						
			兼任	教授	川井 嵩 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	川井 嵩 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					国際医学概論※			国際医学概論※						
			兼任	教授	井平 勝 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	井平 勝 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					国際医学概論※			国際医学概論※						
			兼任	教授	日比谷 信 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	日比谷 信 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					国際医学概論※			国際医学概論※						
			兼任	教授	中井 滋 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	中井 滋 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
					国際医学概論※			国際医学概論※						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	武田 湖太郎 ＜平成31年4月＞ 博士（保健医療学） 修士（工学）	兼任	准教授	武田 湖太郎 ＜平成31年4月＞ 博士（保健医療学） 修士（工学）	兼任	准教授	武田 湖太郎 ＜平成31年4月＞ 博士（保健医療学） 修士（工学）						
		リハビリテーション工学 医用情報処理学			リハビリテーション工学 医用情報処理学			リハビリテーション工学※ 医用情報処理学※ 基礎情報処理学※						
兼任	准教授	星野 弘喜 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	星野 弘喜 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	星野 弘喜 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）						
		統計学			統計学 数学			統計学 数学						
兼任	准教授	齋藤 竹生 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	齋藤 竹生 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	齋藤 竹生 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		精神医学1※			精神医学1※			精神医学1※						
兼任	准教授	趙 岳人 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	趙 岳人 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）									
		精神医学 2			精神医学 2									
兼任	准教授	平野 哲 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	平野 哲 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	平野 哲 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		救急医学※			救急医学※			救急医学※ 運動学 3 ※						
兼任	准教授	松永 慎史 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	松永 慎史 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）									
		精神医学 1 ※			精神医学 1 ※									
兼任	准教授	前田 寛文 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	前田 寛文 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	前田 寛文 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		整形外科 1 ※			整形外科 1 ※			整形外科 1 ※ 整形外科 2 ※						
兼任	准教授	村井 美代 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	村井 美代 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	村井 美代 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		一般臨床医学※			一般臨床医学※			一般臨床医学※						
兼任	准教授	大原 寛之 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	大原 寛之 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	大原 寛之 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		一般臨床医学※			一般臨床医学※			一般臨床医学※						
兼任	准教授	梅沢 栄三 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	梅沢 栄三 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	梅沢 栄三 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）						
		物理学			物理学			物理学						







専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任 講師		森 志乃 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任 講師		森 志乃 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任 講師		森 志乃 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		整形外科学 2 ※			整形外科学 2 ※			整形外科学 2 ※ リハビリテーション評価概論 ※						
兼任 講師		田辺 幸子 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（公衆衛生学）	兼任 講師		田辺 幸子 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（公衆衛生学）									
		異文化看護概論			異文化看護概論									
兼任 講師		赤堀 遼子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任 講師		赤堀 遼子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任 講師		赤堀 遼子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
		整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※			整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※			整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※						
兼任 講師		荒川 千明 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任 講師		荒川 千明 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）									
		精神医学 1 ※			精神医学 1 ※									
兼任 講師		小川 真央 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	兼任 講師		小川 真央 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	兼任 講師		小川 真央 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）						
		内科学※			内科学※			内科学※ 整形外科学 1 ※						
兼任 講師		角田 哲也 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任 講師		角田 哲也 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）									
		整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※			整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※									
兼任 講師		松本 祐嗣 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	兼任 講師		松本 祐嗣 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）									
		小児科学※			小児科学※									
兼任 講師		眞鍋 正彦 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	兼任 講師		眞鍋 正彦 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）									
		小児科学※			小児科学※									
兼任 講師		三浦 浩樹 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	兼任 講師		三浦 浩樹 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）									
		小児科学※			小児科学※									
兼任 講師		三宅 未紗 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	兼任 講師		三宅 未紗 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）									
		小児科学※			小児科学※									
兼任 講師		伊藤 桜子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康心理学）	兼任 講師		伊藤 桜子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康心理学）									
		臨床心理学			臨床心理学									

[illegible]

94





専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	三木 誠 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	三木 誠 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	三木 誠 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）						
		文化人類学			文化人類学			文化人類学						
			兼任	講師	Laurence Miles Hislop ＜平成31年4月＞ BA History （新聞）									
					英語2※									
			兼任	講師	中井 大介 ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）									
					教育学									
			兼任	講師	青柳 風紀子 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）	兼任	講師	青柳 風紀子 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）						
					心理学			心理学						
			兼任	講師	宮坂 ヘジーナ ＜平成31年4月＞ 修士	兼任	講師	宮坂 ヘジーナ ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）						
					ポルトガル語			ポルトガル語						
						兼任	講師	井土 康仁 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）						
								英語1※						
						兼任	講師	山上 潤一 ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）						
								医療経営学※						
						兼任	講師	伊藤 秀樹 ＜令和2年4月＞						
								社会福祉学※						
						兼任	講師	加賀 順子 ＜平成31年4月＞ 修士（医療・マネジメント学）						
								社会福祉学※ 日常生活活動学（理） 日常生活活動学実習-（理）- 地域リハビリテーション学 -（理）- 地域リハビリテーション学実 習-（理）- 客観的臨床能力演習1- 客観的臨床能力演習2- 客観的臨床能力演習3- 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究						
			兼任	講師	淵川 知子 ＜令和2年4月＞									
					客観的臨床能力演習 1									

[illegible]

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

① 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に基いて作成してください。

② 「認可申請又は届出申請」には 設置届出書又は届出申請の教員全て(兼任、兼教科教員を含む。)を黒字で記入してください。

③ 一方で、**置出申請又は届出申請から変更となつた箇所は赤字の赤字**として記入してください。

④ 各欄の作成方法は「大学の設置関係に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。

⑤ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の年齢**を記入してください。

⑥ 専任(専門職)等は専任、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼専の順に記入してください。

⑦ 不平等な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の場合は適宜削除し、括弧ください。



## 5 教員組織の状況

&lt;保健衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻&gt;

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	鈴木 孝治 <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	専	教授	鈴木 孝治 <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)	専	教授	鈴木 孝治 <平成31年4月> 博士(教育学) 修士(リハビリテーション)						
		作業療法概論 作業療法教育・管理学概論 作業療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			作業療法概論 作業療法教育・管理学概論 作業療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			作業療法概論※ 作業療法教育・管理学概論※ 作業療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>作業療法治療学7-内部障害</b> <b>作業療法2-木工・陶芸</b>						
専	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)						
		生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習			生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習			生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習 <b>細胞解剖学実習</b>						
専	教授	鈴木 めぐみ <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)	専	教授	鈴木 めぐみ <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)	専	教授	鈴木 めぐみ <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)						
		ポルトガル語 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			<b>ポルトガル語</b> 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			<b>ポルトガル語</b> 検査・測定論3 作業療法治療学4-中核4 作業療法研究法概論※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>運動学実習</b> <b>作業療法治療学3-中核3</b>						
専	教授	稲本 陽子 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	専	教授	稲本 陽子 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	専	教授	稲本 陽子 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)						
		言語機能学 言語療法学 言語病理学			言語機能学 言語療法学 言語病理学			言語機能学※ 言語療法学 言語病理学※ <b>副麻薬学概論※</b>						
専	准教授	武田 湖太郎 <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	専	准教授	武田 湖太郎 <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	専	准教授	武田 湖太郎 <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)						
		リハビリテーション工学 医用情報処理学			リハビリテーション工学 医用情報処理学			リハビリテーション工学※ 医用情報処理学※ <b>基礎情報処理学※</b>						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	渡辺 章由 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）	専	講師	渡辺 章由 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）	専	講師	渡辺 章由 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）						
		検査・測定論1（作） 表面解剖学（作） 作業療法治療学9・老年期 地域リハビリテーション学 （作） 地域リハビリテーション学実習 （作） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			検査・測定論1（作） 表面解剖学（作） 作業療法治療学9・老年期 地域リハビリテーション学 （作） 地域リハビリテーション学実習 （作） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			検査・測定論1（作）※ <b>表面解剖学（作）</b> 作業療法治療学9・老年期 地域リハビリテーション学 （作） 地域リハビリテーション学実習 （作） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究						
専	講師	杉山 智久 <平成31年4月> 修士（学術）	専	講師	杉山 智久 <平成31年4月> 修士（学術）									
		運動学管理論 レクリエーションセラピー 解剖学2※ 解剖学実習 作業療法治療学6-整形2 作業学2-木工・陶芸 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			運動学管理論 レクリエーションセラピー 解剖学2※ 解剖学実習 作業療法治療学6-整形2 作業学2-木工・陶芸 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究									
専	講師	山田 将之 <平成31年4月> 博士（医療科学） 修士（医療・福祉マネジメント 学）	専	講師	山田 将之 <平成31年4月> 博士（医療科学） 修士（医療・福祉マネジメント 学）	専	講師	山田 将之 <平成31年4月> 博士（医療科学） 修士（医療・福祉マネジメント 学）						
		作業療法理論 作業療法治療学2-中枢2 作業療法治療学5-整形1 スプリント スプリント製作実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			作業療法理論 作業療法治療学2-中枢2 作業療法治療学5-整形1 スプリント スプリント製作実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究			作業療法理論 作業療法治療学2-中枢2 作業療法治療学5-整形1 スプリント スプリント製作実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究 <b>レクリエーション・セラピー ※</b>						
						専	講師	<b>Zaid Bin Abdullah</b> <b>&lt;平成31年8月&gt;</b>						
								<b>医学英語</b> <b>言語病理学※</b> <b>国際医学概論※</b>						
専	助教	伊藤 美保子 <平成31年4月> 修士（社会福祉学）	専	助教	伊藤 美保子 <平成31年4月> 修士（社会福祉学）	専	助教	伊藤 美保子 <平成31年4月> 修士（社会福祉学）						
		社会福祉学 基礎作業学 職業関連活動学 作業療法治療学8-精神障害 作業療法治療学演習2-精神障 害			社会福祉学 基礎作業学 職業関連活動学 作業療法治療学8-精神障害 作業療法治療学演習2-精神障 害			<b>社会福祉学</b> 基礎作業学 職業関連活動学 作業療法治療学8-精神障害 作業療法治療学演習2-精神障 害						
専	助教	阿部 祐子 <平成31年4月> 修士（学術）	専	助教	阿部 祐子 <平成31年4月> 修士（学術）	専	助教	阿部 祐子 <平成31年4月> 修士（学術）						
		日常生活活動学実習（作） 作業療法治療学1-中枢1 作業療法治療学演習1-中枢 作業療法治療学10-小児			日常生活活動学実習（作） 作業療法治療学1-中枢1 作業療法治療学演習1-中枢 作業療法治療学10-小児			日常生活活動学実習（作） 作業療法治療学1-中枢1 作業療法治療学演習1-中枢 作業療法治療学10-小児						





専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	加賀谷 斉 <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	加賀谷 斉 <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	加賀谷 斉 <平成31年4月> 博士(医学)			
		リハビリテーション医学概論 運動学3			リハビリテーション医学概論 運動学3			リハビリテーション医学概論 運動学3※			
兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)			
		運動学2※			運動学2※			運動学2※			
兼任	教授	安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士			
		病理学			病理学			病理学			
兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)			
		公衆衛生学			公衆衛生学			公衆衛生学※			
			兼任	教授	太田 喜久夫 <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	太田 喜久夫 <平成31年4月> 博士(医学)			
					神経内科学1 神経内科学2			神経内科学1 神経内科学2			
兼任	教授	柴田 斉子 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	柴田 斉子 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	柴田 斉子 <令和2年4月> 博士(医学)			
		内科学※ リハビリテーション評価概論※			内科学※ リハビリテーション評価概論※			内科学※ リハビリテーション評価概論※			
						兼任	教授	桂 長門 <令和2年4月> 博士(医学)			
								一般臨床医学※			
						兼任	教授	向野 雅彦 <令和2年4月> 博士(医学)			
								運動学3※			
						兼任	教授	川井 富 <令和2年4月> 博士(医学)			
								国際医学概論※			
						兼任	教授	井平 勝 <令和2年4月> 博士(医学)			
								国際医学概論※			
						兼任	教授	日比谷 信 <令和2年4月> 博士(医学)			
								国際医学概論※			
						兼任	教授	中井 滋 <令和2年4月> 博士(医学)			
								国際医学概論※			











専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任 講師		都築 晃 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任 講師		都築 晃 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任 講師		都築 晃 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）						
		客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究						
兼任 講師		松田 文浩 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）	兼任 講師		松田 文浩 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）									
		客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究									
兼任 講師		谷川 広樹 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）	兼任 講師		谷川 広樹 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）	兼任 講師		谷川 広樹 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 修士（学術）						
		客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究						
兼任 講師		三浦 恵二 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任 講師		三浦 恵二 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任 講師		三浦 恵二 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）						
		化学			化学			化学						
兼任 講師		清野 溪 ＜平成31年4月＞ 修士（経営学）	兼任 講師		清野 溪 ＜平成31年4月＞ 修士（経営学）	兼任 講師		清野 溪 ＜平成31年4月＞ 修士（経営学）						
		医学英語			医学英語			医学英語 英語 2 ※ 国際医学概論 ※						
		小山 総市朗 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（保健学）	兼任 講師		小山 総市朗 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（保健学）	兼任 講師		小山 総市朗 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（保健学）						
		運動学実習 コンピュータープログラミング ※ 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究			運動学実習 コンピュータープログラミング ※ 客観的臨床能力演習 1 客観的臨床能力演習 2 客観的臨床能力演習 3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 リハビリテーション工学 ※									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森 志乃 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 2 ※
兼任	講師	田辺 幸子 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（公衆衛生学）	異文化看護概論
兼任	講師	赤堀 遼子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※
兼任	講師	荒川 千明 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	精神医学 1 ※
兼任	講師	小川 真央 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	内科学※
兼任	講師	角田 哲也 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※
兼任	講師	松本 祐嗣 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	小児科学※
兼任	講師	眞鍋 正彦 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	小児科学※
兼任	講師	三浦 浩樹 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	小児科学※
兼任	講師	三宅 未紗 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	小児科学※
兼任	講師	伊藤 桜子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康心理学）	臨床心理学
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森 志乃 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 2 ※
兼任	講師	田辺 幸子 ＜平成31年4月＞ 博士（看護学） 修士（公衆衛生学）	異文化看護概論
兼任	講師	赤堀 遼子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※
兼任	講師	荒川 千明 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	精神医学 1 ※
兼任	講師	小川 真央 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	内科学※
兼任	講師	角田 哲也 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※
兼任	講師	松本 祐嗣 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	小児科学※
兼任	講師	眞鍋 正彦 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	小児科学※
兼任	講師	三浦 浩樹 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	小児科学※
兼任	講師	三宅 未紗 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	小児科学※
兼任	講師	伊藤 桜子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康心理学）	臨床心理学
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森 志乃 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 2 ※ リハビリテーション評価概論※
兼任	講師	赤堀 遼子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※
兼任	講師	小川 真央 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	内科学※ 整形外科学 1 ※
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森 志乃 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 2 ※ リハビリテーション評価概論※
兼任	講師	赤堀 遼子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※
兼任	講師	小川 真央 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	内科学※ 整形外科学 1 ※
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森 志乃 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 2 ※ リハビリテーション評価概論※
兼任	講師	赤堀 遼子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	整形外科学 1 ※ リハビリテーション評価概論※ 内科学※
兼任	講師	小川 真央 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	内科学※ 整形外科学 1 ※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	小山 総市朗 ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 修士（保健学）												
		運動学実習 コンピュータープログラミング												
						兼任	講師	高橋 宏 ＜平成31年4月＞ 学士（工学）						
								作業療法研究概論※						
						兼任	講師	山下 通敏 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								一般臨床医学※						
						兼任	講師	木曾 昭史 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								内科学※						
						兼任	講師	渡邊 克章 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								内科学※						
						兼任	講師	竹尾 淳典 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								整形外科2※						
						兼任	講師	谷口 寛 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								精神医学1※						
						兼任	講師	小野 敏明 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								精神医学1※						
						兼任	講師	佐久間 健二 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								精神医学1※						
						兼任	講師	松川 昇平 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）						
								小児科学※						

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
職名	職名	職名	職名	職名	職名	職名	職名	職名	職名
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
				兼任 講師	千手 佑樹 ＜令和2年4月＞ 修士（医学）				
					リハビリテーション評価概論※				
				兼任 講師	藤堀 英嗣 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）				
					国際医学概論※				
				兼任 講師	Lo Nguyen Kim Ngan ＜令和2年4月＞ 修士（人間環境学）				
					国際医学概論※				
兼任 助教	村田 幸則 ＜令和4年4月＞ 修士（情報管理学）	兼任 助教	村田 幸則 ＜令和4年4月＞ 修士（情報管理学）						
	医療経営学※		医療経営学※						
兼任 助教	坂田 裕介 ＜令和4年4月＞ 修士（保健学）	兼任 助教	坂田 裕介 ＜令和4年4月＞ 修士（保健学）						
	医療経営学※		医療経営学※						
				兼任 助教	会津 直樹 ＜平成31年4月＞ 博士（障害科学）				
					解剖学 2 解剖学実習 機能解剖学演習 生理学実習				
				兼任 助教	牧野 駿 ＜令和2年4月＞ 修士（医学）				
					内科学※				
				兼任 助教	佐々木 駿 ＜令和2年4月＞ 修士（医学）				
					内科学※				
				兼任 助教	竹内 正樹 ＜令和2年4月＞ 修士（医学）				
					精神医学 2 ※				
				兼任 助教	藤田 明星 ＜令和2年4月＞ 修士（医学）				
					精神医学 2 ※				
				兼任 助教	伊藤 健太 ＜令和2年4月＞ 修士（医学）				
					精神医学 2 ※				
				兼任 助教	藤井 亮輔 ＜令和2年4月＞ 博士（医療科学）				
					公衆衛生学※				
				兼任 教授	滝川 隆 ＜令和2年4月＞				
					英語 1 ※				



113





専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					杉山 智久 ＜平成31年4月＞ 修士（学術）						
			兼任	講師	運動学習理論 レクリエーションセラピー 解剖学Ⅱ※ 解剖学実習 作業療法治療学Ⅵ-整形Ⅱ 作業学Ⅱ-木工-陶芸 客観的臨床能力演習Ⅰ 客観的臨床能力演習Ⅱ 客観的臨床能力演習Ⅲ 基礎臨床見学実習 初級体験実習 臨床実習 応用臨床実習 臨床研究						

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ー②担当教員表に関する変更内容(リハビリテーション学科)

【令和元年度】

- ・久保明達教授の退職により、「数学」を兼任教員の星野弘喜准教授に変更した(令和4年度より専任)。
- ・専門性の深化を図るため、「スポーツ・健康科学」の担当教員を羽田道信兼任教員から、羽田道信兼任教員、桂華麻希助教に変更。
- ・長谷川明美兼任講師の退職により「心理学」を兼任教員の青柳真紀子講師に変更した。
- ・石川道夫兼任講師の退職により「教育学」を兼任教員の中井大介講師に変更した。
- ・Christopher Richard Donaldson 兼任講師の退職により「英語2」をLaurence Miles Hislop講師に変更した。
- ・専門性の深化を図るため、「ポルトガル語」を鈴木めぐみ教授から、宮坂ヘジナ講師に変更し、兼任として追加。
- ・提出時の記載誤りにより【認可時又は届出時】における専任教員米本倉基教授の年齢を59から56歳に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「神経内科学1」「神経内科学2」を小野木啓子教授から、太田喜久夫教授に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「解剖学実習」の教員配置を山田晃司教授、西井一宏准教授、杉山智久講師、藤村健太助教に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「生理学実習」の教員配置を山田晃司教授、西井一宏准教授、藤村健太助手、太田皓文助手から山田晃司教授、西井一宏准教授、藤村健太助教、太田皓文助手に変更。
- ・担当教員の職位変更、および留学による不在のため、「運動学実習」の教員配置を金田嘉清教授、横田元実講師、小山総市朗助教、土山和大助手、太田皓文助手、渡哲郎助手、藤村健太助手から金田嘉清教授、横田元実講師、小山総市朗講師、藤村健太助教、太田皓文助手、渡哲郎助手に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「コンピュータープログラミング」の教員配置を田辺茂雄准教授、小山総市朗助教から田辺茂雄准教授、小山総市朗講師に変更。
- ・担当教員の職位変更および申請時記載誤りの修正により、「客観的臨床能力演習1」の教員配置は金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習2」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習3」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更および申請時記載誤りの修正により、「臨床研究」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「表面解剖学(作)」の教員配置を藤村健太助手から藤村健太助教に変更。
- ・職位の変更により、「検査・測定論1(理)」担当の櫻井宏明教授と小山総市朗助教から、櫻井宏明教授と小山総市朗講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「検査・測定論実習1(理学)」担当の櫻井宏明教授と小山総市朗助教から、櫻井宏明教授と小山総市朗講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「運動療法学」の教員配置を小山総市朗助教から、小山総市朗講師に変更。
- ・担当教員の留学による不在により、「運動療法学実習」の教員配置を谷川広樹講師、土山和大助手から谷川広樹講師に変更。
- ・担当教員の留学による不在により、「物理療法学実習」の教員配置を鈴木由佳理講師、土山和大助手から鈴木由佳理講師に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「日常生活活動学実習(作)」の教員配置を阿部祐子助教、藤村健太助手から阿部祐子助教、藤村健太助教に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「基礎臨床見学実習」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「初期体験実習」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「臨床実習」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「応用臨床実習」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・申請時記載誤りの修正により、「医療経営学」の教員配置で、坂田裕介助教、村田幸則助教を兼任教員へ変更。
- ・提出時の記載漏れにより、稲本陽子教授を兼任として追加(5(2)ー①理学)。
- ・提出時の記載漏れにより、金田嘉清教授を兼任として追加(5(2)ー①作業)。
- ・提出時の記載漏れにより、櫻井宏明教授を兼任として追加(5(2)ー①作業)。
- ・提出時の記載漏れにより、上原信太郎講師を兼任として追加(5(2)ー①作業)。

【令和２年度】

- ・専任教員として、高橋宏講師、Zaid Bin Abdullah講師、土山和大助教、会津直樹助教、北村新助教、吉田太樹助教、栗飯原けい子助教を追加。
- ・兼任教員として、桂長門教授、向野雅彦教授、川井薫教授、井平勝教授、日比谷信教授、中井滋教授、金平連教授、加藤好光准教授、酒井一理准教授、大原寛之准教授、川崎俊准教授、奥村武則准教授、幡田仁子准教授、藤野正之准教授、河村吉紀准教授、中島葉子准教授、齋藤和由准教授、大橋篤准教授、林直樹准教授、村井はるか准教授、朝居朋子准教授、山下通教講師、木曾昭史講師、渡邊克章講師、竹尾淳美講師、谷口賢講師、小野義明講師、佐久間健二講師、松川昇平講師、松川昇平講師、千手佑樹講師、藤垣英嗣講師、Le Nguyen講師、牧野穂助教、佐々木駿助教、竹内正樹助教、藤田明里助教、伊藤健太助教、藤井亮輔助教を追加。
- ・兼任教員として、滝川睦教授、Zaliha Omar教授、前島伸一郎教授、三輪弘美教授、富田昌夫教授、井土康仁講師、山上潤一講師、伊藤秀樹講師、粥川知子講師、中野有子講師、大河内由紀講師、池田寛講師、野々山紗矢果講師、本谷郁雄講師、尾形宗士郎講師、武田和也助教、守川恵助助教を追加。
- ・小野木啓子教授が兼任教員から専任教員へ配置変更となり、「義肢学」と「老年学」を担当。
- ・伊藤桜子講師が兼任教員から専任教員へ配置変更となり、講師から准教授へ職位変更。
- ・坂田裕介助教が兼任教員から兼任教員へ配置変更。
- ・尾関恩講師が講師から准教授へ職位変更。
- ・奥村庄次講師が講師から教授へ職位変更。
- ・中井大介講師が講師から准教授へ職位変更。
- ・杉山智久講師の退職により、専任教員から兼任教員に配置変更となり、「レクリエーション・セラピー」は山田将之講師、三輪弘美教授、「解剖学2」は山田晃司教授、会津直樹助教、「解剖学実習」は山田晃司教授、西井一宏准教授、会津直樹助教、兼任教員の酒井一由准教授、加藤好光准教授、「作業学2-木工・陶芸」は鈴木孝治教授へ変更。
- ・加賀順子講師の退職により、専任教員から兼任教員に配置変更となり、「日常生活活動学実習（理）」は鈴木由佳理講師と兼任教員の石田直也講師、「地域リハビリテーション学（理）」は都築晃講師と兼任教員の野々山紗矢果講師と池田寛講師、「地域リハビリテーション学実習（理）」は鈴木由佳理講師へ変更。
- ・保木本のぞみ助教の産後休暇のため、「作業療法治療学7・内部障害」は鈴木孝治教授、「検査測定論2（作）」は藤村健太助教、検査測定論実習2（作）」は北村新助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「運動療法学」の担当教員を松田文浩講師から小山総市朗講師に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「機能解剖学実習」の担当教員を西井一宏准教授に山田晃司教授と会津直樹助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「英語1」の担当教員を服部しのぶ准教授に堀内（後藤）ちとせ准教授、滝川睦教授、井土康仁講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「英語2」の担当教員を堀内（後藤）ちとせ准教授とLaurence Miles Hislop講師に清野溪講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「医学英語」の担当教員を清野溪講師からZaid Bin Abdullah講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「生理学実習」の担当教員を山田晃司教授と西井一宏准教授に会津直樹を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「運動学3」の担当教員を加賀谷斉教授に向野雅彦教授と平野哲准教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「運動学実習」の担当教員を金田嘉清教授、鈴木めぐみ教授、松田文浩講師、横田元実講師、小山総市朗講師、上原信太郎講師、藤村健太助教、北村新助教、吉田太樹助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「一般臨床医学」の担当教員を伊藤彰博教授、尾関恩准教授、大原寛之准教授から小野木啓子教授、尾関恩准教授、桂長門教授、村井美代准教授、大原寛之准教授、川崎俊准教授、山下通教講師、Zaliha Omar教授へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「内科学」の担当教員を尾関恩准教授、柴田斉子准教授、角田哲也講師、小川真央講師、赤堀遼子講師から尾関恩准教授、柴田斉子准教授、小川真央講師、木曾昭史講師、渡邊克章講師、佐々木駿助教、牧野穂助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「整形外科学」の担当教員を尾関恩准教授、岡崎英人教授、前田寛文准教授、赤堀遼子講師、角田哲也講師から尾関恩准教授、岡崎英人教授、前田寛文准教授、赤堀遼子講師、小川真央講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「整形外科学2」の担当教員を尾関恩准教授、岡崎英人教授、森志乃講師に前田寛文准教授、竹尾淳美講師、Zaliha Omar教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「精神医学」の担当教員を齋藤竹生准教授、松永慎史准教授、荒川千明講師から齋藤竹生准教授、小野義明講師、佐久間健二講師、谷口賢講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「精神医学2」の担当教員を趙超人准教授から奥村武則准教授、竹内正樹助教、藤田明里助教、伊藤健太助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「小児科学」の担当教員を松本祐嗣講師、眞鍋正彦講師、三浦浩樹講師、三宅未紗講師から幡田仁子准教授、藤野正之准教授、河村吉紀准教授、中島葉子准教授、齋藤和由准教授、松川昇平講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「公衆衛生学」の担当教員を鈴木康司教授に藤井亮輔助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「救急医学」の担当教員を羽田道信教授、平野哲准教授に前島伸一郎教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「基礎情報処理学」の担当教員を田辺茂雄准教授に武田湖太郎准教授、小山総市朗講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「医用情報処理学」の担当教員を武田湖太郎准教授に田辺茂雄准教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「コンピュータプログラミング」の担当教員を田辺茂雄准教授、小山総市朗講師に上原信太郎講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「医療経営学」の担当教員を米本倉基教授に山上潤一講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「言語機能学」の担当教員を稲本陽子教授に栗飯原けい子助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「言語病理学」の担当教員を稲本陽子教授に栗飯原けい子助教、Zaid Bin Abdullah講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「リハビリテーション評価概論」の担当教員を青柳陽一郎教授、尾関恩准教授、柴田斉子准教授、赤堀遼子講師、角田哲也講師から青柳陽一郎教授、尾関恩准教授、赤堀遼子講師、森志乃講師、千手佑樹講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「社会福祉学」の担当教員を加賀順子講師、伊藤美保子助教、朝岡昌史講師から加賀順子講師、朝岡昌史講師、伊藤秀樹講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「客観的臨床能力演習1」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師、粥川知子講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「客観的臨床能力演習2」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師、富田昌夫教授、壹岐英正講師、和田陽介講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「客観的臨床能力演習3」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師、富田昌夫教授、壹岐英正講師、和田陽介講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「臨床研究」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「理学療法研究概論」の担当教員を大塚圭准教授に高橋宏講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「表面解剖学（理）」の担当教員を鈴木由佳理講師、伊藤直樹講師から伊藤直樹講師、会津直樹助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「作業療法研究概論」の担当教員を鈴木めぐみ教授に高橋宏講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「表面解剖学（作）」の担当教員を渡辺章由講師から藤村健太助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習1（理）」の担当教員を櫻井宏明教授、小山総市朗講師から櫻井宏明教授、本谷郁雄講師、武田和也助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論1（理）」の担当教員を櫻井宏明教授、小山総市朗講師から櫻井宏明教授、本谷郁雄講師、武田和也助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習2（理）」の担当教員を谷川広樹講師に小山総市朗講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論1（作）」の担当教員を渡辺章由講師に前田晃子助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習1（作）」の担当教員を前田晃子助教に吉田太樹助教を追加。
- ・担当教員の職位変更により、「義肢・装具学実習」の担当教員を横田元実講師に奥村庄次教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「運動療法学実習」の担当教員を谷川広樹講師に土山和大助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学1-中枢」の担当教員を寺西利生教授に土山和大助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学7-スポーツ」の担当教員を岡田誠講師に守川恵助助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学10-小児」の担当教員を金田嘉清教授に鈴木由佳理講師、大河内由紀講師、中野有子講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「物理療法学」の担当教員を鈴木由佳理講師から小山総市朗講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「物理療法学実習」の担当教員を鈴木由佳理講師から上原信太郎講師、土山和大助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「日常生活活動学（作）」の担当教員を深谷直美講師から前田晃子助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「作業療法治療学3-中枢」の担当教員を前田晃子助教から鈴木めぐみ教授、北村新助教へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「基礎臨床見学実習」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「初期体験実習」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「臨床実習」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「応用臨床実習」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「国際医学概論」の担当教員を齋藤邦明教授から稲本陽子教授、大塚圭准教授、清野溪講師、Zaid Bin Abdullah講師、川井薫教授、井平勝教授、日比谷信教授、中井滋教授、金平連教授、大橋篤准教授、酒井一由准教授、林直樹准教授、村井はるか准教授、朝居朋子准教授、藤垣英嗣講師、Le Nguyen講師、辻岡勝美准教授へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「異文化看護論」の担当教員を田辺幸子講師から朝居朋子准教授へ変更。
- ・記載誤りにより【認可時又は届出時】及び【令和元年度】における兼任教員の柴田斉子准教授を教授に変更。

- （注） ・ 変更内容を簡略書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

## (2) 専任教員数等

## (2) ー① 設置基準上の必要専任教員数（リハビリテーション学科）

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
15	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

## (2) ー② 専任教員数【大学】（リハビリテーション学科）

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
8	5	13	5	31	4	9	7	13	10	39	3
(8)	(5)	(13)	(5)	(31)	(4)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
9	7	13	11	40	3	9	7	13	11	40	3
[ 1 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	[ 9 ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	[ 9 ]	[ Δ1 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

## (2) ー③ 年齢構成（リハビリテーション学科）

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
63	1	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

## (2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率（リハビリテーション学科）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{40}{31} = \boxed{129.03} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## (2) ー⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率（リハビリテーション学科）

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{39} = \boxed{2.56} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## (2) ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率（リハビリテーション学科）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{3}{4} = \boxed{75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## (3) 専任教員辞任等の理由(リハビリテーション学科)

## (3)-① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況(リハビリテーション学科)

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由
		該当なし					
合 計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び( ) 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3)-② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況(リハビリテーション学科)

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	講師	加賀順子	通年	必修	日常生活活動学実習	①②	R2.3.31付けで私事都合のため辞任(2)						
				必修	地域リハビリテーション学	①②							
				必修	地域リハビリテーション学実習	①							
2	講師	杉山智久	通年	必修	レクリエーションセラピー	①②	R2.3.31付けで私事都合のため辞任(2)						
				必修	解剖学2	①							
合 計 ( F )						後任補充状況の集計 ( G )							
辞任した教員数			担当科目数の合計 ( a ) + ( b ) + ( c )			①の合計数 ( a )		②の合計数 ( b )		③の合計数 ( c )			
2	人	必修	8	科目	必修	5	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	5	科目	計	3	科目	計	0	科目

(注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( ) 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3)-③ 上記(3)-① ・ (3)-② の合計(リハビリテーション学科)

合 計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	8	科目	必修	5	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	5	科目

## (3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率(リハビリテーション学科)

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{31} = 6.45\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況（リハビリテーション学科）

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計					後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」（リハビリテーション学科）

大学の所見：退職及び移動する教員の科目は、延べ11科目であり、すべての科目において退職する教員が兼任教員として担当を継続する、または他の専任教員に変更し、専任教員単独、または専任教員と兼担もしくは兼任教員が担当することから、教育の質は十分担保できる。

学生への周知方法：シラバスに反映させ、周知させた。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
届 出 時 (平成30年)	該当なし		該当なし		該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		該当なし		該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		該当なし		該当なし

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <保健衛生学部 看護学科、リハビリテーション学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<b>【学部の英語名称変更】</b> 保健衛生学部 (School of Healthcare)	保健衛生学部 (School of Health <b>Sciences</b> ) 変更年月日：平成31年4月1日

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

保健衛生学部における授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行うこと、及び本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るために、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けることを目的として、「藤田医科大学FD・SD委員会」を設置している。構成員は、学長補佐(教育担当)、各学部、各研究科より選出された教員、学長より選出された職員等である。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は、原則として月1回開催するものとしている。

##### c 委員会の審議事項等

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議、協議している。

- (1) FD又はSDの実施方針策定に関すること
- (2) FD又はSDの年間実施計画立案に関すること
- (3) FD又はSDの企画及び実施、若しくは実施の把握に関すること
- (4) FD又はSDの成果及び報告に関すること
- (5) FD又はSDの参加者の把握に関すること
- (6) FD又はSDに関する情報収集と啓発活動に関すること
- (7) その他委員会が必要と認めた事項に関すること



## ② 実施状況

### a 実施内容

委員会において、各部門で授業を担当する教員を対象として、教育の質的水準を高めるために毎年実施する以下に掲げるFDについて、実施計画立案及び支援を行っている。

- (1) 学生による授業評価の分析結果に基づき、授業の改善を図るために学生代表者の参画を得て実施するFD
- (2) アセスメント・ポリシーを踏まえて、学修成果の評価・検証の仕組み等の理解を深め、適切な成績評価の実施を促すために実施するFD
- (3) 準備学習の具体的な内容や必要な時間、課題に対するフィードバックの方法等のシラバスに記載を求める事項に係る設定や提示方法について認識を高め、より教育効果を高めるために実施するFD
- (4) 教育研究活動をサポートするTA（ティーチング・アシスタント）等の学生スタッフを参画させて、学生スタッフの資質の養成や向上を目的として実施するFD
- (5) 学生の実践的語学力の習得を目的として実施する外国語での授業法に関するFD
- (6) 他の国内の大学とのFD実施に係る協定の下に共同により専門教育分野に係る教育力向上を目的として年間4回以上実施するFD

### b 実施方法

- (1) 外部講師を招聘し、講演会の実施
- (2) 各テーマによるグループワーキングの実施
- (3) 授業改善に関わる教員と学生間での意見交換会等の実施
- (4) 教員とTA（ティーチング・アシスタント）による意見交換会等の実施

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和元年度については、以下のFD・SDを開催した。（主なFD・SDの内容について、以下に記載）  
保健衛生学部では、公務以外、FD研修会等の参加の義務化を徹底し、教員の教育活動としての資質向上に努めている。

- (1) 令和元年5月：アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価についてのFD
- (2) 令和元年7月：授業評価アンケート結果の分析・検討内容に基づき、授業改善に向けて学生の代表者が参画するFD
- (3) 令和元年8月：学生のモチベーションに関するFD
- (5) 令和元年8月：TA（教育サポートスタッフ）の資質向上を図るための研修FD
- (6) 令和元年12月：明日から使えるICT教育
- (7) 令和元年12月：シラバス作成方法についてのFD

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1) 学生の能動的学習意欲を引き出すような学習法や教育法の開発及び推進を行う
- (2) 学生による授業評価及びその対応の内容を公開し、授業改善に資する
- (3) 第三者による自己点検・評価を受け、客観的な評価を吟味、活用し、教育内容、学生への支援体制及び及び教育環境などについて提案・改善する

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

授業の改善を図り、本学教育の質の一層の向上に資することを目的とし、毎年度、前期1回、後期1回の計2回、学生による授業評価アンケートを実施している。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業ごとの評価分析結果を教員及び学生へ学内掲示等で公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【令和元年度】

我が国では急速な高齢化に伴い、国の保健、医療、福祉、介護制度は、地域における生活支援を重視した、持続性の高い制度へと見直しが進められている。具体的には健康増進、介護予防の推進、健康寿命延伸、地域包括ケアシステムの実現などが目標となる。このように医療福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、地域包括ケアシステムによる地域生活への医療支援が推進されるなかで、看護およびリハビリテーション職に求められる役割はますます拡大している。社会・時代のニーズに的確に対応できる看護師、保健師、理学療法士、作業療法士の育成をめざす教育の果たす役割は極めて重要である。

そこで本学の医療科学部看護学科およびリハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻を医療科学部から保健衛生学部へ改組して、生活を総合的に支援する保健医療専門職の教育体制強化を図る学部再編に至った。これにより、国が推進する地域生活に重点を置いた予防と地域医療の充実による健康増進の実現への寄与が可能になる。

保健衛生学部では学部及び看護学科、リハビリテーション学科のアドミッションポリシーに基づき、複数の入学者選抜方法によりその素養をもつ者を入学者として求めた。初年度にあたる平成31年の入学者数は、看護学科が入学定員135名に対し135名、リハビリテーション学科理学療法専攻は入学者定員70名に対し70名、作業療法専攻は45名に対して45名の入学者を迎え、いずれの学科においても入学定員超過率は1.00倍と適正かつ厳格な定員管理を行った。開講予定科目についても（選択者がいなかったこと以外の理由による）未開講科目もなく予定通り開講されている。

また、学修成果を定量的かつ客観的に設定された判断基準を満たしているかを評価する必要性から評価手法（アセスメント・ツール）を設定し、アセスメントポリシーの策定を行った。策定にはディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関レベル（学部）、教育課程レベル（学科・専攻）、科目レベル（個々の授業）の3段階で入学前・入学直後、在学中、卒業時・卒業後の学修成果を評価する方法を、評価指標とその評価時期と共に定めた。今後はIR推進センターおよび教務委員会がそのデータを収集し分析・検討し継続かつ効果的な教育の改善等に活用していく。

保健衛生学は病気の予防や健康の保持増進、そのための環境づくりを学修する学問である。病気や怪我の要因がどこにあるのかを、心理的要因や生活環境にまで広げて解明し医療現場のみならず地域福祉分野へと大きく拡大、健康障害をどのようにして防ぐのかなどを追及する。生活習慣病や環境に起因する疾病・障害、予防医学の重要性が高まっている現在、保健衛生学の必要性は高い。今後はこのような時代の需要に対し、それに特化した看護学、リハビリテーション学を設置計画に基づいて教育課程を履行するとともに学部学科の特色を生かしその一翼を担うべく貢献できる人材を養成する立場で教育・研究活動に努めていく。

【令和2年度】

1. 理念・目的について

保健衛生学部は、本学の建学の理念並びに学則第1条に定める目的を踏まえ、チーム医療を推進するうえで、各学科において人間の生命を尊重する倫理観と心豊かな幅広い人間性を培い、看護学、リハビリテーション学各分野の知識・技術の修得をもとに、課題探求能力を育成し、専門的素養のある人材としてそれぞれの分野で社会に貢献できる人材を育成する。この教育理念に基づき保健衛生学部は教育目標を設定し、公表している。

2. 学生の受入れについて

保健衛生学部及び看護学科、リハビリテーション学科のアドミッション・ポリシーに基づき、公正かつ適切に学生募集および入学選抜を行っている。また、優れた資質をもつ学生を入学させるため、入学選抜に関わる広報活動の充実を図っている。

入学選抜の基準や具体的な方法は、定期的に開催される入試委員会において検証され、その内容は、教授会に報告され、改めて審議の後に承認されている。このように入試委員会では検証活動を通じて、学生の受入全体を管理している。指定校推薦入学試験の高等学科選定なども入学試験の結果を資料として、当委員会では毎年見直しを図り、入試委員会で答申を行っている。また、入学時成績から4年間の成績推移、更に、就職先での評価まで一貫した評価を実施する取り組みを行っている。これにより、それぞれの入学試験の定員数調整や適切な学生の受け入れができていくのかなどの評価が可能となる。

3. 教育課程・学修成果について

教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程に相応しい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか？学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか？成績評価、単位認定を適切に行っているのか？等について、PDCAを回している。

4. 教員の資質向上及び教員組織の改善・向上について

保健衛生学部ではFD研修会への参加を義務化されていることから、公務以外、必ず参加することを徹底し、教員の教育活動としての資質向上に努めている。また、各教員が教育・研究で専門とする学会等にも参加し、必要な知識の習得、他大学の教員や研究者との情報・意見交換等を行い、教員の資質向上に努めている。

5. 適切な根拠に基づく点検・評価について

保健衛生学部は、各教員の自己点検・評価を実施し、年次計画(目標)を立案・遂行している。具体的には、年度初めに一年間の教育、研究、管理、社会貢献、運営等について目標を設定し、目標に対しての達成度を学科長と点検・評価を実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和2年9月予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度(2014年度)に評価機関(公益財団法人大学基準協会大学基準協会)の評価を受け、「適合」と認定を受けた。認定機関は、平成27年4月1日～令和4年3月31日

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和2年度)

a 公表予定の有無 [ ☒ 有 ・ ☐ 無 ]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他( ) ]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。